

平成25年度

# 施政方針

人と自然が輝き みんなで創る 夢のまち の実現に向けて

宍粟市

# 平成25年度 宍粟市施政方針

## ～安心・安全のまちづくり、元気づくり～

### 【はじめに】

我が国の経済情勢は、世界経済の減速を背景として輸出や生産が減少するなど景気の底割れが懸念され、デフレ状況の中、消費者物価においても4年連続下落の状況にあります。

このような中、昨年の衆議院議員選挙による政権交代により、本年1月には「日本経済再生に向けた緊急経済対策」が閣議決定され、円高是正、デフレからの脱却、さらには機動的かつ弾力的な経済財政運営による景気の底割れ回避に早急かつ重点的に取り組むこととされました。これに伴い、平成24年度補正予算と平成25年度予算を合わせ、実質「15ヶ月予算」の考え方のもと、景気の下支えを行いつつ「復興・防災対策」、「成長による富の創出」、「暮らしの安心・地域活性化」を核とした切れ目のない経済対策が講じられているところであり、その効果が期待されるところであります。

地方行政に目を向けますと、福祉や教育、消防や道路・河川の社会基盤整備など住民に密接した行政は、その多くを地方公共団体が基礎自治体としてその役割を担っており、さらに地方分権一括法や地域主権改革一括法による権限移譲等が増えていく中で、常に、住民の安心・安全を基本に責任あるよりよい行政サービスの提供が求められております。

さらに、地方財政におきましては、地方税の増収は見込まれるものの、地方交付税総額では約2.2%の減少となり依然として地方財政を取り巻く状況は厳しいものとなっておりますが、一方では、「日本経済再生に向けた緊急経済対策」に基づく「地域の元気臨時交付金」が措置されるなど、公共事業等投資による景気への刺激が期待されるところです。

このような中で、宍粟市においての平成25年度は、自治基本条例の理念のもと、市民と議会と行政が一体となって実践する「市民が主役のまちづくり」を成熟させていく年であると考えております。

とくに、近年の想定し難い局地的豪雨や地震など自然災害から市民の生命・財産を守るべく、災害に強いまちづくりが不可欠であると考えております。

また、少子化、核家族化が進む中、教育環境での一定規模の集団化は大切であり、引き続き幼保一元化や学校規模適正化に向け鋭意努力していきたいと考えております。

さらには、昨年3月に施行されました「ふるさと宍粟観光条例」の理念である「観光をまちづくりや雇用への架け橋とした持続可能な地域の創造」を核としたまちづくりをさらに発展させるとともに、間もなく策定いたします「観光基本計画」に基づく施策の展開を積極的に図らなければならないと考えております。

平成26年NHK大河ドラマに「軍師官兵衛」が決定され、官兵衛ゆかりの地である宍粟市としましてもこれを好機として、ふるさとへの愛着、誇りを醸成し、一方では観光面、経済効果を含め宍粟市の知名度アップなどの施策を展開する必要があります。市民、行政が一体となり施策の展開を図ることによりその効果も大きくなるものであり、関係団体との連携を含め推進の仕組みも含め早急に構築したいと考えております。

いずれにしましても、行政はもちろん、地域が自ら汗をかくという姿勢が重要であると考えており、市としましても頑張る地域にはその意思を尊重しつつ、必要な支援を行っていきます。

また、「このまちに住んでよかった」、「住み続けたい」と誰もが思えるまちづくりを進めるためには、子育て世代をはじめ全市民が「安心」して暮らせ、災害対策のみならず「まち」が「安全」であること、そして高齢者が健康であり、地域、経済、産業などあらゆる面が「元気」であることが大切であると考えております。

つきましては、宍粟市の恵まれた自然、歴史、伝統を守り伝えつつ、防災・減災対策、林業再生、農地環境整備、水源地保全、農商工振興、循環型環境促進、雇用対策をはじめ、あらゆる施策体系に面的つながりをもたせ、「安心・安全のまちづくり、元気づくり」をこれまで以上に重点的に取り組み、安心して定住できるまちづくりを図っていくこととします。

個別の施策につきましては、この後、総合計画の6つの柱の順を追ってご説明いたしますが、合併による普通交付税の優遇措置の段階的縮減が始まる平成28年度以降を見据えつつ、市民の皆さま、議会の皆さまとともに課題と目標を共通認識し、財政健全化を進めることはもちろん、参画と協働による安心・安全なまちづくり、また、元気なまちづくりを進めていきたいと考えております。

## 【平成25年度 施策の概要】

### 1. 人と人、人と自然にやさしいまちづくり

環境施策につきましては、平成22年度に策定したエコしろうアクションプランに基づき、「世界に誇れる環境主都」の実現に向けた取り組みを引き続き推進することとし、宍粟市の自然資源を最大限活用し、人と自然が共生できる社会の構築、循環型社会の形成をめざして施策の総合的かつ計画的な推進を図ります。

具体的には、市役所庁舎への太陽光パネルの設置、公共施設へのペレットボイラーの導入、防犯灯のLED化に新たに取り組む、引き続き太陽光発電、木質ペレットストーブなどのグリーンエネルギーの導入を公共施設はもちろん、市民や事業所への支援を行い、エネルギー自給率70%の達成に向けた取り組みを進めます。また、現在事業調査及び検証中である小水力による再生可能エネルギー導入の可否の調査研究をすすめます。

次に、市民による自主的かつ持続可能な環境保全、環境教育活動を推進するために、環境パートナーシップ促進助成事業、森と水の地球環境大学をはじめとする市民向けの各種講座などを行う森のゼロエミッション普及啓発事業に引き続き取り組むとともに、しろう森林王国事業として千町拠点エリアを活用したエコツーリズムを推進していきます。

加えて、生ごみの減量化と再資源化を図るべく、生ごみ処理機購入助成を平成27年度まで延長して取り組むとともに、リサイクル活動団体への奨励金の交付についても引き続き取り組みます。

あわせて、地域住民が自ら行う里山整備のための森林管理推進事業や、新たに市独自の防災景観推進事業などに取り組むとともに、水生生物と水辺環境を保護しつつ揖保川の清流を保全し、水に親しむことができる空間づくりに向けて今宿・中広瀬地区かわまちづくり事業に取り組めます。

### 2. 活力のある産業が支える豊かなまちづくり

観光の振興につきましては、間もなく策定いたします「観光基本計画」に基づき、市民や事業者が気軽に情報を交換し、助け合える仕組み、また、観光者をおもてなしの心で迎えることができる仕組み、その拠点施設の整備や運営のあり方も含めて早急に取り組んでいきます。

また、NHK大河ドラマに宍粟にゆかりのある「軍師官兵衛」が決まったことや播磨国風土記編纂下命 1,300 年を好機として捉え、関係市町との連携はもちろん、宍粟市独自事業として、ゆかりの地ツアー実施、ガイドマップ作成、ガイド養成、登山道など周辺整備、まち歩き看板設置、さらに市民への意識醸成ができる施策を実施します。

加えて、ちくさ高原における九輪草を観光資源として整備するちくさ湿原整備事業に取り組む、また、千年藤や最上山公園もみじ山など近年観光者が急増していることから、駐車場不足の解消を図るとともに観光者の利便性の向上に取り組めます。これらに留まらず、千町岩塊流も含めあらゆる観光資源に面的つながりを持たせ、リピーター

の確保、地域経済の活性化につなげていきます。

観光イベントについては、観光振興や地域活性化につながる地域独特のイベントへの支援を通じて、地域住民の交流とともに、地域の特色づくり、観光者の増加を図ります。

農業施策につきましては、農業用水利施設・ため池の老朽化による農業生産性の低下に歯止めをかけるため、一部国の大型補正により平成24年度に前倒しして予算計上し実施するとともに、また、住宅への二次災害を未然に防ぐべく、防災・減災対策として、機能診断及び耐震診断を実施のうえ保全・合理化整備を実施し、水利施設の安全性を向上させ農業生産性を高めていきます。

具体の施策として、新たに山崎町戸原地区、一宮町下神戸地区において、農業用水利施設の機能診断を実施する農業水利施設保全合理化事業に取り組むとともに、市内33箇所のため池の耐震診断を実施する震災対策農業水利施設整備事業に取り組めます。

また、基幹農業用施設などへのアクセス道や農道を整備し、農業生産性物流の合理化及び農村環境の改善を図るべく、団体営農道整備事業(山崎町青木地区)、事業が凍結されていた菅野・蔦沢間の基幹農道整備事業にも取り組めます。

さらに、農地の利用集積や非農地を含む土地利用の秩序化を一体的に実施することによって、営農形態に適合した農業機械の効率的な利用や安定的な農業経営を図るべく、平成25年度には、山崎町宇原地区における経営体育成基盤整備事業(ほ場整備)が完了し、引き続き波賀町安賀地区における基盤整備事業(ほ場整備)に取り組めます。

有害鳥獣による被害防止については、有害鳥獣捕獲や鳥獣被害防止柵設置にかかる補助制度を引き続き実施し、農業生産性の維持向上に向けては、引き続き農業生産基盤の改修に対する原材料支給などにより農業用施設の機能回復を促進し、農地の保全と農業基盤の維持向上を図っていきます。

林業施策につきましては、公有林整備事業として原木の安定供給のための搬出間伐や、森林の公益的機能の向上を図るための保育施業を実施するほか、林業経営の安定と林業振興を図るため森林管理100%作戦推進事業やしそりの森整備事業に取り組めます。

また、林道の適切な管理と林道の開設、地元管理林道への補助による適切な管理を木材の安定供給につなげるべく、林業専用道(岡ノ上東線)の開設工事、林道の維持補修工事、林道用地購入などに取り組めます。

次に、宍粟材利用促進活動を支援し地域林業の活性化に資するため、新築・リフォームに対する助成事業として「宍粟材の家づくり事業」の推進や宍粟材共同販売施設(しそ can 森のギャラリー)の利活用及びさらなる充実に引き続き取り組めます。

商工業振興施策につきましては、新たに就職フェアダイレクトメール発送事業に取り組み、就職情報専門業者と連携のもと広く宍粟の就職情報をPRし、市内企業への就職者の確保を図ります。

また、新たな起業を支援する起業家支援、商工会への活動助成、雇用の場の拡大、地域産業の活性化のために産業立地促進条例に基づき該当する工場などに助成措置を講じる産業立地促進助成に引き続き取り組みます。

### 3. 健康と福祉を育てる安心のまちづくり

全国的に進む急速な少子化の進行、家庭及び地域を取り巻く環境の変化に鑑み、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現が急務である中、子ども・子育て関連3法の成立により、認定こども園制度が改善され、子育て需要に対する事業をまとめる子ども・子育て支援事業計画の策定が義務付けられました。宍粟市においても、第2次少子化対策推進総合計画を見直す中で、それぞれの需要に応じた事業の展開及び進行管理を行いつつ、拡大・廃止・見直しを含め、総合的な取り組みを推進していきます。

このために、まず、福祉の基本計画となる地域福祉計画を改訂し、「健康と福祉を育てる安心のまちづくり」を展開させる骨組みをさらに強化します。

具体の施策として、子育て世代にかかる医療費の負担軽減施策については、乳幼児・未熟児・こども医療費助成事業として、小学生以下に対する通院・入院医療費の自己負担額、中学生の入院医療費の自己負担額についての助成を行います。

また、引き続き特定不妊治療助成及び妊婦健康診査費助成に取り組むとともに、新たに不育症治療にかかる助成事業に取り組み、さらに、子宮頸がん検診にHPV検査を追加し、若年層の利用者負担を無料とすることで、妊娠から出産、子育てへの連続した少子化対策の推進の拡充を図ります。

あわせて、地域ぐるみで子育て支援を行う体制づくりとして、ファミリーサポートセンター事業等の地域によるサポート体制づくりを引き続き推進します。

宍粟市における65歳以上の高齢者人口は、11,741人（平成25年1月末現在）で、総人口42,006人に占める割合（高齢化率）は昨年より0.8%の増加の28.0%となっており、今後もこの傾向は続くものと思われます。昨年度に一体的に策定しました老人福祉計画及び第5期介護保険事業計画に基づき、特に介護予防事業に力を注ぎ、高齢者が元気になり安心できる社会をめざし、総合的に高齢者保健福祉施策に取り組みます。

障害者福祉につきましても、第2次宍粟市障害者計画及び実施計画として位置付けられる第3期宍粟市障害福祉計画に基づき、「地域で共に暮らせるまちづくり」を基本理念としているところであり、障害者総合支援法の改正を受け、新たに意思疎通支援養成事業などの地域生活支援事業を拡充し、障がい者（児）の社会参加促進を念頭に、総合的に障害者福祉施策に取り組みます。

次に地域医療の充実では、中核医療を担う公立宍粟総合病院の機能を維持しつつ経営の効率化を図り、医師及び看護師の確保を含め、経営健全化に向けた取り組みを進めていきます。

医師確保につきましては、4月から決定しております研修医1名にとどまらず、基幹型

臨床研修病院であることをPRし、研修医を含め、後年度の継続的な医師確保に向けて関係機関への招聘要請など努力していきます。また、引き続き医師等の入学・修学資金に対する奨学金制度に取り組むとともに、新たに院内託児所を設置し職場環境を整えることにより、医師・看護師・助産師の確保に取り組むたいと考えております。

さらに、「公立病院改革プラン」の検証のもと、さらなる経営改善に取り組むべく、「第2次公立病院改革プラン」を策定し将来を見据えた医師確保対策、施設整備、医療機器の計画的な更新及び整備に努めていきます。

千種診療所につきましては、今年2月から医師1名の招聘が叶い、医師2人体制による地域医療が充実するものと考えております。波賀診療所においても引き続き地域に密着した医療の提供を図ります。

また、少子化対策として、千種中学校区における「認定こども園」につきましては、地域の委員会によるたび重なる協議を経て、早期に「認定こども園」を設置することの地域の決定を受け、開設に向けた取り組みを行います。平成25年度においても「しそくこども指針」の理念のもと、「幼保一元化推進計画」に基づき、施策の展開を図り教育・保育・子育て支援を総合的に進めていきます。

#### 4. ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり

学校教育につきましては、学校、家庭、地域が連携しながら、安心・安全な学校づくりを推進し、児童生徒一人ひとりが確かな学力、健やかな体、豊かな心など「生きる力」を身につけられる教育施策に取り組めます。

市内の小中学校においては、さらなる児童数の減少が予想されるなか、一定の集団規模での教育、学びや遊び環境の多様性の確保が継続する課題であることから、学校規模適正化を地域や関係機関との協議を重ねながら推進していきます。

児童生徒の郷土愛、“宍粟で生きたい、宍粟に育って良かった”と思える気持ちを育むべく、ふるさとしそく探検隊事業や環境体験事業を通じた「宍粟の良さを知り宍粟を愛する子どもの育成」事業を推進していきます。

安心・安全の教育環境の整備に向けては、引き続き山崎小学校及び城下小学校校舎耐震補強・改修事業を進めるとともに、新たに千種中学校においても耐震補強・改修事業を進めていくこととしております。

さらに、小中学校における学力向上を目的とした「確かな学力状況調査」のもとに、教育研究大会において学校の取り組みの発表も含め、子どもの学力向上はもとより、教員の指導力向上に取り組めます。また、経験豊かな教員を教育指導者と位置付け、若年世代の教員研修を充実させることにより、教員の授業力向上、ひいては子どもの学力向上へと発展させる教員マイスター制度に新たにに取り組めます。

次に、生涯学習につきましては、「社会教育振興計画」の理念のもとに、時代の変化に対応できる新たな社会教育として地域の特性を生かし、市民一人ひとりがともに学び、ともに支えあえる施策を引き続き計画的に展開していきます。

また、図書館システムのネットワーク化による図書貸出業務や移動図書館車の運行

による図書館運営事業の充実に引き続き取り組むとともに、「読書活動推進計画」に基づき、図書館、保育所、幼稚園、小学校、中学校において図書の充実を図る中で読書活動をより一層推進していきます。

次に、人権施策につきましては、「差別のない明るい住みよい宍粟市」をめざし、行政のあらゆる分野において人権尊重の視点に立った施策を総合的に推進し、学校、地域社会、家庭、職場などにおいて、市民一人ひとりが人権意識を高めるための人権教育と啓発を推進するとともに、人権教育推進のリーダー養成を図るための人権推進アドバイザー事業に取り組めます。また、引き続き、城下ふれあいセンターを拠点施設として、地域福祉の向上と人権尊重のまちづくりを推進するため、相談事業、住民交流事業等のいきいき地域づくり事業を展開します。

文化財施策につきましては、家原遺跡公園堅穴住居の劣化が激しいことから、これを建て替えることにより、これまで以上に実物大野外施設として地域学習の推進を図るとともに、篠ノ丸城跡調査などを行い文化財としての保護及び活用を図ります。

スポーツ施策につきましては、健康増進と地域スポーツの振興を目的とし、引き続き、参画と協働によるスポーツ大会、イベント等を開催するとともに、老朽化が著しいスポニックパークー宮プール管理棟大屋根の改修を行い、利用者の安全性の確保と快適性の向上を図ります。

学校給食については、引き続き地元食材も積極的に使用します。

## 5. 快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり

市内情報ネットワークの充実ににつきましては、引き続き、広報紙をはじめホームページ、しーたん通信、しろうチャンネルにより、行政情報、地域イベント情報をはじめ火災等の緊急情報や防災情報を提供することで、市民との参画と協働のまちづくりの推進及び安心・安全のまちづくりを進めていきます。

防災施策については、地域防災計画の改訂に伴いハザードマップを改訂することとし、また、「家族防災会議の日」を設定し、普及・啓発により市民の防災の意識付けを図り、誰もが安心して暮らせる災害に強いまちづくりを推進していきます。

消費者行政につきましては、消費者の安心・安全と権利の尊重のため、引き続き専門相談員を配置し、消費者団体との連携も含め、総合的な相談体制を整え、被害の防止を図ります。

道路網の整備につきましては、通学路の安全確保、また、不通区域や幅員狭小箇所計画的整備や災害時の道路及び橋梁寸断による孤立集落の防止に向けた迂回路など防災機能を含めた道路の整備にも取り組めます。転落防止柵や標識を設置する道路交通安全施設整備事業にも引き続き取り組むとともに、予防修繕や事前補修による耐用年数長期化を図る「橋梁長寿命化修繕計画」の平成26年度策定に向けて、橋梁調査及び詳細設計について計画的に取り組んでいきます。

住環境の整備につきましては、平成25年度の市営下比地団地8戸の建替により、更新が完了する予定であります。また、水道水の安定供給のため、老朽管の布設や上

寺浄水場第2期改良工事の設計に新たに取り組みます。さらに、山崎地区内の雨水の適切な排水及び内水氾濫を防止すべく、新たに上溝雨水幹線整備事業に取り組むとともに、安定した下水処理のために老朽化している千種中央浄化センターの監視システムを更新します。

一昨年度より進めてきました旧神河中学校跡地利活用につきましては、3月30日に「かみかわ緑地公園」として供用開始し、幼児から高齢者までが安心して活用できる憩いと交流の場として利用の促進を図ります。

## 6. 住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり

自治基本条例に掲げる「情報を共有し、市民が主体となった参画と協働のまちづくり」の実現に向けてさらなる推進を図ります。

具体の施策として、元気な地域づくりにつきましては、平成25年度は、まちづくり協議会と連合自治会の連携のもとワークショップなどによる地域リーダーの育成をはじめとした「コミュニティ組織強化事業」に取り組みます。

また、市内の地域・歴史資源を巡り、ふるさとの魅力を伝えることを目的とした市民スタッフによるタウン情報誌「夢しそう」の発行、宍粟市の知名度アップのためのCM動画の発信、「しそう元気げんき大作戦」、ふるさと自立推進計画に基づく活動支援にも引き続き取り組み、地域主体の活力あるまちづくりをさらに進めるとともに宍粟市の情報発信についても進めていきます。

持続可能かつ経営的視点に立った行財政運営をめざすため、滞納徴収対策に取り組むとともに、市民の利便性も含め税のコンビニ収納を実施し、また、統合型地理情報システムの整備による行政の効率化、将来の宍粟市の公共施設あり方を示す基本設計を行います。

さらに、まちづくりの基礎となる総合計画について、平成28年度以降の計画策定に向けて時間をかけて計画的に進めていくため、平成25年度には後期基本計画や市の現状及び将来フレームの検証を含め、市民へのアンケート調査を実施していきたいと考えております。

### 【むすびに】

以上が、平成25年度の市政運営に向けた所信の一端と施策の概要であります。

山積する行政課題もございますが、一方では、先に申しましたとおり、国の経済対策による景気回復の兆しやNHKドラマ「軍師官兵衛」の決定など明るい話題も見られます。

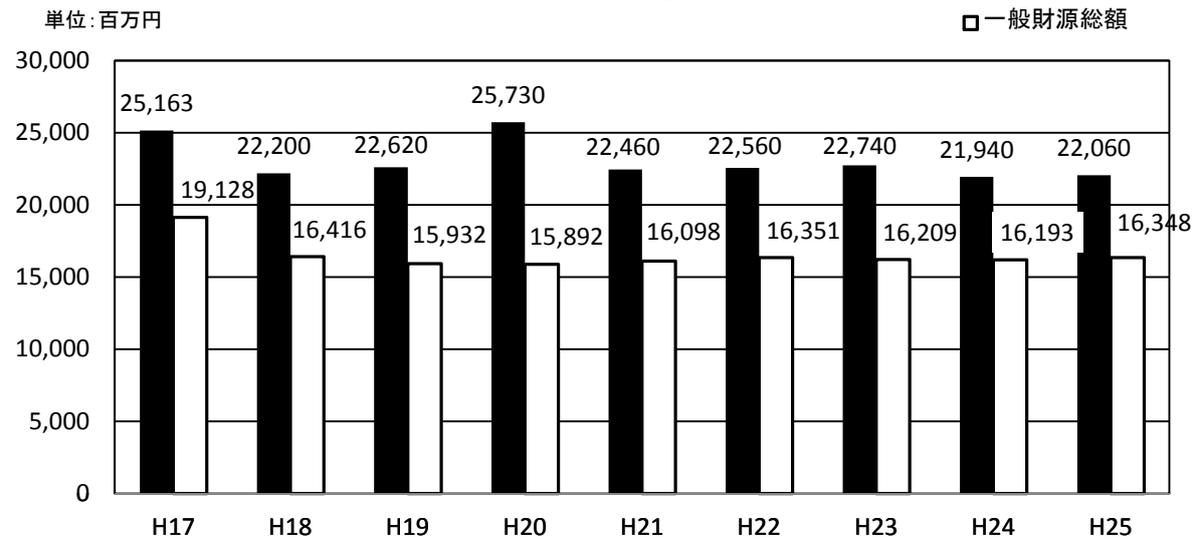
多くの市民の皆さまがまちづくりの主役となっただき、議会・行政がそれぞれの役割を果たす中で、宍粟市の目指す将来像「人と自然が輝き みんなで創る 夢のまち」が実現するものと確信しておりますので、皆さまの格段のご理解とご協力をお願い申し上げます。

# 一般会計の予算規模

平成25年度当初予算案 220億6,000万円

〈 対前年度当初予算比 +1.2億円 +0.5% 〉

## 一般会計予算規模の推移



### 【参考】

平成25年度栄栗市全会計予算

(単位: 千円)

区分	25年度 予算額 A	24年度 予算額 B	差し引き (A-B) C	増減率 C/B*100	
一般会計	22,060,000	21,940,000	120,000	0.5	
特別会計	国民健康保険事業	4,642,145	4,590,882	51,263	1.1
	国民健康保険診療所	368,297	385,521	△ 17,224	△ 4.5
	鷹巣診療所	11,673	11,645	28	0.2
	後期高齢者医療事業	488,796	487,398	1,398	0.3
	介護保険事業	4,215,832	3,937,663	278,169	7.1
	簡易水道事業	871,252	830,867	40,385	4.9
	下水道事業	1,786,712	1,737,557	49,155	2.8
	農業集落排水事業	727,216	721,367	5,849	0.8
	小計	13,111,923	12,702,900	409,023	3.2
企業会計	水道事業	967,968	1,095,616	△ 127,648	△ 11.7
	病院事業	4,844,226	4,649,207	195,019	4.2
	農業共済事業	76,121	87,805	△ 11,684	△ 13.3
	小計	5,888,315	5,832,628	55,687	1.0
合計	41,060,238	40,475,528	584,710	1.4	

※企業会計の額は収益的支出+資本的支出の合計額

# 歳入予算の概要

(単位:千円)

区 分		25年度 A	24年度 B	差し引き C(A-B)	増減率 C/B*100	25年度の 構成比
自 主 財 源	市 税	4,645,500	4,621,155	24,345	0.5	21.1%
	分担金及び負担金	225,421	236,025	△ 10,604	△ 4.5	1.0%
	使用料及び手数料	354,899	353,595	1,304	0.4	1.6%
	財産収入	139,984	150,695	△ 10,711	△ 7.1	0.6%
	寄附金	2	2	0	0.0	0.0%
	繰入金	39,845	32,202	7,643	23.7	0.2%
	繰越金	1	1	0	0.0	0.0%
	諸収入	812,994	633,260	179,734	28.4	3.7%
	小 計	6,218,646	6,026,935	191,711	3.2	28.2%
依 存 財 源	地方譲与税	186,200	195,200	△ 9,000	△ 4.6	0.8%
	税交付金(地方消費税など)	505,200	512,600	△ 7,400	△ 1.4	2.3%
	地方特例交付金	17,600	16,900	700	4.1	0.1%
	地方交付税	9,930,000	9,800,000	130,000	1.3	45.0%
	交通安全対策特別交付金	7,594	8,300	△ 706	△ 8.5	0.0%
	国庫支出金	1,512,384	1,537,128	△ 24,744	△ 1.6	6.9%
	県支出金	1,488,976	1,442,237	46,739	3.2	6.7%
	市 債	2,193,400	2,400,700	△ 207,300	△ 8.6	9.9%
	うち臨時財政対策債	976,500	955,400	21,100	2.2	4.4%
	うち臨時財政対策債以外	1,216,900	1,445,300	△ 228,400	△ 15.8	5.5%
小 計	15,841,354	15,913,065	△ 71,711	△ 0.5	71.8%	
合 計	22,060,000	21,940,000	120,000	0.5	100.0%	

## 市税・譲与税・交付金

・平成25年度の市税は、依然として大幅な回復の兆しが見えない状況であるが、たばこ税の税率改正などにより前年度当初を若干上回る。(県税分の一部を市税に移譲:たばこ税の総額は変更なし)

<b>市 税</b>	4,645,500千円(前年度当初 4,621,155千円) + 24,345千円、+0.5%
<b>地方譲与税</b>	186,200千円(前年度当初 195,200千円) △ 9,000千円、△4.6%
<b>税交付金(※)</b>	505,200千円(前年度当初 512,600千円) △ 7,400千円、△1.4%
<b>地方特例交付金</b>	17,600千円(前年度当初 16,900千円) + 700千円、+4.1%

※税交付金 : 利子割交付金、配当割交付金、株式譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金

### 地方交付税＋臨時財政対策債

- ・基準財政需要額の縮減などにより普通交付税は24年度実績に比べ減。(当初予算比では増)
- ・地方交付税と臨時財政対策債を併せた実質的な地方交付税総額は対前年度当初比で＋151,100千円、1.4%増。

#### 地方交付税

**うち普通交付税** 8,980,000千円(前年度当初 8,900,000千円)＋ 80,000千円、＋0.9%  
(前年度現計 9,080,142千円)△ 100,142千円、△1.1%

**うち特別交付税** 950,000千円(前年度当初 900,000千円)＋ 50,000千円、＋5.6%

**臨時財政対策債** 976,500千円(前年度当初 955,400千円)＋ 21,100千円、＋2.2%  
(前年度現計 965,948千円)＋ 10,552千円、＋1.1%

### 国県支出金

- ・国庫支出金は、社会資本整備総合交付金(緑地公園)(対前年度 △64,072千円)や旧廃止鉱山鉱害防止事業補助金(対前年度 △42,000千円)などの減により前年度比で△1.6%の減少。

- ・県支出金は、幼保一元化推進事業補助金(対前年度 ＋77,200千円)や参議院議員選挙、県知事選挙に係る委託金などが起因し対前年度比で3.2%の増加。

**国庫支出金** 1,512,384千円(前年度当初 1,537,128千円)△ 24,744千円、△1.6%

**県支出金** 1,488,976千円(前年度当初 1,442,237千円)＋ 46,739千円、＋3.2%

### 繰入金

- ・当初予算で調整基金繰入れを行わない。(3年連続)
- ・特定の目的のための事業にはそのために積み立てておいた貯金を取り崩して事業を実施。

#### 主な基金繰入金

(減債基金 23,878、ブナ基金 1,915、若者の海外研修等支援事業基金 3,052、福知溪谷休養センター運営基金 1,000、森林環境等保全基金 10,000)

**繰入金** 39,845千円(前年度当初 32,202千円)＋7,643千円、＋23.7%

### 市債

- ・臨時財政対策債(元利償還金の100%が交付税措置)は前年度並み。
- ・必要な事業には起債を発行するが、後年度の財政負担の軽減を図るため、合併特例債や過疎対策事業債(ともに元利償還金の70%が交付税措置)など有利な起債を活用。

**市債発行額** 2,193,400千円(前年度 2,400,700千円)△207,300千円、△8.6%

※発行額のうち後年度に交付税算入される額 1,784,860千円、約81.4%

# 歳出予算の概要

## 【目的別】

(単位:千円、%)

区 分	25年度 予算額 A	24年度 予算額 B	差し引き (A-B) C	増減率 C/B*100	25年度の 構成比
議 会 費	193,946	206,398	△ 12,452	△ 6.0	0.9
総 務 費	2,389,515	2,676,604	△ 287,089	△ 10.7	10.8
民 生 費	5,912,450	5,563,353	349,097	6.3	26.8
衛 生 費	2,504,809	3,055,641	△ 550,832	△ 18.0	11.4
農 林 水 産 業 費	1,490,305	1,412,084	78,221	5.5	6.8
商 工 費	644,949	582,523	62,426	10.7	2.9
土 木 費	2,182,476	2,303,571	△ 121,095	△ 5.3	9.9
消 防 費	927,130	850,381	76,749	9.0	4.2
教 育 費	2,006,724	1,984,076	22,648	1.1	9.1
災 害 復 旧 費	32,744	60,498	△ 27,754	△ 45.9	0.1
公 債 費	3,744,828	3,214,713	530,115	16.5	17.0
諸 支 出 金	124	158	△ 34	△ 21.5	0.0
予 備 費	30,000	30,000	0	0.0	0.1
合 計	22,060,000	21,940,000	120,000	0.5	100.0

### 目的別の増減要因

#### ◎宍粟環境事務組合の解散

・宍粟環境事務組合が解散し、H25から宍粟市がその事務を継承したことにより従来、事務組合へ負担金として支出していた経費を、それぞれの費目に計上。主に衛生費が減少し公債費が増加。

#### ◎民生費・公債費などが増加

・民生費では、幼保一元化施設整備関係(+262,000千円)や生活保護費(+42,737千円)などが起因し3.5億円の増加。  
 ・公債費は、宍粟環境事務組合分(+350,139千円)や繰上償還(+250,000千円)などにより5.3億円の増加。(これらの特殊要因を除くと、実質0.7億円の減)

#### ◎衛生費、総務費が減少

・衛生費は、宍粟環境事務組合への負担金(皆減 △678,316千円)が要因し、同RDF施設の解体工事(+140,000千円)の増加はあるものの全体で5.5億円の減。  
 ・総務費は、地域振興基金積立金(△430,000千円)、緑地公園整備事業(△163,812千円)の減などが起因し2.9億円の減少。  
 ・このほか、25年度に実施予定の住宅建設事業などを前年度補正予算に前倒し計上したことなどにより、土木費も対前年度比で減少。

## 【性質別】

(単位:千円、%)

区 分		25年度 予算額 A	24年度 予算額 B	差し引き (A-B) C	増減率 C/B*100	25年度の 構成比
義務的 経費	人 件 費	3,623,856	4,169,710	△ 545,854	△ 13.1	16.4
	扶 助 費	3,102,319	2,988,712	113,607	3.8	14.1
	公 債 費	3,744,558	3,214,431	530,127	16.5	17.0
	小 計	10,470,733	10,372,853	97,880	0.9	47.5
投資的 経費	普 通 建 設 事 業 費	2,200,198	1,938,917	261,281	13.5	10.0
	うち補助事業	401,062	461,129	△ 60,067	△ 13.0	1.8
	うち単独事業	1,799,136	1,477,788	321,348	21.7	8.2
	災 害 復 旧 事 業 費	32,744	60,498	△ 27,754	△ 45.9	0.1
	小 計	2,232,942	1,999,415	233,527	11.7	10.1
そ の 他 経 費	物 件 費	2,893,358	2,709,131	184,227	6.8	13.1
	維 持 補 修 費	89,400	96,546	△ 7,146	△ 7.4	0.4
	補 助 費 等	2,527,958	2,604,814	△ 76,856	△ 3.0	11.5
	貸付金・投資及び出資金	345,000	345,001	△ 1	△ 0.0	1.6
	積 立 金	6,050	437,161	△ 431,111	△ 98.6	0.0
	繰 出 金	3,464,559	3,345,079	119,480	3.6	15.7
	予 備 費	30,000	30,000	0	0.0	0.1
	小 計	9,356,325	9,567,732	△ 211,407	△ 2.2	42.4
合 計		22,060,000	21,940,000	120,000	0.5	100.0

### 人件費

- ・西はりま消防組合設置により、常備消防に係る人件費が補助費へ移行したことによる減。(△563,955千円)。
- ・市長市議会議員選挙、参議院議員選挙など各種選挙費に係る人件費の増。(＋39,181千円)

**人件費** 3,623,856千円(前年度当初 4,169,710千円) △545,854千円、△13.1%  
(参考:常備消防分の人件費を含んだ場合 4,187,811千円 対前年度比 +18,101千円、+0.4%)

### 扶助費

- ・障害者、障害児福祉サービス費(両サービス費併せて +76,534千円)が増加。
- ・医療費扶助などの増により、生活保護扶助費が増加(+42,737千円)。

**扶助費** 3,102,319千円(前年度当初 2,988,712千円) +113,607千円、+3.8%

## 公債費

- ・中央環境事務組合が解散し、中央市が事務継承することにより、組合の起債償還に係る支出が補助費等から公債費へ移行することによる増加(+350,139千円)。
- ・繰上償還金を当初予算計上したことによる増加(+250,000千円)。
- ・実質公債費比率はH25の単年度数値で16.4%となる見込み。(H22=20.3、H23=19.1、H24見込み=16.0)
- ・実質公債費比率のH23～H25の3カ年平均は17.1%となる見込み。

**公債費** 3,744,558千円(前年度当初 3,214,431千円)+530,127千円、+16.5%  
(参考:中央環境事務組合や繰上償還の特殊要因除き。3,144,419千円 対前年度比 △70,012千円、△2.2%)

## 普通建設事業費

- ・幼保一元化施設整備事業(+260,001千円)や統合型地理情報システム整備事業(+135,547千円)、さらには中央環境事務組合解散に伴う施設解体事業(+140,000千円)などが増加。
- ・緑地公園整備事業(△163,812千円)やさつき園整備事業(△110,286千円)の減。

**普通建設事業** 2,200,198千円(前年度当初 1,938,917千円)+261,281千円、+13.5%

## 補助費等

- ・中央環境事務組合解散に伴い負担金が皆減(△678,316千円)。
- ・西はりま消防組合設立による負担金が皆増(+618,079千円)。
- ・病院事業会計への繰出金が起債償還分の減などにより減少(△10,718千円)。

**補助費等** 2,527,958千円(前年度当初 2,604,814千円)△76,856千円、△3.0%

## 繰出金

- ・下水道事業会計で長寿命化計画、雨水幹線事業、公債費などにより増加(+53,330千円)。
- ・介護保険事業会計で介護給付費の増加により増加(+35,012千円)。
- ・簡易水道事業会計で公債費の増などにより増加(+28,612千円)。

**繰出金** 3,464,559千円(前年度当初 3,345,079千円)+119,480千円、+3.6%

## 起債残高の状況

- ・一般会計の起債残高は、24年度末残高に中央環境事務組合からの継承額、25年度予算における起債発行額21億9,340万円、元金償還額32億3,811万1千円を加減すると、25年度末で336億2,426万2千円となる見込み。
- ・特別会計、企業会計を含めた全体では、25年度末で694億2,555万5千円となる見込み。

(単位:千円)

区 分		23年度末 残高	24年度末 残高見込み A	25年度 発行見込み B	25年度 償還見込み C	25年度末 残高見込み A+B-C
一 般 会 計		33,407,901	33,636,036	2,193,400	3,238,111	33,624,262
特 別 会 計	国民健康保険診療所	166,782	156,306	2,100	6,251	152,155
	簡易水道事業	6,640,312	6,308,401	44,300	396,270	5,956,431
	下水道事業	16,765,612	16,271,598	391,300	956,117	15,706,781
	農業集落排水事業	6,915,819	6,542,017	170,800	399,339	6,313,478
	小 計	30,488,525	29,278,322	608,500	1,757,977	28,128,845
企 業 会 計	水道事業	4,618,081	4,544,782	46,800	250,375	4,341,207
	病院事業	3,574,483	3,397,934	341,300	407,993	3,331,241
	小 計	8,192,564	7,942,716	388,100	658,368	7,672,448
合 計		72,088,990	70,857,074	3,190,000	5,654,456	69,425,555

(注: H25.4より中央環境事務組合の起債を継承するため、H25の償還、残高には中央環境事務組合分を含む)

(参考) 残高の内、実質、税等で負担すべき額の見込み(将来、地方交付税に算入される額を除いた額)

税等で負担すべき額の見込み	約309億円	約299億円			約288億円
残高合計に対する割合	約43%	約43%			約42%

※平成24年度予算のうち一部は平成25年度への繰越予定。(額が未定のため、本表では24年度末残高に含む)  
 ※各数値は、平成24年度3月補正後における見込み。

## 主な基金残高の状況

- ・財政調整基金は、25年度末で24億5,319万9千円となる見込み。(H17合併時比 +1,096,704千円)

(単位:千円)

区 分	23年度末 残高	24年度末 残高見込み A	25年度 積立見込み B	25年度 取り崩し見込み C	25年度末 残高見込み A+B-C
財 政 調 整 基 金	2,045,201	2,449,762	3,437	0	2,453,199
減 債 基 金	293,664	268,278	526	23,878	244,926
そ の 他 特 定 目 的 基 金	4,017,801	4,447,849	2,079	15,967	4,433,961
合 計	6,356,666	7,165,889	6,042	39,845	7,132,086

※その他特目基金には定額運用基金は含まない。  
 ※各数値は、平成24年度3月補正後における見込み。

## 平成25年度 主要施策(事業)体系

所 管	会計名	事 業 名	予 算 額	部局別 ページ
① 人と人、人と自然にやさしいまちづくり				
まちづくり推進部 環境観光課	一般	ふるさとの森づくり事業	1,300	15
まちづくり推進部 環境観光課	一般	再生可能エネルギー普及促進事業	67,500	16
まちづくり推進部 環境観光課	一般	環境パートナーシップ促進助成事業	960	16
まちづくり推進部 環境観光課	一般	森のゼロエミッション普及啓発事業	898	17
まちづくり推進部 環境観光課	一般	森林王国事業	10,000	18
市民生活部 生活衛生課	一般	生ごみ減量化促進事業補助金	800	30
市民生活部 生活衛生課	一般	リサイクル資源集団回収奨励金	13,500	30
市民生活部 生活衛生課	一般	ごみ収集運搬事業	133,141	31
市民生活部 生活衛生課	一般	美化センター施設解体事業	140,000	31
市民生活部 生活衛生課	一般	し尿処理事業	76,818	32
市民生活部 生活衛生課	一般	し尿収集事業	25,941	32
産業部 農業振興課	一般	中山間地域等直接支払交付金事業	67,351	49
産業部 森づくり課	一般	松くい虫防除等事業	7,270	58
産業部 森づくり課	一般	森林管理推進事業(旧環境対策育林事業)	24,532	59
産業部 森づくり課	一般	針葉樹林と広葉樹林の混交林整備事業	84,087	61
産業部 森づくり課	一般	緊急防災林整備事業	52,250	61
産業部 森づくり課	一般	公有林整備事業	74,795	62
土木部 建設課	一般	かわまちづくり事業(今宿・中広瀬地区)	10,000	72
② 活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
企画総務部 まちづくり推進部 産業部 土木部 教育部	一般	【新規】黒田官兵衛・播磨国風土記1,300年PR事業	13,918	1
企画総務部 秘書広報課	一般	地域情報番組放映事業	1,313	3
まちづくり推進部 環境観光課	一般	観光協会助成事業	6,400	17
まちづくり推進部 環境観光課	一般	【拡充】観光イベント事業	15,400	18
まちづくり推進部 環境観光課	一般	宍粟50名山登山ルート周辺管理事業	2,545	19
まちづくり推進部 環境観光課	一般	観光案内所設置事業	1,900	19
まちづくり推進部 環境観光課	一般	【新規】観光振興プロジェクト事業	277	20
まちづくり推進部 環境観光課	一般	【新規】パーク&観光モデル事業	1,500	20
まちづくり推進部 環境観光課	一般	学生合宿促進事業	975	21
まちづくり推進部 環境観光課	一般	福知渓谷休養センター周辺修繕事業	6,000	22
まちづくり推進部 環境観光課	一般	原不動滝公園周辺整備事業	4,000	22
まちづくり推進部 環境観光課	一般	ばんしゅう戸倉スキー場施設整備事業	22,500	23
まちづくり推進部 環境観光課	一般	【新規】ちくさ湿原整備事業	22,000	23
まちづくり推進部 環境観光課	一般	ちくさ高原スキー場施設整備事業	10,800	24
産業部 農業振興課	一般	有害鳥獣捕獲事業	35,419	49
産業部 農業振興課	一般	鳥獣被害防止柵設置事業	8,625	50
産業部 農業振興課	一般	農地・水保全管理支払交付金事業	12,169	50
産業部 農業振興課	一般	農地環境整備事業	8,000	51
産業部 農業振興課	一般	経営体育成基盤整備事業(宇原地区)	803	51
産業部 農業振興課	一般	ふるさとの風景づくり整備事業	3,154	52
産業部 農業振興課	一般	【新規】農業水利施設保全合理化事業(下神戸地区)	600	52
産業部 農業振興課	一般	【新規】農業水利施設保全合理化事業(戸原地区)	2,000	53

## 平成25年度 主要施策(事業)体系

所 管	会計名	事 業 名	予 算 額	部局別 ページ
産業部 農業振興課	一般	団体営農道整備事業(青木地区)	5,000	53
産業部 農業振興課	一般	震災対策農業水利施設整備事業	18,280	54
産業部 農業振興課	一般	基幹農道整備事業	71,500	54
産業部 農業振興課	一般	その他農地費	16,159	55
産業部 農業振興課	農済	農作物共済事業	6,484	56
産業部 農業振興課	農済	家畜共済事業	20,176	56
産業部 農業振興課	農済	畑作物共済事業	12,887	57
産業部 農業振興課	農済	園芸施設共済事業	689	57
産業部 農業振興課	農済	損害防止事業	1,510	58
産業部 森づくり課	一般	林業労働者確保対策事業	1,000	59
産業部 森づくり課	一般	その他林業振興事業	29,735	60
産業部 森づくり課	一般	穴粟材利用推進事業	6,568	60
産業部 森づくり課	一般	その他林業施設整備事業	45,961	63
産業部 商工労政課	一般	特産物振興事業	300	64
産業部 商工労政課	一般	商工会活動助成事業	30,262	64
産業部 商工労政課	一般	中小企業対策事業	303,500	65
産業部 商工労政課	一般	産業立地促進事業	18,419	65
産業部 商工労政課	一般	移動販売車購入補助事業	2,000	66
産業部 商工労政課	一般	工業統計	1,001	66
産業部 商工労政課	一般	【新規】就職フェアDM発送事業	339	67
産業部 商工労政課	一般	【新規】企業見学バスツアー	122	67
農業委員会事務局	一般	農業委員会費	13,656	68

### ③ 健康と福祉を育てる安心のまちづくり

市民生活部 市民課	一般	乳幼児・未熟児・子ども医療費助成事業	140,709	27
市民生活部 市民課	国保	国民健康保険給付事業	3,060,473	27
市民生活部 市民課	国保	国民健康保険保健衛生普及事業	10,998	28
健康福祉部 社会福祉課	一般	【新規】地域福祉計画策定事業	3,401	33
健康福祉部 社会福祉課	一般	民生委員児童委員協議会補助事業	15,019	33
健康福祉部 社会福祉課	一般	社会福祉協議会補助事業	62,530	34
健康福祉部 社会福祉課	一般	児童手当	697,800	34
健康福祉部 社会福祉課	一般	児童扶養手当	141,356	35
健康福祉部 社会福祉課	一般	出会いサポート事業	2,000	35
健康福祉部 社会福祉課	一般	ファミリーサポートセンター事業	1,563	36
健康福祉部 社会福祉課	一般	生活保護扶助費	262,476	36
健康福祉部 高年・障害福祉課	一般	老人クラブ活動等社会活動促進事業	13,169	37
健康福祉部 高年・障害福祉課	一般	敬老会開催補助事業	11,839	37
健康福祉部 高年・障害福祉課	一般	老人保護措置費(養護老人ホーム措置費)	79,579	38
健康福祉部 高年・障害福祉課	一般	障害者虐待防止センター事業	30	38
健康福祉部 高年・障害福祉課	一般	外出支援サービス事業	96,578	39
健康福祉部 高年・障害福祉課	介護	介護保険 保険給付事務	3,995,995	39
健康福祉部 高年・障害福祉課	介護	二次予防事業	26,540	40
健康福祉部 高年・障害福祉課	介護	一次予防事業	11,321	40
健康福祉部 高年・障害福祉課	介護	包括的支援事業(高齢者実態把握事業)	10,921	41

## 平成25年度 主要施策(事業)体系

所 管	会計名	事 業 名	予 算 額	部局別 ページ
健康福祉部 健康増進課	一般	【拡充】 特定不妊治療費助成事業	2,000	42
健康福祉部 健康増進課	一般	妊婦健康診査費助成事業	20,800	43
健康福祉部 健康増進課	国保	特定健康審査事業	24,055	43
健康福祉部 健康増進課	国保	特定保健指導事業	7,126	44
健康福祉部 健康増進課	一般	がん検診事業	50,063	44
健康福祉部 健康増進課	一般	予防接種事業	96,050	45
健康福祉部 健康増進課	一般	家庭児童相談運営費	10,404	45
健康福祉部 健康増進課	一般	母子福祉事業	16,953	46
健康福祉部 国保診療所	国診	国民健康保険診療所事業	350,643	46
健康福祉部 国保診療所	国診	臨床研修医受入事業	290	47
健康福祉部 国保診療所	国診	通所リハビリサービス事業	4,433	47
健康福祉部 国保診療所	国診	訪問看護事業	12,931	48
水道部 管理課	一般	福祉世帯水道料金等助成事業	19,205	74
教育部 こども未来課	一般	私立保育所運営費助成事業	625,395	89
教育部 こども未来課	一般	私立保育所特別対策事業	48,592	89
教育部 こども未来課	一般	公立保育所運営費	191,050	90
教育部 こども未来課	一般	放課後児童健全育成事業	6,956	90
教育部 こども未来課	一般	あずかり・学童保育事業	82,150	91
教育部 こども未来課	一般	幼保連携保育実施事業	8,534	91
教育部 こども未来課	一般	幼保一元化推進事業	263,050	92
総合病院	病院	入院収益事業	2,149,572	104
総合病院	病院	外来収益事業	1,194,380	104
総合病院	病院	医療機器整備事業	170,000	105
総合病院	病院	【新規】 院内託児所建設事業	150,000	105
総合病院	病院	修学資金事業	12,700	106

### ④ ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり

健康福祉部 市民相談センター	一般	いきいき地域づくり事業	3,453	41
教育部 教育総務課	一般	学校規模適正化推進事業	976	84
教育部 教育総務課	一般	外国語青年招致事業	33,840	84
教育部 教育総務課	一般	山崎小学校校舎改築事業	6,387	85
教育部 教育総務課	一般	城下小学校南校舎耐震補強・改修事業	0	85
教育部 教育総務課	一般	【新規】 千種中学校校舎等耐震補強・改修事業	43	86
教育部 学校教育課	一般	宍粟の良さを知り宍粟を愛する子どもの育成	19,005	86
教育部 学校教育課	一般	特別支援員の設置	32,946	87
教育部 学校教育課	一般	読書活動推進事業	2,714	87
教育部 学校教育課	一般	確かな学力向上事業	1,870	88
教育部 学校教育課	一般	【新規】 宍粟市教員マイスター制度	200	88
教育部 社会教育課	一般	人権啓発事業	2,536	92
教育部 社会教育課	一般	地区生涯学習推進事業	7,962	93
教育部 社会教育課	一般	図書館運営事業(宍粟市立図書館)	24,018	93
教育部 社会教育課	一般	宍粟市民大学(生涯学習パスポート事業)	110	94
教育部 社会教育課	一般	【新規】 宍粟の人 ゆめ講座	1,000	94
教育部 社会教育課	一般	青少年活動体験事業	2,571	95

## 平成25年度 主要施策(事業)体系

所 管	会計名	事 業 名	予 算 額	部局別 ページ
教育部 社会教育課	一般	高齢者大学事業	7,239	96
教育部 社会教育課	一般	生涯学習講座事業	2,231	97
教育部 社会教育課	一般	文化展事業	721	98
教育部 社会教育課	一般	【新規】家原遺跡公園復元住居改修工事	36,350	99
教育部 社会教育課	一般	社会体育活動・スポーツ活動支援事業	7,540	99
教育部 社会教育課	一般	スポニックパーク一宮施設整備等事業	16,940	100
教育部 社会教育課	一般	【新規】波賀メイプルスタジアム整備事業	5,000	100
教育部 学校給食センター	一般	給食センター管理運営事業	182,736	101
<b>⑤ 快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり</b>				
企画総務部 契約管理課	一般	しそ光ネット・移動通信施設運営費	126,057	8
まちづくり推進部 消防防災課	一般	【新規】防犯灯LED化推進事業	16,200	24
まちづくり推進部 消防防災課	一般	【新規】家族防災の日普及啓発事業	945	25
まちづくり推進部 消防防災課	一般	【新規】ハザードマップ改訂事業	5,000	25
まちづくり推進部 消防防災課	一般	【新規】防災広場整備事業	32,775	26
健康福祉部 市民相談センター	一般	消費者行政推進事業	6,367	42
産業部 農業振興課	一般	地籍調査事業	114,214	55
産業部 森づくり課	一般	【新規】しそ防災景観推進事業	3,000	62
産業部 森づくり課	一般	治山施設災害復旧事業	32,732	63
土木部 建設課	一般	急傾斜地崩壊対策事業	15,000	69
土木部 建設課	一般	道路維持補修費	84,214	69
土木部 建設課	一般	簡易除雪機整備事業	2,500	70
土木部 建設課	一般	道路新設改良事業	550,894	70
土木部 建設課	一般	橋梁長寿命化修繕計画策定事業	14,000	71
土木部 建設課	一般	交通安全施設整備事業	7,594	71
土木部 都市整備課	一般	ふるさとづくり事業(山崎:最上山公園彩りの森づくり事業)	1,250	72
土木部 都市整備課	一般	市営下比地団地建替事業	50,874	73
土木部 都市整備課	一般	【新規】夢公園東屋設置工事	3,000	73
水道部 管理課・上下水道課	一般	地域生活排水施設事業(コミュニティプラント施設管理)	141,934	74
水道部 上下水道課	一般	地域生活排水施設事業(コミュニティプラント施設)	8,400	75
水道部 管理課・上下水道課	一般	合併浄化槽の管理設置事業	17,876	75
水道部 管理課	簡水	簡易水道事業の法適用化・システム改良事業	4,515	76
水道部 管理課・上下水道課	簡水	簡易水道施設維持管理事業	197,105	76
水道部 上下水道課	簡水	水道施設遠方監視システム整備事業	10,400	77
水道部 上下水道課	簡水	一宮、波賀管内簡易水道施設整備事業	47,200	77
水道部 管理課・上下水道課	下水	下水道施設管理事業(公共及び特定環境保全公共下水道事業)	303,765	78
水道部 上下水道課	下水	下水道施設遠方監視システム整備事業	12,600	78
水道部 管理課	下水	流域下水道事業	31,631	79
水道部 上下水道課	下水	公共下水道事業費	10,920	79
水道部 上下水道課	下水	【新規】上溝雨水幹線整備事業	15,000	80
水道部 上下水道課	下水	特定環境公共下水道事業	22,755	80
水道部 管理課・上下水道課	農排	農業集落排水処理施設管理事業(集排施設及び小規模施設)	160,393	81
水道部 管理課・上下水道課	農排	農業集落排水事業(集排及び小規模)	8,925	81
水道部 管理課・上下水道課	水道	上水道(浄水・配水)施設維持管理事業	119,928	82

## 平成25年度 主要施策(事業)体系

所 管	会計名	事 業 名	予 算 額	部局別 ページ
水道部 上下水道課	水道	配水管布設事業	47,400	82
水道部 上下水道課	水道	【新規】上寺浄水場第2期改良事業	12,600	83
水道部 上下水道課	水道	上水道水源確保事業	20,000	83
⑥ 住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり				
企画総務部 秘書広報課	一般	【新規】市勢要覧作成事業	1,000	2
企画総務部 秘書広報課	一般	広報しそ発行・配布事業	15,686	2
企画総務部 秘書広報課	一般	ホームページ構築等事業	13,075	3
企画総務部 秘書広報課	一般	しーたん通信・しそチャンネル運営事業	9,552	4
企画総務部 企画財政課	一般	【新規】公共施設再編基本設計事業	5,000	4
企画総務部 企画財政課	一般	【新規】第2次総合計画策定事業	5,000	5
企画総務部 総務課	一般	職員研修事業	2,880	5
企画総務部 総務課	一般	市長・市議会議員選挙	39,300	6
企画総務部 総務課	一般	参議院議員通常選挙	28,200	6
企画総務部 総務課	一般	兵庫県知事選挙	26,200	7
企画総務部 契約管理課	一般	公用車購入事業	8,800	7
企画総務部 契約管理課	一般	統合型地理情報システム整備事業	148,404	8
企画総務部 契約管理課	一般	【新規】太陽光発電システム構築事業	31,800	9
まちづくり推進部 まちづくり推進課	一般	しそ元気げんき大作戦事業	23,500	10
まちづくり推進部 まちづくり推進課	一般	女性によるまちづくり活動支援事業	3,000	10
まちづくり推進部 まちづくり推進課	一般	タウン情報誌作成事業	2,640	11
まちづくり推進部 まちづくり推進課	一般	地域活性化資金融資事業	45,289	11
まちづくり推進部 まちづくり推進課	一般	宍粟市知名度アップ大作戦事業	878	12
まちづくり推進部 まちづくり推進課	一般	ふるさと自立推進計画モデル事業	2,250	12
まちづくり推進部 まちづくり推進課	一般	若者の海外研修等支援事業	3,098	13
まちづくり推進部 まちづくり推進課	一般	【新規】コミュニティ組織強化事業	3,204	13
まちづくり推進部 まちづくり推進課	一般	【新規】地域再生拠点等プロジェクト支援事業	6,000	14
まちづくり推進部 まちづくり推進課	一般	いちのみやふるさとまつり運営事業補助金	3,350	14
まちづくり推進部 まちづくり推進課	一般	ちくさふれあいフェスタ実施事業補助金	1,500	15
まちづくり推進部 環境観光課	一般	福知渓谷復興事業(だいだい岩は残った)	3,556	21
市民生活部 税務課	一般	【新規】コンビニ収納事業	8,136	28
市民生活部 税務課	一般・国保	滞納徴収対策事業	12,758	29
議会事務局	一般	議会だよりの発行	1,267	102
議会事務局	一般	会議録の作成	1,449	102
議会事務局	一般	政務活動費交付事業	3,300	103

# 平成25年度主要施策に係る説明書

単位:千円

所管課:	秘書広報課、企画財政課、まちづくり推進課、環境観光課、商工労政課、都市整備課、社会教育課	事業名:	黒田官兵衛・播磨国風土記1,300年PR事業	予算書頁	73			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	2-1-21		節	④観光の振興				
	黒田官兵衛・播磨国風土記千三百年PR費		施策区分	①観光資源の充実				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	13,918					13,918	報償費	710
H24当初予算	0					0	需用費	1,510
対前年度増減	13,918	0	0	0	0	13,918	役務費	105
H23決算	0					0	委託料	7,993
事業目的	NHK大河ドラマに「軍師官兵衛」が決まったことを受け、宍粟にも史実や逸話のあることをきっかけとし、対外的に宍粟が、黒田官兵衛の領地であったことを観光資源として活かす。また、「播磨国風土記編纂下命1,300年」の年に、さらに宍粟を学びまちづくりに役立てる。				対象者(受益)		工事請負費	3,400
					具体名	市民等	原材料費	200
					人数等	-	その他	0
事業内容	事業期間	H25	～	H25	新規・継続の別	新規	実施主体	市
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>宍粟市が黒田官兵衛の領地であったことを観光資源として活かすべく、篠ノ丸城跡への歩道や案内看板の整備、登山口トイレの修繕、篠ノ丸城跡の遺跡等調査、ガイドマップの作成、ツアーの実施(委託)、ガイドの養成などを行う。また、播磨国風土記編纂下命1,300年にちなんで、宍粟学講座を発展させ、そのゆかりの地巡りや映像化による放映を行う。</p> <p>(秘書広報課)  「宍粟再発見 歴史に学び活かす」シリーズ謝礼 30千円 / 同ボード作成(@30千円×4箇所) 120千円  「官兵衛の足跡を訪ねる」映像作成 102千円 / 「播磨国風土記の里を訪ねる」映像作成 102千円  PR用バックパネル作成 70千円</p> <p>(企画財政課)  「宍粟の日」記念日登録 手数料 105千円 / 報償費 30千円</p> <p>(まちづくり推進課)  官兵衛ゆかりの地巡りツアー(委託) 70千円 / ツアーガイド謝礼 5千円  播磨国風土記ゆかりの地巡りツアー(委託) 70千円 / ツアーガイド謝礼 5千円  上記同趣旨のハイキング 謝礼200千円/消耗品 100千円</p> <p>(環境観光課)  看板 … 篠ノ丸城跡7箇所、その他まち歩き看板13箇所 1,344千円  ガイドマップ … 官兵衛バージョン1,000部、まち歩きバージョン1,000部 120千円  案内ガイド養成 … 養成講座の開催(視察等) 45千円</p> <p>(商工労政課)  土産用オリジナル包装紙等制作 500千円</p> <p>(都市整備課)  登山口トイレ … 屋根・外壁・便器修繕 3,400千円  ベンチ設置 … 木造ベンチ5基 100千円  遊歩道整備 … (擬木階段撤去等/横断溝) 修繕費 300千円/ 原材料費 200千円</p> <p>(社会教育課)  宍粟学(特別講座)謝礼 300千円  篠ノ丸城跡レーザー測量 4,500千円 / 遺跡確認調査 1,800千円 / 学術調査委員謝礼 100千円  発掘調査消耗品 200千円</p>							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	-			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-		
	事業効果	黒田官兵衛ドラマ化、播磨国風土記編纂下命1,300年を機に宍粟市への来訪者の増加、宍粟のPR、地元への経済的波及につなげることができるとともに、地域づくりの手段として今後の地域づくりへの発展につなげることができる。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(企画総務部)

単位:千円

所管課:	秘書広報課	事業名:	市勢要覧作成事業				予算書頁	57			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり							
科目名等:	2-1-2		節	⑤効果的・効率的な行財政運営の推進							
	文書広報費		施策区分	①行政手法の見直し							
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額		
H25当初予算	1,000						1,000	委託料	1,000		
H24当初予算	0						0				
対前年度増減	1,000	0	0	0	0	0	1,000				
H23決算	0						0				
事業目的	本市の市勢について広く市内外にPRするために市勢要覧(人口、産業、経済、施設など各分野の情勢を盛り込んだ総合的資料)を作成する。					対象者(受益)					
						具体名	市民等				
						人数等	-				
事業内容	事業期間	H25 ~ H25		新規・継続の別		新規		実施主体	市		
	【事業期間中の事業内容】										
	市勢要覧の作成 A4版 カラー 2,500部予定 委託料 1,000,000円 統計資料編は別冊とし分かりやすい簡素なバージョンで作成する。 市の概要、市勢がよりよくわかる内容になるよう検討し、空き家バンク、転入問合せ、企業誘致、学校授業での活用や視察時等での他市町や団体、企業等へのPRに活用する。 【H25の事業内容】 同上										
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)			-		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-			
	事業効果	市の概要、市勢、空き家バンク、転入問合せ、企業誘致、学校授業での活用、及び視察時等での他市町や団体、企業等へのPRに活用することができる。									

単位:千円

所管課:	秘書広報課	事業名:	広報しそそう発行・配布事業				予算書頁	56			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり							
科目名等:	2-1-2		節	①地域自治、コミュニティ形成の推進							
	文書広報費		施策区分	③市民参画と協働の推進							
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額		
H25当初予算	15,686			100	756		14,830	報償費	7,680		
H24当初予算	15,546			100	901		14,545	印刷製本費	7,110		
対前年度増減	140	0	0	0	△ 145	0	285	通信運搬費	159		
H23決算	15,164			60	853		14,251	委託料	737		
事業目的	市政の現況や将来の計画を周知し、市民に正しい理解と認識を深めていただくために、毎月1回(15日)に広報しそそうを発行し、全戸配布を行う。また、市外の「ふるさと市民会員」に広報紙を購読いただき、宍粟市への関心を深めていただく。					対象者(受益)					
						具体名	市民				
						人数等	-				
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別		継続		実施主体	市		
	【事業期間中の事業内容】										
	市政情報、お知らせ情報、地域活動、イベント情報、保健・子育て情報などを基本に特集記事、写真、市民の声などを加えた紙面での「広報しそそう」を発行し、市内全戸・関係機関への配布を行う。 発行部数:毎月15,500部 全ページフルカラー 【H25の事業内容】 上記に加え、25年度より新たに市内全コンビニ(11店舗)での店頭配置を行う。										
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)			アンケート満足度 50%		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-			
	事業効果	市民に最も近い市刊行物として、行政からの正確な情報、市政に関わる企画特集、地域づくりや行事・イベントの紹介を掲載することにより、市政に対する理解と情報共有の機会を創出するとともに、ふるさと市民の宍粟市への理解と関心を高める。									

# 平成25年度主要施策に係る説明書(企画総務部)

単位:千円

所管課:	秘書広報課	事業名:	地域情報番組放映事業	予算書頁	57				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり					
科目名等:	2-1-2		節	④観光の振興					
	文書広報費		施策区分	②観光情報の発信					
予算額等		財源内訳				25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	1,313						1,313	委託料	1,313
H24当初予算	1,313						1,313		
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	0		
H23決算	1,313						1,313		
事業目的	民間テレビ番組を通じて、広く関西圏に宍粟市の魅力をPRし、観光客の入込増大をめざすとともに、地域の交流促進による地域の活性化と地域産業の振興を図る。				対象者(受益)				
					具体名	テレビ視聴者			
					人数等	-			
事業内容	事業期間	H17	~	新規・継続の別		継続	実施主体	市	
	【事業期間中の事業内容】								
	西播磨全市町共同企画番組「西はりまサタデー9(サンテレビ)」(放送:毎週土曜日午前9時~9時30分)における宍粟市のイベント等情報についての企画番組を年間5回、サンテレビジョンに委託し放映することにより、兵庫・大阪圏域へのPRを通して観光客増を図る。 【H25の事業内容】 宍粟市に関する企画番組5本及びその他イベント情報など。 (これまでの放送枠例:FUCUS西はりま、西はりまアラカルト、西はりまトピックス)								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	放映回数 25回/年		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-			
	事業効果	市内の各種観光施設やイベントについての放送を通して知名度や認知度のアップを図るとともに、観光客などの交流者の入込の増加が期待される。							

単位:千円

所管課:	秘書広報課	事業名:	ホームページ構築等事業	予算書頁	57				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり					
科目名等:	2-1-2		節	⑤効果的・効率的な行財政運営の推進					
	文書広報費		施策区分	①行政手法の見直し					
予算額等		財源内訳				25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	13,075						13,075	委託料	13,075
H24当初予算	915						915		
対前年度増減	12,160	0	0	0	0	0	12,160		
H23決算	1,388						1,388		
事業目的	市からの緊急情報や行政情報をいち早く市民をはじめとする閲覧者に提供するとともに、観光、イベント情報掲載により、市外へのPRを図る。また、災害時等のアクセス集中によるシステムダウンに緊急対応できる体制を整える。				対象者(受益)				
					具体名	HP閲覧者			
					人数等	-			
事業内容	事業期間	H25	~	新規・継続の別		継続	実施主体	市	
	【事業期間中の事業内容】								
	より安定した運営管理を行うために、機器保守契約満了等を機にデータセンター管理とするホームページへの再構築を行う。 H25 再構築時 HP更新経費(委託料) 12,000,000円 現HP保守料 914,970円 新HPデータセンター利用料 2ヶ月×80,000円=160,000円 計13,074,970円 H26以降 ソフト保守、外部サーバー利用料 1,520,000円見込み 【H25の事業内容】 より安定した運営管理を行うために、機器保守契約満了等を機にデータセンター管理とするホームページへの再構築を行う。 H25 再構築費用等 計13,074,970円								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	前年度アクセス数の10%増		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-			
	事業効果	緊急情報を含め安定した行政情報の提供ができ、市民災害時等に緊急対応することができる。即時的に市政情報・観光情報等を掲載することで、市民へのタイムリーな情報提供が可能となるとともに、市外からの閲覧者に対して市の情報を発信することにより、観光客増につながる。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(企画総務部)

単位:千円

所管課:	秘書広報課	事業名:	しーたん通信・しろうチャンネル運営事業			予算書頁	69		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり					
科目名等:	2-1-14		節	①地域自治、コミュニティ形成の推進					
	高度情報通信費		施策区分	③市民参画と協働の推進					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	9,552						9,552	共済費	695
H24当初予算	9,106						9,106	賃金	4,610
対前年度増減	446	0	0	0	0	0	446	報償金	215
H23決算	9,938						9,938	需用費	116
事業目的	住民・企業等に防災情報・行政情報・その他必要な情報を迅速に提供する。					対象者(受益)		委託料	3,854
						具体名	市民等	負担金	10
						人数等	-	その他	52
事業内容	事業期間	H21 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	市		
	【事業期間中の事業内容】								
	市からの防災・行政情報などの地域情報を「しーたん通信」及び「しろうチャンネル」により発信することにより、市民生活の向上と防災対策に活用する。 【しーたん放送】 全日放送実施 定時放送毎に内容更新 放送時間:朝・6時30分～、昼・12時15分～、夜・19時15分～、お悔み(一宮・波賀・千種)・12時45分・19時45分～、帰りましょう呼びかけ 17時または18時～ 【しろうチャンネル】 全日放送 1週間毎に内容更新 放送時間:6時～24時(偶数時間帯:文字放送、奇数時間帯:動画放送) 【H25の事業内容】 しろうチャンネルの企画による動画放送番組及び協力者登録制度などによる番組充実を図る。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	接続率・加入率	100%		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	接続率(通信) 87%	加入率(テレビ) 50%		
	事業効果	市民に最も近い地域情報媒体として、行政情報、イベント情報などを放送することにより、市民の市政に対する理解を深めるとともに、きめ細やかな情報発信の機会を創出することができる。また、災害対策、緊急情報などの情報を即時に発信し、市民の安心・安全な生活に寄与する。							

単位:千円

所管課:	企画財政課	事業名:	公共施設再編基本設計事業			予算書頁	62		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり					
科目名等:	2-1-9		節	⑤効果的・効率的な行財政運営の推進					
	企画費		施策区分	③健全な行財政運営の確保					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	5,000	5,000					0	委託料	5,000
H24当初予算	0						0		
対前年度増減	5,000	5,000	0	0	0	0	0		
H23決算	0						0		
事業目的	点在する公共施設の老朽化が進む中、市民サービスの向上も含め、公共施設を集約するため基本設計する。					対象者(受益)			
						具体名	市民等		
						人数等	-		
事業内容	事業期間	H25	~	H25	新規・継続の別	新規	実施主体	市	
	【事業期間中の事業内容】								
	公共施設の中でも市民サービスの拠点である市民局のあり方を検討し、効果的・効率的な行政運営と市民の利便性が高まるよう施設集約を図るべく、まちづくり協議会や連合自治会等に意見を聞いたうえで、市民局等の将来のあり方をまとめ、施設集約等の基本設計を行う。 【H25の事業内容】 同上								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	公共施設再編基本設計策定			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	点在する公共施設の集約化等を図ることで市民サービスの向上、効果的な行政運営を図ることができる。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(企画総務部)

単位:千円

所管課:	企画財政課	事業名:	第2次総合計画策定事業				予算書頁	62	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり					
科目名等:	2-1-9		節	⑤効果的・効率的な行財政運営の推進					
	企画費		施策区分	①行政手法の見直し					
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	5,000						5,000	委託料	5,000
H24当初予算	0						0		
対前年度増減	5,000	0	0	0	0	0	5,000		
H23決算	0						0		
事業目的	H27を以て終了する第1次総合計画を検証し、自治基本条例に基づきH28以降の第2次総合計画を策定する。						対象者(受益)		
							具体名	市民	
							人数等	-	
事業内容	事業期間	H25	~	H27	新規・継続の別	継続	実施主体	市	
	【事業期間中の事業内容】								
	後期基本計画(まちづくり指標)の検証、市の現状分析、将来フレーム分析、庁内委員会、市民意向調査(アンケート)・分析、総合計画審議会、パブリックコメント、議会審議、住民説明会、随時議会・市民への情報提供等								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		-			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-	
	事業効果	H28以降のまちづくりの基本指針となるとともに、市民参画も含めて持続可能な行政運営を図ることができる。							

単位:千円

所管課:	総務課	事業名:	職員研修事業				予算書頁	54	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり					
科目名等:	2-1-1		節	⑤効果的・効率的な行財政運営の推進					
	一般管理費		施策区分	②組織・機構の改革と人材の育成					
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	2,880						2,880	報償費	750
H24当初予算	2,367						2,367	旅費	2,075
対前年度増減	513	0	0	0	0	0	513	需用費	5
H23決算	1,662						1,662	負担金	50
事業目的	職員数の適正化を推進する中、職員一人ひとりのスキルアップを図るため、各種研修を実施する。						対象者(受益)		
							具体名	職員	
							人数等	501人	
事業内容	事業期間	H17	~		新規・継続の別	継続	実施主体	市	
	【事業期間中の事業内容】								
	県への派遣研修、自治研修所・市町振興課・市町村振興協会主催の職員研修に参加、市単独研修の実施								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		市単独研修501人 自治研修所等研修93人			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-	
	事業効果	住民や来訪者の立場で考え行動できる職員の育成、職員の意欲・能力が発揮できる環境を整えることができる。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(企画総務部)

単位:千円

所管課:	総務課	事業名:	市長・市議会議員選挙				予算書頁	80	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり					
科目名等:	2-4-3		節	⑤効果的・効率的な行財政運営の推進					
	市長市議会議員選挙費		施策区分	③健全な行財政運営の確保					
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	39,300		12				39,288	人件費	13,067
H24当初予算	2,473						2,473	報酬	2,171
対前年度増減	36,827	0	12	0	0	0	36,815	賃金	1,092
H23決算	0						0	需用費	2,488
事業目的	市長及び市議会議員選挙の執行(5/5告示、5/12執行)					対象者(受益)		委託料	8,050
						具体名	選挙人	負担金	8,804
						人数等	34,475人	その他	3,628
事業内容	事業期間	H24	～	H25	新規・継続の別	継続	実施主体	市	
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>平成25年5月14日任期満了による市長及び市議会議員選挙の執行(5/5告示、5/12執行) 期日前投票所5箇所(5/6～5/11)、投票所54箇所(5/12)</p> <p>【内訳】人件費:13,067千円(投票開票他時間外手当)、報酬2,171千円(立会人等報酬)、賃金1,092千円(臨時職員賃金)、報償費1,044千円(選挙公報配布謝礼)、需用費2,488千円(選挙公報印刷)、委託費8,050(ポスター掲示場設置撤去)、使用料912千円(投票所借上料)、負担金8,804千円(選挙公営負担金)、その他1,672千円(郵券料他)</p>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	投票率82% (前回投票率81.21%)			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	適正な選挙執行、公民権を行使する環境を整えることができる。							

単位:千円

所管課:	総務課	事業名:	参議院議員通常選挙				予算書頁	82	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり					
科目名等:	2-4-4		節	⑤効果的・効率的な行財政運営の推進					
	参議院議員選挙費		施策区分	③健全な行財政運営の確保					
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	28,200		28,200				0	人件費	8,768
H24当初予算	0						0	報酬	3,551
対前年度増減	28,200	0	28,200	0	0	0	0	賃金	1,040
H23決算	0						0	需用費	3,559
事業目的	参議院議員通常選挙の執行(平成25年7月28日任期)					対象者(受益)		委託料	2,550
						具体名	選挙人	備品購入費	3,500
						人数等	34,475人	その他	5,232
事業内容	事業期間	H25	～	H25	新規・継続の別	新規	実施主体	市	
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>人件費:8,768千円(投票開票他時間外手当)、報酬3,551千円(立会人等報酬)、共済費60千円(臨時職員社会保険料)、賃金1,040千円(臨時職員賃金)、報償費1,044千円(選挙公報配布謝礼)、旅費66千円、需用費3,559千円(入場券印刷他)、役務費1,250千円(郵券料)、委託費2,550(ポスター掲示場設置撤去)、使用料2,812千円(開票所冷房機器借上料)、備品購入費3,500千円(投票所椅子、投票所テーブル他)</p>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	投票率65% (前回投票率63.43%)			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	適正な選挙執行、公民権を行使する環境を整えることができる。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(企画総務部)

単位:千円

所管課:	総務課	事業名:	兵庫県知事選挙				予算書頁	83	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり					
科目名等:	2-4-5		節	⑤効果的・効率的な行財政運営の推進					
	県知事選挙費		施策区分	③健全な行財政運営の確保					
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	26,200		26,200				0	人件費	8,768
H24当初予算	0						0	報酬	3,479
対前年度増減	26,200	0	26,200	0	0	0	0	賃金	1,040
H23決算	0						0	需用費	2,985
事業目的	兵庫県知事選挙の執行(平成25年7月31日任期)					対象者(受益)		委託料	2,050
						具体名	選挙人	備品購入費	3,500
						人数等	34,475人	その他	4,378
事業内容	事業期間	H25	~	H25	新規・継続の別	新規	実施主体	市	
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>人件費:8,768千円(投開票他時間外手当)、報酬3,479千円(立会人等報酬)、共済費60千円(臨時職員社会保険料)、賃金1,040千円(臨時職員賃金)、報償費612千円(選挙公報配布謝礼)、旅費46千円、需用費2,985千円(入場券印刷他)、役務費900千円(郵券料)、委託費2,050(ポスター掲示場設置撤去)、使用料2,760千円(開票所冷房機器借上料)、備品購入費3,500千円(計数機、自動交付機他)</p>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	投票率60% (前回投票率54.64%)			継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	適正な選挙執行、公民権を行使する環境を整えることができる。							

単位:千円

所管課:	契約管理課	事業名:	公用車購入事業				予算書頁	61	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり					
科目名等:	2-1-8		節	⑤効果的・効率的な行財政運営の推進					
	公用車管理費(本庁)		施策区分	③健全な行財政運営の確保					
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	8,800						8,800	備品購入費	8,800
H24当初予算	5,000						5,000		
対前年度増減	3,800	0	0	0	0	0	3,800		
H23決算	2,920						2,920		
事業目的	公用車更新計画に基づき、走行距離20万キロ又は購入後20年経過を目的に車両更新を行い、車両維持管理経費等の削減を図る。					対象者(受益)			
						具体名	職員等		
						人数等	-		
事業内容	事業期間	H25	~	H25	新規・継続の別	継続	実施主体	市	
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>一般公用車149台を高年式車両から計画的に更新し購入経費の平準化を図る(約20年サイクルで毎年8台程度の買い替えを行う)。</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>普通車(ハイブリッド) 180万円 1台 軽四 100万円 7台</p>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	8台の車両更新			継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	修繕費の削減、二酸化炭素排出量の抑制を図るとともに、安全性を確保することができる。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(企画総務部)

単位:千円

所管課:	契約管理課	事業名:	しそ光ネット・移動通信施設運営費				予算書頁	69		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり						
科目名等:	2-1-14		節	①市内情報ネットワークの充実						
	しそ光ネット・移動通信施設運営費		施策区分	②行政サービスの高度化・効率化の推進						
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	126,057		10,000				116,057	委託料	38,828	
H24当初予算	129,200	4,000	10,000				115,200	工事請負費	60,000	
対前年度増減	△ 3,143	△ 4,000	0	0	0	0	857	使用料	25,721	
H23決算	132,429		10,000				122,429	補助金	1,053	
事業目的	防災・行政情報の伝達、インターネット・携帯電話の通信環境格差是正を目的として設置したしそ光ネット・移動通信施設が安定稼働するよう施設の適正な管理運営を行う。						対象者(受益)		その他	455
							具体名	市民		
							人数等			
事業内容	事業期間	H21 ~		新規・継続の別		継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】									
	しーたん通信、ケーブルテレビ、インターネットサービス、携帯電話サービスを安定稼働させるための伝送路・機器等の保守管理、光ファイバー設備の新設・撤去・移設・伝送路監視等を行う。									
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)			-			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)			-
	【H25の事業内容】									
	積算内訳 施設機器保守点検等業務37,326千円、ビル陰対策費756千円、伝送路施設データ作成業務525千円、音声告知システム保守221千円、電柱等添架料24,638千円、敷地・ケーブル借上料1,083千円、光ケーブル工事60,000千円、告知放送宅内工事補助53千円、事業所引込工事補助1,000千円等									
事業効果		伝送路・機器等の施設の適正な保守管理を行い、しーたん通信・ケーブルテレビ・インターネットサービス・携帯電話サービスを安定的に稼働させることができる。								

単位:千円

所管課:	契約管理課	事業名:	統合型地理情報システム整備事業				予算書頁	71		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり						
科目名等:	2-1-17		節	⑤効果的・効率的な行財政運営の推進						
	土地利用調整費		施策区分	①行政手法の見直し						
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	148,404					133,000	15,404	委託料	148,404	
H24当初予算	4,500					4,200	300			
対前年度増減	143,904	0	0	0	0	128,800	15,104			
H23決算	0						0			
事業目的	個別管理台帳と地図とを一体的に運用し、また、他の部門の業務データを相互利用することで、業務の効率化と業務処理の資質向上・市民サービスの向上を図る。						対象者(受益)			
							具体名	職員等		
							人数等			
事業内容	事業期間	H24 ~ H26		新規・継続の別		継続	実施主体	市		
	【事業期間中の事業内容】									
	個別のシステムで運用しているGISを統合し連携することにより効率的なデータ利用を図る。また、未整備となっている波賀、千種地域を含め全市を対象とした統合型GISの構築を行う。									
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)			-			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)			-
	【H25の事業内容】									
	基盤地図データ整備、固定資産システム・道路台帳システム・上下水道台帳システム等の構築 積算内訳 地理情報システム等整備業務委託 140,047千円 データ切り出し委託 8,357千円									
事業効果		システムを一本化することにより共通部分のデータについて費用削減ができるとともに、未整備であった波賀・千種区域を電子化することにより活用の利便性を向上させることができる。								

# 平成25年度主要施策に係る説明書(企画総務部)

単位:千円

所管課:	契約管理課	事業名:	太陽光発電システム構築事業				予算書頁	60	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり					
科目名等:	2-1-8		節	⑤効果的・効率的な行財政運営の推進					
	庁舎管理費(本庁)		施策区分	③健全な行財政運営の確保					
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	31,800	0	0		18,900		12,900	委託料	1,800
H24当初予算	0	0	0				0	工事請負費	30,000
対前年度増減	31,800	0	0	0	18,900	0	12,900		
H23決算	0	0	0				0		
事業目的	CO2削減などの環境貢献・エネルギー使用量の削減の為、再生可能エネルギーである太陽光エネルギーを有効利用することにより、使用電力の削減と地球温暖化に対し有効な対策を行う。				対象者(受益)		その他		0
					具体名	市民			
					人数等				
事業内容	事業期間	H25 ~		新規・継続の別	新規		実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】								
	庁舎屋上のスペースに太陽光発電パネルを設置し庁舎電源として活用する。								
【H25の事業内容】									
太陽光パネル(50Kwh)、パワーコンディショナー、配電施設等、関連施設を整備する。									
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)		-		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)		-		
	事業効果	環境貢献・環境対策PRを行うとともに、太陽光発電による年間発電量47,939Kwh/年(発電量理論値による試算)を見込むことができる。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(まちづくり推進部)

単位:千円

所管課:	まちづくり推進課	事業名:	しそう元気げんき大作戦事業			予算書頁	67		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり					
科目名等:	2-1-12		節	①地域自治、コミュニティ形成の推進					
	地域振興費		施策区分	①活力あるコミュニティ活動の推進					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	23,500				23,500		0	補助金	23,500
H24当初予算	23,500				23,500		0		
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	0		
H23決算	3,875				3,875		0		
事業目的	地域資源及び地域の個性を生かした自主的・主体的なまちづくり活動並びに地域の課題の解決に向け自ら積極的に取り組む活動を促進することにより、地域力を培いながら、住民主体の活力あるまちづくりを行う。					対象者(受益)			
						具体名	市民		
						人数等	-		
事業内容	事業期間	H22 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	市		
	【事業期間中の事業内容】								
	各まちづくり協議会において作成された「まちづくり計画」に基づいて、地域の課題解決、地域間交流、都市間交流、地域振興等小学校区以上の広域にわたる活動及び自主的、主体的な特色あるまちづくり活動を支援する。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		小学校区以上を活動範囲とした事業審査件数 10件		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-		
	事業効果	歴史、風土、地域資源や特性などを活かしながら自ら考え、自らが行動し、地域を元気にするまちづくり活動が期待することができる。							
	【H25の事業内容】								
同上									

単位:千円

所管課:	まちづくり推進課	事業名:	女性によるまちづくり活動支援事業			予算書頁	67		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり					
科目名等:	2-1-12		節	①地域自治、コミュニティ形成の推進					
	地域振興費		施策区分	①活力あるコミュニティ活動の推進					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	3,000				3,000		0	補助金	3,000
H24当初予算	3,000				3,000		0		
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	0		
H23決算	0						0		
事業目的	自主的・主体的に地域の課題を解決するために創意工夫して行う女性団体によるまちづくり活動を支援し、人や地域の絆を作り直し、市民との協働によるまちづくりを行う。					対象者(受益)			
						具体名	市民		
						人数等	-		
事業内容	事業期間	H24 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	市		
	【事業期間中の事業内容】								
	女性によるきめ細やかな子育て支援、高齢者支援、消費生活や環境保全、地域の芸術・文化振興など、小学校区等を対象とした女性による公益活動を支援する。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		取組団体 15団体		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-		
	事業効果	女性が組織的に市民活動に参画したり、地域における協働機会の増大、女性のネットワークの強化など女性の社会進出を促進できる。							
	【H25の事業内容】								
同上									

# 平成25年度主要施策に係る説明書(まちづくり推進部)

単位:千円

所管課:	まちづくり推進課	事業名:	タウン情報誌作成事業				予算書頁	65
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり				
科目名等:	2-1-12		節	③多様な地域間交流の推進				
	地域振興費		施策区分	②都市住民との交流の促進				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	2,640			307		2,333	報償費	195
H24当初予算	2,600			323		2,277	需用費	2,429
対前年度増減	40	0	0	△ 16	0	56	役務費	16
H23決算	2,102			398		1,704		
事業目的	宍粟市の各種情報を市内外の人々に伝え、宍粟市に関する知識を高め、市民の宍粟市への愛着心を深めるとともに、市外向けに宍粟市のPRを図る。				対象者(受益)			
					具体名	市民等		
					人数等	-		
事業内容	事業期間	H22	～	新規・継続の別	継続	実施主体	市	
	【事業期間中の事業内容】 市民発想による新しい視点や斬新な切り口で、豊かな地域資源や地域の魅力づくりの取り組みを掘り起こし、市内外に広く情報発信することによって、ふるさと宍粟に対する愛着や市民の一体感の醸成を図るとともに、市外からの来訪者や宍粟ファンを増やすため、タウン情報誌を発行する。作成は、市民より取材・編集等スタッフを募集し、市民の手作りのタウン情報誌とする。 【H25の事業内容】 同上(スタッフ謝礼195千円 消耗品費20千円 タウン誌印刷製本費他2409千円 郵便料16千円)							
	事業に係る目標(数値目標)	年間4回季刊発行、発行部数1,500部、ページ数24P		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
事業効果	タウン誌を発行することにより、宍粟市の魅力を市内外に広く情報発信し、市民の一体感の醸成を図るとともに、市外からの来訪者や宍粟ファンを増やすことができる。							

単位:千円

所管課:	まちづくり推進課	事業名:	地域活性化資金融資事業				予算書頁	67
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり				
科目名等:	2-1-12		節	①地域自治、コミュニティ形成の推進				
	地域振興費		施策区分	①活力あるコミュニティ活動の推進				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	45,289			45,000		289	補助金	289
H24当初予算	45,559			45,000		559	貸付金	45,000
対前年度増減	△ 270	0	0	0	0	△ 270		
H23決算	45,033			45,000		33		
事業目的	地域力の向上及び魅力あるまちづくりの推進に向け、公共的、公益的な事業に取り組む自治会等に対して、資金融資及び利子補給により支援する。				対象者(受益)			
					具体名	市民		
					人数等	-		
事業内容	事業期間	H22	～	新規・継続の別	継続	実施主体	市	
	【事業期間中の事業内容】 地域のまちづくりに資する公益的及び公共的な事業(自治会集会所の新設や独自の地域づくりを行う施設整備等)に取り組む団体に対して、貸付限度額3,000万円、償還年限10年として、事業に必要な資金を融資するとともに、償還に係る利子補給を行う。 融資対象団体: 定款・規約を有する自治会・集落営農組織など 【H25の事業内容】 同上(預託金: 45,000千円 利子補給: 289千円)							
	事業に係る目標(数値目標)	-		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
事業効果	地域力の向上、魅力あるまちづくりの推進に資することができる。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(まちづくり推進部)

単位:千円

所管課:	まちづくり推進課	事業名:	宍粟市知名度アップ大作戦事業				予算書頁	65
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり				
科目名等:	2-1-12		節	③多様な地域間交流の推進				
	地域振興費		施策区分	②都市住民との交流の促進				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	878					878	報償費	400
H24当初予算	1,000					1,000	需用費	24
対前年度増減	△ 122	0	0	0	0	△ 122	役務費	154
H23決算	0					0	委託料	300
事業目的	市民等が自ら制作したCM(動画)を市内外に発信し、新たな『宍粟市』を見つけるとともに『宍粟市』の知名度向上を図る。				対象者(受益)			
					具体名	市民		
					人数等	-		
事業内容	事業期間	H24	～	H26	新規・継続の別	継続	実施主体	市
	【事業期間中の事業内容】 宍粟の難読を逆手にとった取り組みを行い、あえて読みにくい『宍粟市(注:漢字表記)の名称』や『地域資源』をPRする内容のCMをコンテストとして市内外から募集する。 優秀作品は、しそチャンネルやHP、インターネット動画サイトなどあらゆる媒体を活用して宍粟市の魅力を発信する。							
	【H25の事業内容】 同上(コンテスト賞金・審査員謝礼400千円、消耗品・印刷製本費24千円、郵便料4千円、広告料150千円、入賞作品応募作品精査等業務300千円)							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	コンテスト応募数25作品			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-		
	事業効果	コンテスト入賞作品を活用した知名度向上は勿論、この取り組みに少しでも興味をもっていた方が、「しそ」と認識し、宍粟市に少しでも関心を寄せる入口部分の取り組みとして期待できる。						

単位:千円

所管課:	まちづくり推進課	事業名:	ふるさと自立推進計画モデル事業				予算書頁	67
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり				
科目名等:	2-1-12		節	①地域自治、コミュニティ形成の推進				
	地域振興費		施策区分	①活力あるコミュニティ活動の推進				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	2,250				2,250	0	補助金	2,250
H24当初予算	375					375		
対前年度増減	1,875	0	0	0	2,250	△ 375		
H23決算	228					228		
事業目的	多自然居住地域において、ふるさとづくりについて自ら考え、自ら行動しようとする地域住民の合意・計画づくりを支援し、地域の自立を図ることを目的とする。				対象者(受益)			
					具体名	市民		
					人数等	-		
事業内容	事業期間	H22	～		新規・継続の別	継続	実施主体	市
	【事業期間中の事業内容】 自立計画に基づく取組みに係る、立ち上げに係るソフト事業及び関連施設の整備、また、空き家、自治会館等の既存施設を活用した交流及び活動の拠点等の整備に対して支援する。							
	【H25の事業内容】 同上(自立計画実践トライやる(谷・日見谷、鷹巣)、拠点整備(鷹巣))							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	取組み団体:3件			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-		
	事業効果	ふるさとづくりについて自ら考え、自ら行動しようとする地域住民の合意形成及び計画づくりを支援することにより、地域の自立を促進することができる。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(まちづくり推進部)

単位:千円

所管課:	まちづくり推進課	事業名:	若者の海外研修等支援事業				予算書頁	65
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり				
科目名等:	2-1-12		節	④国際交流の推進				
	地域振興費		施策区分	①国際感覚豊かな人づくりの推進				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	3,098			3,098		0	報酬	50
H24当初予算	3,108			3,108		0	需用費	2
対前年度増減	△ 10	0	0	△ 10	0	0	補助金	3,000
H23決算	0					0	積立金	46
事業目的	市内に居住する若者が自らの創意によって海外で国際的視野や広い識見、技能を身につけ、習得した技能を活かした地域の振興と住民福祉の向上を図る。				対象者(受益)			
					具体名	市民		
					人数等	-		
事業内容	事業期間	H23	~	新規・継続の別	継続	実施主体	市	
	【事業期間中の事業内容】							
	市民に公募を行い、提出された研修計画書により海外研修等支援事業審査会において審査し、認定を受けた者に対し研修に係る経費の10分の10を補助(財源は市民からの寄付金による基金)する。 【H25の事業内容】 同上							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	年間応募人数10名		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	海外で国際的視野や広い識見、技能を身につけ、習得した技能を活かした地域の振興と住民福祉の向上を図ることができる。						

単位:千円

所管課:	まちづくり推進課	事業名:	コミュニティ組織強化事業				予算書頁	66
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり				
科目名等:	2-1-12		節	①地域自治、コミュニティ形成の推進				
	地域振興費		施策区分	①活力あるコミュニティ活動の推進				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	3,204			2,804	400	0	委託料	3,060
H24当初予算						0	使用料	144
対前年度増減	3,204	0	0	2,804	400	0		
H23決算	0					0		
事業目的	超少子高齢化が進行すると地域コミュニティの維持が困難であるため、多種多様な人材で支え合う仕組みづくりを行う。				対象者(受益)			
					具体名	市民		
					人数等	-		
事業内容	事業期間	H25	~	新規・継続の別	新規	実施主体	市	
	【事業期間中の事業内容】							
	まちづくり協議会と連合自治会が連携し、地域の将来を考える範囲を最大小学校区とする仕組みとして、地域の多種多様な人材が自主的に参加するワークショップを開催し、地域のめざす方向を見出す。 【H25の事業内容】 新たな仕組みづくりの推進と先行地域でのワークショップの開催 外部有識者派遣委託料 3,060千円、会場借上料 144千円							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	ワークショップ開催組織の立上げ数 7か所		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	ワークショップの中から地域の課題が整理され、将来のために住民主体の活動意識の醸成されると、まちづくり実践活動にステップアップでき、結果的に新たなコミュニティ組織のなかから人材が育成される。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(まちづくり推進部)

単位:千円

所管課:	まちづくり推進課	事業名:	地域再生拠点等プロジェクト支援事業	予算書頁	67			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり				
科目名等:	2-1-12		節	①地域自治、コミュニティ形成の推進				
	地域振興費		施策区分	①活力あるコミュニティ活動の推進				
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	6,000					6,000	補助金	6,000
H24当初予算	0					0		
対前年度増減	6,000	0	0	0	0	6,000		
H23決算	0					0		
事業目的	住民主体で地域再生の取組を展開してきた地域が実施する、雇用や賑わい創出、定住人口の増加につながる本格的なプロジェクトについて、ハード・ソフト両面から支援し、地域の元気創出を図る。					対象者(受益)		
						具体名	市民	
						人数等	-	
事業内容	事業期間	H25	~	H27	新規・継続の別	新規	実施主体	市
	【事業期間中の事業内容】							
	兵庫県が地域再生拠点等プロジェクト支援事業のモデル地域に指定した自治会又は、当該事業を実施するために組織された、地域住民主体の団体が、「地域再生拠点等プロジェクト支援事業」として、県補助金の採択を受けた事業を実施する場合に、補助対象経費の一部を助成する。(県1/2補助、市1/4補助)							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		-		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-	
	事業効果	青年や若者を受け入れ人材を育成することにより、中山間地域や過疎地域の強みを明確化し、農業のあり方を創造するとともに、地域再生を図ることができる。						

単位:千円

所管課:	一宮市民局まちづくり推進課	事業名:	いちのみやふるさとまつり運営事業補助金	予算書頁	67			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり				
科目名等:	2-1-12		節	③多様な地域間交流の推進				
	地域振興費		施策区分	①市内における地域間交流の促進				
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	3,350					3,350	補助金	3,350
H24当初予算	3,350					3,350		
対前年度増減	0	0	0	0	0	0		
H23決算	3,350					3,350		
事業目的	参画と協働による自主創造のまちづくりを実践する場として、市民が自ら企画立案し運営するまちづくりイベント「いちのみやふるさとまつり」を開催する。					対象者(受益)		
						具体名	来場者	
						人数等	5,000人	
事業内容	事業期間	S53	~		新規・継続の別	継続	実施主体	実行委員会
	【事業期間中の事業内容】							
	地域の活性化、まちづくり活動に積極的に取り組む一宮町内のすべての自治会が日頃の成果を発表する場として開催される「いちのみやふるさとまつり」にかかる経費の一部を補助する。							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		来場者5,000人		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-	
	事業効果	市民と行政が一体となって開催されるまちづくりイベント「いちのみやふるさとまつり」を支援することで、参画と協働によるまちづくりを実現する。また、イベント開催により世代を超えた多様な地域間交流を推進するとともに地域活力の向上を図ることができる。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(まちづくり推進部)

単位:千円

所管課:	千種市民局まちづくり推進課	事業名:	ちくさふれあいフェスタ実施事業補助金			予算書頁	67	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり				
科目名等:	2-1-12		節	①地域自治、コミュニティ形成の推進				
	地域振興費		施策区分	①活力あるコミュニティ活動の推進				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	1,500				1,500	0	補助金	1,500
H24当初予算	1,500				1,400	100		
対前年度増減	0	0	0	0	100	△ 100		
H23決算	1,422				1,400	22		
事業目的	各種団体の協力によりちくさふれあいフェスタを開催し、市民が一堂に会して「ふれあい」と「感動」を共有できるコミュニティ環境づくりに資する。					対象者(受益)		
						具体名	市民	
						人数等	-	
事業内容	事業期間	H22	～	新規・継続の別	継続	実施主体	実行委員会	
	【事業期間中の事業内容】 合併前の千種町民大運動会に変わる秋のイベントとして開催される「ちくさふれあいフェスタ」について実行委員会に対して必要な経費を補助する。  【H25の事業内容】 同上(ステージイベント、商店街路上イベント、うまいもんコーナーその他各種コーナーの内容について実行委員会にて検討する。)							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	参加者数 2,500人		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	イベントの開催により世代を超えた多様な地域間交流を促進するとともに、自治会・各種団体等の自主的・主体的な地域活動を推進し良好なコミュニティーの形成を図ることができる。						

単位:千円

所管課:	環境観光課	事業名:	ふるさと森づくり事業			予算書頁	72		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	①人と人、人と自然にやさしいまちづくり					
科目名等:	2-1-19		節	①森林を生かした豊かな空間づくり					
	ふるさとづくり事業費		施策区分	①森林環境の保全					
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	1,300					1,300	人件費		
H24当初予算	1,300					1,300	賃金		
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	委託料		
H23決算	598					598	工事請負費		
事業目的	市民が自主的及び主体的に行う広葉樹の植樹事業を推進することで、豊かな自然景観の保全と魅力あるふるさとづくりの実現に資する。					対象者(受益)		備品購入費	
						具体名	市民等	補助金	1,300
						人数等	-	その他	0
事業内容	事業期間	H23	～	新規・継続の別	継続	実施主体	市		
	【事業期間中の事業内容】 自治会、各種団体、サークル、NPO等が自主的及び主体的に行う広葉樹の植樹事業に要する経費を補助する。  【H25の事業内容】 新規補助 2団体(600千円×2団体) 継続補助 1団体(100千円×1団体)								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	10団体		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	2団体(20%)				
	事業効果	・森林の保全に対する意識の醸成 ・地域景観の形成							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(まちづくり推進部)

単位:千円

所管課:	環境観光課	事業名:	再生可能エネルギー普及促進事業			予算書頁	72	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	①人と人、人と自然にやさしいまちづくり				
科目名等:	2-1-20		節	④資源循環型社会の構築				
	森のゼロエミッション事業費		施策区分	①低炭素社会の形成促進				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	67,500	35,000	7,000			25,500	備品購入費	14,000
H24当初予算	32,500		7,000			25,500	補助金	18,500
対前年度増減	35,000	35,000	0	0	0	0	委託料	3,000
H23決算	28,533			6,751		21,782	工事請負費	32,000
事業目的	環境基本計画アクションプランの重点目標の達成に向け、再生可能エネルギーの利用を促進することにより、地域経済の活性化に資する。				対象者(受益)			
					具体名	市民		
					人数等	-		
事業内容	事業期間	H22	~	H26	新規・継続の別	継続	実施主体	市
	【事業期間中の事業内容】							
	市内の再生可能エネルギーの導入促進を図るため、グリーンエネルギー機器の導入費用の一部の助成を行なう。また、木質ペレットの燃焼機器を公共施設や学校等に導入し、木質ペレットの需要拡大を図るとともに、一般世帯や事業所への普及を推進する。加えて、木質エネルギーの地域内循環を図り、産業として軌道にのせるため、温泉施設等へ木質ペレットボイラーの導入を図る。 【H25の事業内容】 同上及び「伊沢の里」温泉施設の老朽化した重油ボイラーを木質ペレットボイラーに切り替える。							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	年間補助金申請件数 100件			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-		
	事業効果	宍粟市環境基本計画の目標に掲げる自給率70%に貢献するものであり、市全域にわたりさらに普及を図る。						

単位:千円

所管課:	環境観光課	事業名:	環境パートナーシップ促進助成事業			予算書頁	73	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	①人と人、人と自然にやさしいまちづくり				
科目名等:	2-1-20		節	④資源循環型社会の構築				
	森のゼロエミッション事業費		施策区分	①低炭素社会の形成促進				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	960					960	人件費	
H24当初予算	960					960	賃金	
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	委託料	
H23決算	0					0	工事請負費	
事業目的	環境主都の実現に向けて、市民全体で取り組む環境活動(市民プロジェクト)を支援することにより、市民による取り組みの推進と人材育成、自立した組織の育成とより多くの参画をめざす。				対象者(受益)		備品購入費 補助金 960 その他 0	
					具体名	市民		
					人数等	-		
事業内容	事業期間	H24	~	H26	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】							
	平成23年12月に設立された「e-みらっそ」の活動を支援し、具体的な環境保全に向けた取組を行う市民プロジェクトを促進するとともに、全体イベントやPR活動を通じて広く市民の参画を呼びかける。 【H25の事業内容】 H24.11の段階で4件の市民プロジェクトが立ち上がり、その内3件がプロジェクト活動補助金により活動を行っている。平成25年度はさらなる取組の拡大をはかる。							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	市民プロジェクト件数:6 e-みらっその会員数:100			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	市民プロジェクト件数:50% e-みらっその会員数:40%		
	事業効果	自治基本条例の理念を具現化し、市民がボランティアとして主体的に環境保全や環境教育に関わることの出来る仕組みをつくることことができる。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(まちづくり推進部)

単位:千円

所管課:	環境観光課	事業名:	森のゼロエミッション普及啓発事業			予算書頁	72		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	①人と人、人と自然にやさしいまちづくり					
科目名等:	2-1-20		節	④資源循環型社会の構築					
	森のゼロエミッション事業費		施策区分	①低炭素社会の形成促進					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額	
H25当初予算	898						898	報償費 244	
H24当初予算	396						396	旅費 59	
対前年度増減	502	0	0	0	0	0	502	需用費 345	
H23決算	1,201						1,201	工事請負費	
事業目的	市民が環境に配慮した行動や意識を高めるため、まち全体がひとつになって「世界に誇れる環境主都」をめざしていくための普及啓発を行う。					対象者(受益)		備品購入費	
						具体名	市民	補助金	250
						人数等	-	その他	0
事業内容	事業期間	H17	~	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】								
	宍粟市の地域資源を活かした資源循環型社会の形成を実現するために、「人づくり」「環境まちづくり」「産業社会づくり」のため、市民向けの各種講座や普及啓発イベント等を行う。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		年間イベント参加者数	300名	継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果		環境への関心を図るため、幾方面から入り口を設定することで、環境に配慮した市民を広げることができる。						
	【H25の事業内容】								
・森と水の地球環境大学・環境にやさしいライフスタイル講演会・緑のカーテンコンテスト									
・木質バイオマス機器普及イベント・地球温暖化防止活動推進イベント・東芝CSR活動									

単位:千円

所管課:	環境観光課	事業名:	観光協会助成事業			予算書頁	154		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり					
科目名等:	6-1-3		節	④観光の振興					
	観光振興費		施策区分	②観光情報の発信					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額	
H25当初予算	6,400						6,400	人件費	
H24当初予算	7,400						7,400	賃金	
対前年度増減	△1,000	0	0	0	0	0	△1,000	委託料	
H23決算	7,200						7,200	工事請負費	
事業目的	官民一体となって観光による地域振興を目指す観光協会活動を支援することにより、効果的な観光対策を促進し、観光関連産業の振興と地域活性化に資する。					対象者(受益)		備品購入費	
						具体名	市民	補助金	6,400
						人数等	-	その他	
事業内容	事業期間	H17	~	新規・継続の別	継続	実施主体	しそ観光協会		
	【事業期間中の事業内容】								
	しそ観光協会への運営費の助成を行い、市の内外に対し「宍粟市」の観光情報の発信を行い、観光入込客数の増加とそれに伴う観光客関連産業への波及効果を図る。 運営補助:パンフレットやホームページ等による情報発信事業、イベント助成事業、観光資源の保全事業等 特別補助:市外でのPR活動事業、季刊誌の発行事業等								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		入込客数	135万人	継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	年次5%増加			
	事業効果		・情報発信やPR活動により、入込客数の増加 ・イベント助成により、住民及び観光関連事業者等の活性化 ・観光資源の保全						
	【H25の事業内容】								
同上									

# 平成25年度主要施策に係る説明書(まちづくり推進部)

単位:千円

所管課:	環境観光課	事業名:	森林王国事業	予算書頁	154				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	①人と人、人と自然にやさしいまちづくり					
科目名等:	6-1-3		節	①森林を生かした豊かな空間づくり					
	観光振興費		施策区分	②森林文化の振興					
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳			
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	10,000			4,386		5,614	報償費		
H24当初予算	10,000			4,386		5,614	賃金		
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	委託料		
H23決算	5,000					5,000	工事請負費		
事業目的	住民主体の特色ある「県民オアシスーしそ森林王国ー」の形成に向けて、さまざまな活動を実施する協会に対し負担金を支払う。			対象者(受益)		備品購入費			
				具体名	市民等	負担金	10,000		
				人数等	-	その他	0		
事業内容	事業期間	H17	～	新規・継続の別	継続	実施主体	(財)しそ森林王国協会		
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の保全と活用                      宍粟50名山の保全と活用(登山会の開催) ネイチャーアート事業の実施</li> <li>・ニューツーリズムの推進                      エコツーリズム・ヘルスツーリズム事業の実施</li> </ul> <p>【H25の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宍粟50名山登山会の開催 ネイチャーアート事業(ちくさ高原フラワーパーク事業)</li> <li>・千町拠点エリアを活用したエコツーリズム・ヘルスツーリズム事業の実施</li> </ul>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	・王国プログラム等参加者 1,000人 ・国見の森公園来園者 40,000人		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)					
	事業効果	・自然資源を活用した環境教育の推進 ・特色ある地域づくり							

単位:千円

所管課:	環境観光課	事業名:	観光イベント事業	予算書頁	154				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり					
科目名等:	6-1-3		節	④観光の振興					
	観光振興費		施策区分	①観光資源の充実					
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳			
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	15,400				5,100	10,300	報償費		
H24当初予算	13,600				5,100	8,500	賃金		
対前年度増減	1,800	0	0	0	0	1,800	委託料		
H23決算	13,253				2,913	10,340	工事請負費		
事業目的	観光振興に関する民間団体主体のイベント事業を支援することにより、民間主導の地域づくりを促進し、多様な交流の促進による観光振興と活力ある地域づくりに取り組む。			対象者(受益)		備品購入費			
				具体名	市民等	補助金	15,400		
				人数等	-	その他	0		
事業内容	事業期間	H17	～	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>宍粟市:宍粟市最上山もみじ祭り(仮称)                      山崎:さつき祭り 山崎納涼夏祭り 波賀:はが祭り 音水湖カヌーまつり                      千種:妙見夏祭り</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>山崎:さつき祭り 2,400千円 山崎納涼夏祭り 6,100千円 波賀:はが祭り 2,200千円 音水湖カヌーまつり 800千円 千種:妙見夏祭り 2,100千円 宍粟市:宍粟市最上山もみじ祭り(仮称) 1,800千円</p>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	さつき祭り10,000人 納涼夏祭り15,000人 はが祭り 2,700人 カヌーまつり2,000人 妙見夏祭り 3,500人 最上山もみじ祭り 30,000人		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)		-			
	事業効果	観光振興に資するイベント事業を支援することにより、民間主導の地域づくりを促進し、多様な交流促進による観光振興と活力ある地域づくりに資する。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(まちづくり推進部)

単位:千円

所管課:	環境観光課	事業名:	宍粟50名山登山ルート周辺管理事業				予算書頁	153
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	6-1-3		節	④観光の振興				
	観光振興費		施策区分	①観光資源の充実				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	2,545					2,545	報償費	
H24当初予算	6,846	6,846				0	賃金	
対前年度増減	△ 4,301	0	△ 6,846	0	0	2,545	委託料	2,545
H23決算	9,314	9,314				0	工事請負費	
事業目的	宍粟50名山の登山道の整備及び案内看板等の充実を図り、登山者の安全と快適を確保する。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名		補助金	
					人数等		その他	0
事業内容	事業期間	H21	～	新規・継続の別	継続	実施主体	(財)しそ森林王国協会	
	【事業期間中の事業内容】							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登山ルートの点検調査及びルート確保(倒木及び雑草の処理)</li> <li>・案内看板の点検・設置</li> </ul>							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		年間登山者 5,000人	継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-		
	事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宍粟市への来訪者の増加</li> <li>・ルート確保による登山者の安全確保とイメージアップ</li> </ul>						

単位:千円

所管課:	環境観光課	事業名:	観光案内所設置事業				予算書頁	154
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	6-1-3		節	④観光の振興				
	観光振興費		施策区分	②観光情報の発信				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	1,900					1,900	人件費	
H24当初予算	1,900	1,900				0	賃金	
対前年度増減	0	0	△ 1,900	0	0	1,900	委託料	1,900
H23決算	1,900	1,900				0	工事請負費	
事業目的	観光案内所を設置し、観光案内サービスの向上により、観光入込客各数の増加を図る。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	市民	補助金	
					人数等	-	その他	
事業内容	事業期間	H23	～	新規・継続の別	継続	実施主体	しそ観光協会	
	【事業期間中の事業内容】							
	<p>公共交通機関での来訪者を中心に観光案内サービスを実施するため、神姫バス山崎案内所内に観光案内所を設置し、案内人を配置し、休日の来所者及び電話による問合せ等に対応</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>道の駅「山崎」廃止後、観光プラットフォーム拠点施設整備までの補完サービスを提供するとともに、観光基本計画の中での取組みとして、利用者の意識調査等を実施するため観光案内サービスを継続する。</p>							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		来所者 2,000人 電話問合せ 5,000件	継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-		
	事業効果	観光案内サービス充実による観光入込客数の増加とリピータの確保						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(まちづくり推進部)

単位:千円

所管課:	環境観光課	事業名:	観光振興プロジェクト事業				予算書頁	152
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	6-1-3		節	④観光の振興				
	観光振興費		施策区分	②観光情報の発信				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	277					277	人件費	
H24当初予算	0					0	賃金	
対前年度増減	277	0	0	0	0	277	報償費	277
H23決算						0	工事請負費	
事業目的	観光基本計画に基づき具体的な取組みを実践し、観光立市の実現に資する。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	市民	補助金	
					人数等	-	その他	
事業内容	事業期間	H23	~	新規・継続の別	新規	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】							
	宍粟市観光基本計画に基づく、観光基盤または先導的な施策について、調査・研究を行うとともに、段階的に実施する。							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		観光プラットフォームの構築		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-	
	【H25の事業内容】							
	・観光プラットフォーム拠点施設の設置及び運営方針を検討する委員会を設ける。							
事業効果	・観光基本計画に掲げる施策の円滑な推進							
	・観光入込客の増加							

単位:千円

所管課:	環境観光課	事業名:	パーク&観光モデル事業				予算書頁	154
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	6-1-3		節	④観光の振興				
	観光振興費		施策区分	②観光情報の発信				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	1,500					1,500	人件費	
H24当初予算	0					0	賃金	
対前年度増減	1,500	0	0	0	0	1,500	委託料	1,500
H23決算						0	工事請負費	
事業目的	「観光立市」をめざす観光基本計画に連動する観光推進事業の調査・研究及び段階的実施を行うことにより、観光案内サービスの向上と入込客の増加に資する。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	市民	補助金	
					人数等	-	その他	
事業内容	事業期間	H23	~	新規・継続の別	新規	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】							
	宍粟市観光基本計画に基づく、観光基盤または先導的な施策について、調査・研究を行うことを目的として、市中心部で開催するイベントにおける「パーク&観光モデル事業」を試行する。							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		パーク&観光システムの構築		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-	
	【H25の事業内容】							
	最上山もみじ祭り等の駐車場不足解消と市街地渋滞緩和のため、バス事業者等の協力のもと、指定駐車場とイベント会場間のシャトルバス運行システムを構築すべく試行を行う。							
事業効果	・観光基本計画に掲げる施策の円滑な推進							
	・観光入込客の利便性向上と安全確保							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(まちづくり推進部)

単位:千円

所管課:	環境観光課	事業名:	学生合宿促進事業				予算書頁	154
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	6-1-3		節	④観光の振興				
	観光振興費		施策区分	①観光資源の充実				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	975					975	人件費	
H24当初予算	1,200					1,200	賃金	
対前年度増減	△ 225	0	0	0	0	△ 225	委託料	
H23決算	1,201					1,201	工事請負費	
事業目的	市外の高校・大学等の生徒又は学生で構成された合宿団体に補助することにより、地域の活性化及び観光入込客の増加を図る。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	市民	補助金	975
					人数等	-	その他	
事業内容	事業期間	H23	~	H25	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】							
	市外の高校・大学等の生徒又は学生で構成された合宿団体が宍粟市内で宿泊して行う合宿で、一定の要件を満たしたものについて補助を行う。 一般種目:1,000円/人/泊 指定奨励(カヌー):1,500円/人/泊							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		一般種目:15校(延べ750人) 指定推奨:5校(延べ300人)		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)		86%	
	事業効果	・若者の利用とリピーターの促進 ・宿泊施設の利用促進						

単位:千円

所管課:	一宮市民局まちづくり推進課	事業名:	福知渓谷復興事業(だいたい岩は残った)				予算書頁	72
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり				
科目名等:	2-1-19		節	①地域自治、コミュニティ形成の推進				
	ふるさとづくり事業費		施策区分	①活力あるコミュニティ活動の推進				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	3,556					3,556	人件費	
H24当初予算	3,556					3,556	賃金	
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	委託料	
H23決算	2,912					2,912	工事請負費	
事業目的	平成21年台風9号災害で大きな被害を受けた福知渓谷において、災害ボランティアの支援を受けながら早期復興を果たそうと努力する地元自治会の活動支援を通じて、災害に強い参画と協働によるまちづくりを実践する。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名		補助金	3,556
					人数等		その他	0
事業内容	事業期間	H22	~	H26	新規・継続の別	継続	実施主体	福知自治会
	【事業期間中の事業内容】							
	①林相整備(間伐促進及びもみじや四季桜などの植樹による環境整備) ②ディキャンプ場の再開及び環境整備 ③中洲撤去に伴う河川護岸周辺整備 ④災害復興ボランティアとの交流を通じたまちづくりの推進							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		-		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)		-	
	事業効果	未曾有の災害からの復興を目指す福知渓谷において、地元自治会と復興を支援して下さるボランティアの皆さんとの地域交流活動を通じて、災害に強いまちづくりと参画と協働によるまちづくりを実践する。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(まちづくり推進部)

単位:千円

所管課:	一宮市民局地域振興課	事業名:	福知溪谷休養センター周辺修繕事業				予算書頁	157
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	6-1-4		節	④観光の振興				
	観光施設費		施策区分	①観光資源の充実				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	6,000					6,000	人件費	
H24当初予算	6,000					6,000	賃金	
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	委託料	
H23決算						0	工事請負費	6,000
事業目的	平成21年災害により被災した交流会館の跡地と多目的ドーム周辺を兵庫県の河川災害復旧工事に合わせて観光施設として整備する。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	市民	補助金	
					人数等	42,000人	その他	0
事業内容	事業期間	24	~	26	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】							
	多目的ドームへの吊橋床板取替、周回道路舗装L=200m、駐車場舗装A=400㎡、街灯設置5基、灯油タンク撤去、新設、既設駐車場舗装更新							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		8,000人		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		54%	
	【H25の事業内容】							
	吊橋床板修繕L=22m W=1.0m 周回道路舗装L=200m、駐車場舗装A=200㎡、街灯2基							
事業効果	平成23年4月から営業を再開したが、23年度の利用客は4,338人と少なく休養センター周辺を早期復旧することにより施設利用客の増を図る。							

単位:千円

所管課:	波賀市民局地域振興課	事業名:	原不動滝公園周辺整備事業				予算書頁	157
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	6-1-4		節	④観光の振興				
	観光施設費		施策区分	①観光資源の充実				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	4,000				4,000	0	人件費	
H24当初予算	5,000				5,000	0	賃金	
対前年度増減	△1,000	0	0	0	△1,000	0	委託料	
H23決算	0					0	工事請負費	4,000
事業目的	波賀サイクリングターミナルに隣接するテニスコートの老朽化に伴い、新たな利活用を図り、観光客の増加を図る。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	市民等	補助金	
					人数等	-	その他	0
事業内容	事業期間	H24	~	H25	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】							
	・ペット可のオートキャンプ場の整備 防護柵撤去 照明灯撤去 キャンプサイトの整備 ・冬期の遊び場の整備 法面整備							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		2,000人		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-	
	【H25の事業内容】							
	・キャンプサイトの整備							
事業効果	・年間を通じた利用客の増加							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(まちづくり推進部)

単位:千円

所管課:	波賀市民局地域振興課	事業名:	ばんしゅう戸倉スキー場施設整備事業				予算書頁	157
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	6-1-4		節	④観光の振興				
	観光施設費		施策区分	①観光資源の充実				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	22,500				22,500	0	人件費	
H24当初予算	23,200				23,200	0	賃金	
対前年度増減	△ 700	0	0	0	△ 700	0	委託料	
H23決算	21,000				21,000	0	工事請負費	22,500
事業目的	安全の確保については、市と指定管理者の責務であるが、索道事業の許可は市が受けているため、市が計画する周期的な整備(大規模修繕・オーバーホール)について市が負担し整備を行う。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	利用者	補助金	
					人数等	-	その他	0
事業内容	事業期間	H23	~	H25	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市
	<b>【事業期間中の事業内容】</b> ・全リフトのオーバーホール ・振り子沢第1ペアリフト制御装置更新 ・振り子沢第1ペアリフトユニット  <b>【H25の事業内容】</b> ・振り子沢第1ペアリフト制御装置更新・ユニバーサルジョイント交換 ・高丸トリプルリフト減速機オーバーホール・原動軸整備・折返滑車軸交換・滑車ゴムライナー交換・ユニバーサルジョイント交換							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	40,000人			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	80%		
	事業効果	施設・設備の長寿命化と安全安心の確保を図るとともに、利用者・来客者の拡大を図ることができる。						

単位:千円

所管課:	千種市民局地域振興課	事業名:	ちくさ湿原整備事業				予算書頁	153
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	6-1-3		節	④観光の振興				
	観光振興費		施策区分	①観光資源の充実				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	22,000				22,000	0	人件費	
H24当初予算	0					0	賃金	
対前年度増減	22,000	0	0	0	22,000	0	委託料	2,000
H23決算	0					0	工事請負費	20,000
事業目的	観光を中心に都市部からの集客をねらった、四季折々の彩り豊かな花と森を整備し、ちくさ高原を中心とした観光拠点整備を進めそれを定着させたい。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	観光者	補助金	
					人数等	-	その他	0
事業内容	事業期間	H25	~	H25	新規・継続の別	継続	実施主体	市
	<b>【事業期間中の事業内容】</b> 湿原保全整備、エリア内遊歩道管理道整備、休憩所等(東屋・展望台)整備、調査測量業務 遊歩道整備 L=1,070m(20,000千円) 保全エリア平面測量 4ha(2,000千円)  <b>【H25の事業内容】</b> 遊歩道整備 L=1,070m(20,000千円) 保全エリア平面測量 4ha(2,000千円)							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	5万人			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-		
	事業効果	九輪草開花時期の5月中旬から6月中旬までの1ヶ月間に観賞客1万人 ちくさ高原ゲレンデゆり園4万人 新緑・紅葉時期+α						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(まちづくり推進部)

単位:千円

所管課:	千種市民局地域振興課	事業名:	ちくさ高原スキー場施設整備事業	予算書頁	157				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり					
科目名等:	6-1-4		節	④観光の振興					
	観光施設費		施策区分	①観光資源の充実					
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳			
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	10,800				10,800	0	人件費		
H24当初予算	13,750				13,700	50	賃金		
対前年度増減	△ 2,950	0	0	0	△ 2,900	△ 50	委託料		
H23決算	13,650				13,600	50	工事請負費	10,800	
事業目的	安全の確保については、市と指定管理者の責務であるが、索道事業の許可は市が受けているため、市が計画する周期的な整備(大規模修繕・オーバーホール)について市が負担し整備を行う。			対象者(受益)		25年度当初予算の内訳			
				具体名	入込客数	補助金			
				人数等	70,000人	その他		0	
事業内容	事業期間	H23	～	H25	新規・継続の別	継続	実施主体	穴栗市	
	【事業期間中の事業内容】								
	H23第2・3リフト通信ケーブル・端子箱更新(13,650,000円) H24第1・2・3リフト緊張油圧設備更新(12,075,000円)								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		73,000人		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		70%		
	【H25の事業内容】								
	第1・2・3リフト折返・原動滑車交換整備工事(10,800,000円)								
事業効果	施設・設備の長寿命化と安全安心の確保を図るとともに、利用者・来客者の拡大を図る。								

単位:千円

所管課:	消防防災課	事業名:	防犯灯LED化推進事業	予算書頁	64				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり					
科目名等:	2-1-11		節	④交通安全・防犯対策の推進(防犯対策)					
	防犯・交通安全対策費		施策区分	①防犯対策の支援・充実					
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳			
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	16,200		5,000	5,000		6,200	工事請負費	15,000	
H24当初予算	300					300	補助金	1,200	
対前年度増減	15,900	0	0	5,000	5,000	0	5,900		
H23決算	747					747			
事業目的	自治会内の防犯上必要な場所に防犯灯の設置及び修繕を促進することにより安心・安全のまちづくりをすすめる。			対象者(受益)		25年度当初予算の内訳			
				具体名	自治会員	補助金			
				人数等	-	その他			
事業内容	事業期間	H25	～	H26	新規・継続の別	新規	実施主体	自治会	
	【事業期間中の事業内容】								
	・自治会が管理する防犯灯のLED化を促進するため蛍光灯器具からLED器具への取替えについて希望数を調査し、計画的に市内の取替え工事を市が一括発注して実施する。 ・自治会が新規に設置する防犯灯については補助金を交付する。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		市内自治会管理防犯灯LED化 1000基		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-		
	【H25の事業内容】								
	同上								
事業効果	自治会の負担軽減とLED化の促進が図られ一括発注により、より多くの器具の取替えが可能となる。また、節電効果によりCO2の削減と、電気代を節減できる。(1基あたり)年間1,164円安くすることができる。								

# 平成25年度主要施策に係る説明書(まちづくり推進部)

単位:千円

所管課:	消防防災課	事業名:	家族防災の日普及啓発事業			予算書頁	179
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり			
科目名等:	8-1-6		節	③災害に強いまちづくり(防災体制の充実)			
	災害対策費		施策区分	①危機管理体制の構築			
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	945					945	印刷製本費 945
H24当初予算	0					0	
対前年度増減	945	0	0	0	0	945	
H23決算	0					0	
事業目的	「自助」における取り組みとして、個人や家庭での防災や減災意識の向上が不可欠であることから、「宍粟市家族防災の日」を制定し、意識啓発を図る。				対象者(受益)		
					具体名	市民	
					人数等	-	
事業内容	事業期間	H25	~		新規・継続の別	新規	実施主体 市
	【事業期間中の事業内容】						
	「宍粟市家族防災の日」を制定(年2回)し、普及啓発資料「災害時チェックシート(仮称)」を全戸配布する。						
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		全戸での家族防災会議の開催		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		—
	事業効果	防災会議を開催することにより、家庭内の防災対策、災害時の持ち出し品や避難経路などを家族で確認し、「自助」意識の高揚に繋がる。					

単位:千円

所管課:	消防防災課	事業名:	ハザードマップ改訂事業			予算書頁	180
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり			
科目名等:	8-1-6		節	③災害に強いまちづくり(防災体制の充実)			
	災害対策費		施策区分	③地域防災体制の充実			
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	5,000					5,000	委託料 5,000
H24当初予算	0					0	
対前年度増減	5,000	0	0	0	0	5,000	
H23決算	0					0	
事業目的	ハザードマップを作成配布することにより、防災及び減災意識の高揚を図る。				対象者(受益)		
					具体名	市民	
					人数等	-	
事業内容	事業期間	H25	~	H25	新規・継続の別	新規	実施主体 市
	【事業期間中の事業内容】						
	指定避難所、浸水想定区域及び土砂災害警戒区域等の情報を掲載したマップを作成し、全戸配布する。						
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		全戸での家族防災会議の開催に活用		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		—
	事業効果	市民の防災及び減災意識の高揚に繋がり、市地域防災計画の理念である「自助」「共助」の力の向上に寄与する。					

# 平成25年度主要施策に係る説明書(まちづくり推進部)

単位:千円

所管課:	消防防災課	事業名:	防災広場整備事業				予算書頁	180
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり				
科目名等:	8-1-6		節	③災害に強いまちづくり(防災体制の充実)				
	災害対策費		施策区分	②基盤整備・地震・風水害対策の強化				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	32,775				30,000	2,775	委託料	2,100
H24当初予算	0					0	用地購入費	18,500
対前年度増減	32,775	0	0	0	30,000	2,775	工事請負費	11,000
H23決算	0					0	負担金	1,175
事業目的	地震に起因して発生する市街地火災等の二次災害における地域住民の生命を守る対策が急務であり、指定避難場所を兼ねた広場を整備し、地震対策に備える。				対象者(受益)			
					具体名	市民		
					人数等	-		
事業内容	事業期間	H25	~	H25	新規・継続の別	新規	実施主体	市
	【事業期間中の事業内容】							
	整備場所:山崎町菅野地区 設計監理委託料2,100千円、用地購入費18,500千円、トイレ棟建築及び付帯工事費11,000千円、上下水道加入分担金及び工事負担金1,175千円							
	【H25の事業内容】 同上							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	—			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	—		
	事業効果	防災広場を整備することにより、地域住民の安全・安心の確保に寄与する。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(市民生活部)

単位：千円

所管課：	市民課	事業名：	乳幼児・未熟児・こども医療費助成事業				予算書頁	110	
会計名：	一般会計	総合計画の施策体系：	章		③健康と福祉を育てる安心のまちづくり				
科目名等：	3-2-6		節		①少子化対策の総合的な推進				
	乳幼児等医療助成費		施策区分		①少子化対策推の推進				
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	140,709	1,384	31,285				108,040	旅費	15
H24当初予算	140,911		39,725				101,186	需用費	242
対前年度増減	△ 202	1,384	△ 8,440	0	0	0	6,854	役務費	7,059
H23決算	116,134		28,894				87,240	委託料	2,128
事業目的	少子化に対処するための施策を行い、家庭や子育てに夢を持ち、子どもを安心して生み育てることができる環境を整備し、未来に夢と希望がもてる宍粟市の実現を図ることを目的とする。				対象者(受益)		扶助費		131,265
					具体名	受給者	その他		0
					人数等	約4,300人			
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別		継続	実施主体	宍粟市・兵庫県	
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生以下の通院・入院、中学生の入院にかかる医療費を助成する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○市県共同事業 所得制限あり、自己負担額の一部助成</li> <li>○市単独事業 所得制限なし、自己負担額の全額助成</li> </ul> </li> <li>助成とし未熟児養育医療の自己負担分の軽減を図る。</li> </ul> <p>【H25の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生以下の通院・入院にかかる現物給付 ・中学生の入院にかかる償還払</li> <li>未熟児養育医療にかかる自己負担分の給付</li> </ul>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)		乳幼児・未熟児・こども医療費の助成		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)		-		
	事業効果		健康に暮らすことが望ましいが、医療にかかる必要が生じた場合であっても医療費の負担が過重とならないようにすることで、子どもを安心して生み育てることができる環境整備をめざす。						

単位：千円

所管課：	市民課	事業名：	国民健康保険給付事業				予算書頁	23		
会計名：	国保会計	総合計画の施策体系：	章		③健康と福祉を育てる安心のまちづくり					
科目名等：	2-1-1~2-5-1		節		③安心できる保健・福祉・医療体制の充実(社会保障制度)					
	保険給付費		施策区分		①国民健康保険事業の健全な運営					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	3,060,473	705,865	152,173		1,440,191		762,244	人件費		
H24当初予算	3,031,027	659,413	151,579		1,315,234		904,801	賃金		
対前年度増減	29,446	46,452	594	0	124,957	0	△ 142,557	委託料	7,011	
H23決算	3,034,593	848,828	119,903		1,084,194		981,668	工事請負費		
事業目的	国民健康保険法に基づき、医療が安心して受けられるよう、迅速かつ正確に保険給付の対応を図る。				対象者(受益)		備品購入費		負担金補助及び交付金 3,053,462	
					具体名	被保険者	その他			0
					人数等	11,499				
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別		継続	実施主体	宍粟市		
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>被保険者が安心して医療等を受けられるよう、医療機関等に支払う現物給付と、療養費、出産育児一時金、葬祭費などの現金給付を行う。</p> <p>【H25の事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①一般療養給付費、退職療養給付費等の現物給付を行う。</li> <li>②一般・退職療養費、一般・退職高額療養費、出産育児一時金、葬祭費などの給付を行う。</li> </ol>									
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)		医療費、給付費等の適正な給付		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)					
	事業効果		<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療を必要とする被保険者が安心して医療給付などを受けることができる。</li> <li>○国民皆保険としての基盤をなす重要な役割を果たす。</li> </ul>							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(市民生活部)

単位：千円

所管課：	市民課	事業名：	国民健康保険 保健衛生普及事業				予算書頁	32	
会計名：	国保会計	総合計画の施策体系：	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり					
科目名等：	8-2-1		節	③安心できる保健・福祉・医療体制の充実(社会保障制度)					
	保健衛生普及費		施策区分	①国民健康保険事業の健全な運営					
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	10,998					10,998	共済費	1,003	
H24当初予算	10,844					10,844	賃金	6,442	
対前年度増減	154	0	0	0	0	154	旅費	2	
H23決算	11,075					11,075	需用費	104	
事業目的	国保制度を安定的に運営していくために、診療報酬明細書の点検や、医療費通知を行うことにより医療費の適正化を図る。				対象者(受益)		委託料	1,904	
					具体名	被保険者	役務費	1,543	
					人数等	11,499	その他		
事業内容	事業期間	H17	～	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】								
	①医療機関等からの診療報酬請求の適正化を図るためのレセプト点検を行う。 ②第三者行為の疑いのあるレセプトを抽出し、第三者行為を早期に把握する。 ③医療費通知及び後発医薬品差額通知を実施する。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		レセプト点検効果額 15,000,000円		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)				
	事業効果								
	○医療機関等からの過剰な診療報酬請求を抑止する。 ○医療費の適正化を図る。 ○被保険者へ適正受診の啓発。								

単位：千円

所管課：	税務課	事業名：	コンビニ収納事業				予算書頁	76	
会計名：	一般会計	総合計画の施策体系：	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり					
科目名等：	2-2-2		節	⑤効果的・効率的な行財政運営の推進					
	賦課徴収費		施策区分	③健全な行財政運営の確保					
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	8,136					8,136	役務費	576	
H24当初予算	0					0	委託料	7,560	
対前年度増減	8,136	0	0	0	0	8,136			
H23決算	0					0			
事業目的	市役所や市民局及び金融機関での納税がしにくい納税者に対し、コンビニを活用した納税環境を整備することにより、納税者の利便性と収納率の向上を図る。				対象者(受益)		0		
					具体名	納税者			
					人数等	約30,000人			
事業内容	事業期間	H25	～	新規・継続の別	新規	実施主体	市		
	【事業期間中の事業内容】								
	平成25年10月1日から納税者の納税環境を向上させるために現行税システムを改修し、コンビニでの収納ができるようにする。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		現年分収納率(国保税含む) 96.8%		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)		-		
	事業効果								
	コンビニ収納を実施することにより、課税庁としての納税環境整備の責任を果たすことができ、併せて納税者の納税環境が改善され、収納率の向上が図られる。								

# 平成25年度主要施策に係る説明書(市民生活部)

単位：千円

所管課：	税務課	事業名：	滞納徴収対策事業				予算書頁	75・21	
会計名：	一般会計・国保会計	総合計画の施策体系：	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり					
科目名等：	2-2-2		節	⑤効果的・効率的な行財政運営の推進					
	1-2-1		施策区分	③健全な行財政運営の確保					
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	12,758						12,758	共済費	1,533
H24当初予算	12,547						12,547	賃金	9,824
対前年度増減	211	0	0	0	0	0	211	需用費	942
H23決算	11,942						11,942	役務費	151
事業目的	宍粟市の財源（税収）確保のため、収納率の向上を図るとともに税の公平性を確保する。					対象者（受益）		負担金 300 公課費 8 0	
						具体名	滞納者		
						人数等	約3,000人		
事業内容	事業期間	H17 ～			新規・継続の別	継続	実施主体	市	
	<p><b>【事業期間中の事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞納者への対応として、督促及び催告を実施し、納付かない場合は納税相談を行い、納付を促進する。納付も</li> <li>なく納税相談にも応じない滞納者については、財産調査を行い、換価可能な財産の発見に努め、差押処分を執行する。</li> <li>・全庁体制での管理職の訪問徴収の継続実施と徴税吏員と収納事務補助員の連携により電話及び文書催告を</li> </ul> <p><b>【H25の事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預金調査を中心に給与や取引先の調査等財産調査の実施</li> <li>・財産発見後は直ちに納税交渉を行い、応じない場合は速やかに差押を実施</li> <li>・搜索の実施（債権や不動産等の表見財産が無い場合）</li> <li>・タイヤロックの実施（納税意識が希薄で納付が見込まれない者）</li> <li>・インターネット公売を利用した換価の促進</li> <li>・管理職と税務課による訪問徴収の実施</li> <li>・兵庫県個人住民税等整理回収チームとの共同滞納整理の実施</li> </ul>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)	現年分収納率（国保税含む） 96.8%			継続事業の場合の目標 数値の進捗率（目標）		-		
	事業効果	預金・給与・国税還付金・動産等の差押による滞納者との接触機会の強化、インターネット公売を利用した換価の促進による収納額の増加及び住民税等整理回収チームとの共同滞納整理の実施により収納率の向上が図れる。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(市民生活部)

単位：千円

所管課：	生活衛生課	事業名：	生ごみ減量化促進事業補助金				予算書頁	73	
会計名：	一般会計	総合計画の施策体系：	章	①人と人、人と自然にやさしいまちづくり					
科目名等：	2-1-20		節	④資源循環型社会の構築					
	環境政策費		施策区分	②廃棄物の減量化と再資源化の推進					
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	800			800		0	補助金	800	
H24当初予算	800			800		0			
対前年度増減	0	0	0	0	0	0			
H23決算	738			738		0			
事業目的	各家庭から排出される生ごみを乾燥及び堆肥化することにより、ごみの減量化と再資源化を図る。				対象者(受益)		その他	0	
					具体名	市民			
					人数等	—			
事業内容	事業期間	H20 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】								
	平成20年度より全市に拡充し、生ごみ処理機を購入した市民に対して購入価格の1/2で20,000円を上限として補助する。 【H25の事業内容】 同上								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	目標台数：40台		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-				
	事業効果	家庭から排出される生ごみの減量化、資源利用とにしまクリーンセンターのごみ処理経費の減を図る。							

単位：千円

所管課：	生活衛生課	事業名：	リサイクル資源集団回収奨励金				予算書頁	73	
会計名：	一般会計	総合計画の施策体系：	章	①人と人、人と自然にやさしいまちづくり					
科目名等：	2-1-20		節	④資源循環型社会の構築					
	環境政策費		施策区分	②廃棄物の減量化と再資源化の推進					
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	13,500			13,500		0	補助金	13,500	
H24当初予算	13,500			13,500		0			
対前年度増減	0	0	0	0	0	0			
H23決算	12,598			12,598		0			
事業目的	循環型社会構築のための第一歩として、ごみの減量化と再資源化を図る。				対象者(受益)		その他	0	
					具体名	PTA/子ども会			
					人数等	約40団体			
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】								
	ごみ減量化及び資源の有効利用を図るため、リサイクル資源を自ら回収する団体に対して奨励金を交付する。 【H25の事業内容】 紙類・紙パック・布類・ペットボトル：10円/kg、ビン・アルミ缶・スチール缶：5円/kg								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	H25年度 1,360 t (88.7g/人・日×42,021人)		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-				
	事業効果	リサイクル資源の回収によりごみの減量化と資源の有効利用を図るとともに、ごみ問題に対する市民意識の高揚を図る。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(市民生活部)

単位：千円

所管課：	生活衛生課	事業名：	ごみ収集運搬事業				予算書頁	128	
会計名：	一般会計	総合計画の施策体系：	章	①人と人、人と自然にやさしいまちづくり					
科目名等：	4-2-2		節	④資源循環型社会の構築					
	塵芥処理費		施策区分	②廃棄物の減量化と再資源化の推進					
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	133,141			104		133,037	賃金	225	
H24当初予算	121,433					121,433	需用費	4,265	
対前年度増減	11,708	0	0	104	0	11,604	役務費	676	
H23決算	50,110					50,110	委託料	127,359	
事業目的	家庭ごみの新分別収集を行い、ごみの減量化及び資源循環型社会を構築する。				対象者(受益)		使用料及び賃借料	46	
					具体名	市民	負担金補助及び交付金	400	
					人数等	—	公課費	170	
事業内容	事業期間	H17	～	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>家庭ごみを18分別としそれぞれの収集運搬を行う。</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみの収集エリアを6エリアとし、業務委託にて実施する。資源ごみについては、全市エリアとし品目により3つの収集パターンを設定する。その内の1パターンを直営、あとの2パターンを業務委託にて行う。</p>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	H25年度 6,964 t (454.1g/人・日×42,021人)		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	—				
	事業効果	家庭ごみの分別収集を進め再資源化するとともに、可燃ごみ・不燃ごみの減量化を図る。							

単位：千円

所管課：	生活衛生課	事業名：	美化センター施設解体事業				予算書頁	131	
会計名：	一般会計	総合計画の施策体系：	章	①人と人、人と自然にやさしいまちづくり					
科目名等：	4-2-3		節	④資源循環型社会の構築					
	宍粟環境事務組合精算費		施策区分	②廃棄物の減量化と再資源化の推進					
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	140,000			19,164		120,836	委託料	8,000	
H24当初予算	0					0	工事請負費	132,000	
対前年度増減	140,000	0	0	19,164	0	120,836			
H23決算	0					0			
事業目的	宍粟環境事務組合の解散に伴い、環境美化センター施設を解体し適正な管理を行う。				対象者(受益)		その他	0	
					具体名	市民			
					人数等	—			
事業内容	事業期間	H25	～	新規・継続の別	新規	実施主体	宍粟市		
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>宍粟環境美化センター施設のうち、最終処分場及び浸出水処理施設以外の、管理棟・ごみ固形燃料化施設・粗大ごみ施設等を解体撤去する。</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>美化センター施設解体撤去工事</p>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	—		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	—				
	事業効果	施設の適正管理が図れる。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(市民生活部)

単位：千円

所管課：	生活衛生課	事業名：	し尿処理事業				予算書頁	132	
会計名：	一般会計	総合計画の施策体系：	章	①人と人、人と自然にやさしいまちづくり					
科目名等：	4-2-4		節	⑤生活景観の保全					
	し尿処理費		施策区分	①住みよい日常生活空間の保全					
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	76,818			25,200		51,618	需用費	46,348	
H24当初予算	76,267			25,560		50,707	役務費	449	
対前年度増減	551	0	0	△ 360	0	911	委託料	27,524	
H23決算	72,942			26,565		46,377	使用料及び賃借料	222	
事業目的	市内のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。				対象者(受益)		補償補填及び賠償金	2,275	
					具体名	市民	その他	0	
					人数等	-			
事業内容	事業期間	H17	～	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】								
	市内全域から収集されたし尿及び浄化槽汚泥の処理をしそうクリーンセンターにおいて実施する。 【H25の事業内容】 しそうクリーンセンターに投入されるし尿及び浄化槽汚泥を、施設管理業務委託により適正に処理する。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	H25年度 し尿1,438kℓ 浄化槽汚泥7,661kℓ 計9,099kℓ		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-				
	事業効果	し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。							

単位：千円

所管課：	生活衛生課	事業名：	し尿収集事業				予算書頁	132	
会計名：	一般会計	総合計画の施策体系：	章	①人と人、人と自然にやさしいまちづくり					
科目名等：	4-2-4		節	⑤生活景観の保全					
	し尿処理費		施策区分	①住みよい日常生活空間の保全					
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	25,941			16,666		9,275	需用費	125	
H24当初予算	26,513			17,097		9,416	役務費	316	
対前年度増減	△ 572	0	0	△ 431	0	△ 141	委託料	25,500	
H23決算	24,854			19,134		5,720			
事業目的	市内のし尿収集・運搬を適正に行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。				対象者(受益)		その他	0	
					具体名	市民			
					人数等	-			
事業内容	事業期間	H17	～	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】								
	し尿の収集運搬業務を業務委託により実施し、しそうクリーンセンターに運搬し処理を行う。 【H25の事業内容】 宍粟市を3ブロックに分け、それぞれ業務委託により適正なし尿収集業務を実施する。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	H25年度 1,438kℓ (1.39kℓ/人・日×2,835人)		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-				
	事業効果	し尿を定期的に収集運搬することで生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)

単位:千円

所管課:	社会福祉課	事業名:	地域福祉計画策定事業	予算書頁	89																																																						
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり																																																							
科目名等:	3-1-1		節	⑥地域福祉の充実																																																							
	社会福祉総務費		施策区分	①地域福祉の推進																																																							
予算額等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="6">財源内訳</th> <th colspan="2">25年度当初予算の内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>受益者負担金</th> <th>その他特定財源</th> <th>地方債</th> <th>一般財源</th> <th>主な費目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25当初予算</td> <td>3,401</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3,401</td> <td>報償費</td> <td>457</td> </tr> <tr> <td>H24当初予算</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>需用費</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>対前年度増減</td> <td>3,401</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3,401</td> <td>役務費</td> <td>812</td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>委託料</td> <td>2,000</td> </tr> </tbody> </table>							財源内訳						25年度当初予算の内訳		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	H25当初予算	3,401					3,401	報償費	457	H24当初予算	0					0	需用費	132	対前年度増減	3,401	0	0	0	0	3,401	役務費	812	H23決算	0					0	委託料	2,000
	財源内訳							25年度当初予算の内訳																																																			
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額																																																			
H25当初予算	3,401					3,401	報償費	457																																																			
H24当初予算	0					0	需用費	132																																																			
対前年度増減	3,401	0	0	0	0	3,401	役務費	812																																																			
H23決算	0					0	委託料	2,000																																																			
事業目的	<p>誰もが地域社会を構成する一員として日常生活を営み、あらゆる社会活動に参加し、共に生きる社会づくりを実現することを目的とした地域福祉計画を策定する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">対象者(受益)</th> <th rowspan="3">その他</th> </tr> <tr> <th>具体名</th> <th>全市民</th> </tr> <tr> <th>人数等</th> <td>約42,000人</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>						対象者(受益)		その他	具体名	全市民	人数等	約42,000人			0																																											
対象者(受益)		その他																																																									
具体名	全市民																																																										
人数等	約42,000人																																																										
		0																																																									
事業内容	<p>事業期間: H25 ~ H25 新規・継続の別: 新規 実施主体: 宍粟市</p> <p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>平成21年4月に平成21年度から平成25年度までの期間で地域福祉計画を策定したが、引き続き、行政による福祉サービスや福祉施策の充実と合わせて、市民や、福祉サービスを提供する社会福祉施設・事業者、ボランティア団体、NPO団体等の福祉活動を行う者及び市社会福祉協議会が連携して、地域福祉を推進していく必要があり、また社会情勢や市民ニーズの変化に対応した内容とするために次期計画を策定する。</p> <p>・改訂のスケジュール 計画策定委員の公募及び委員会の開催、市民意向調査(アンケート)の実施、素案策定、パブリックコメント、計画策定</p> <p>・改訂のポイント 要援護者の支援方策、福祉関連個別計画との整合性、アンケート調査結果の反映</p>																																																										
成果目標・事業効果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業に係る目標(数値目標)</th> <th>アンケート回収率95%</th> <th>継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))</th> <th>—</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業効果</td> <td colspan="3">アンケートの実施により地域福祉に対する市民の意向・要望・期待感が把握できると共に、委員を公募することで直接に市民の意見を聞くことができるようになり、より具体的な内容を示した市民主体の計画策定を行い、本計画に基づく宍粟市の地域福祉を推進していくことができる。</td> </tr> </tbody> </table>						事業に係る目標(数値目標)	アンケート回収率95%	継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))	—	事業効果	アンケートの実施により地域福祉に対する市民の意向・要望・期待感が把握できると共に、委員を公募することで直接に市民の意見を聞くことができるようになり、より具体的な内容を示した市民主体の計画策定を行い、本計画に基づく宍粟市の地域福祉を推進していくことができる。																																															
事業に係る目標(数値目標)	アンケート回収率95%	継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))	—																																																								
事業効果	アンケートの実施により地域福祉に対する市民の意向・要望・期待感が把握できると共に、委員を公募することで直接に市民の意見を聞くことができるようになり、より具体的な内容を示した市民主体の計画策定を行い、本計画に基づく宍粟市の地域福祉を推進していくことができる。																																																										

単位:千円

所管課:	社会福祉課	事業名:	民生委員児童委員協議会補助事業	予算書頁	90																																																						
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり																																																							
科目名等:	3-1-1		節	⑥地域福祉の充実																																																							
	社会福祉総務費		施策区分	①地域福祉の推進																																																							
予算額等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="6">財源内訳</th> <th colspan="2">25年度当初予算の内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>受益者負担金</th> <th>その他特定財源</th> <th>地方債</th> <th>一般財源</th> <th>主な費目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25当初予算</td> <td>15,019</td> <td>7,847</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7,172</td> <td>人件費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24当初予算</td> <td>15,019</td> <td>7,784</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7,235</td> <td>賃金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年度増減</td> <td>0</td> <td>63</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>△ 63</td> <td>委託料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>14,286</td> <td>7,784</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6,502</td> <td>工事請負費</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							財源内訳						25年度当初予算の内訳		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	H25当初予算	15,019	7,847				7,172	人件費		H24当初予算	15,019	7,784				7,235	賃金		対前年度増減	0	63	0	0	0	△ 63	委託料		H23決算	14,286	7,784				6,502	工事請負費	
	財源内訳							25年度当初予算の内訳																																																			
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額																																																			
H25当初予算	15,019	7,847				7,172	人件費																																																				
H24当初予算	15,019	7,784				7,235	賃金																																																				
対前年度増減	0	63	0	0	0	△ 63	委託料																																																				
H23決算	14,286	7,784				6,502	工事請負費																																																				
事業目的	<p>宍粟市における地域福祉の担い手であり、住民に身近な相談・支援者として多種多様な福祉課題に対応している民生委員・児童委員の活動に要する経費を補助することにより、地域福祉の推進を図る。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">対象者(受益)</th> <th rowspan="3">補助金</th> </tr> <tr> <th>具体名</th> <th>民児協・民児連</th> </tr> <tr> <th>人数等</th> <td>5団体133人</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td>15,019</td> </tr> </tbody> </table>						対象者(受益)		補助金	具体名	民児協・民児連	人数等	5団体133人			15,019																																											
対象者(受益)		補助金																																																									
具体名	民児協・民児連																																																										
人数等	5団体133人																																																										
		15,019																																																									
事業内容	<p>事業期間: H17 ~ 新規・継続の別: 継続 実施主体: 宍粟市</p> <p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>宍粟市民生委員児童委員協議会連合会補助金374,000円、民生委員児童委員協議会補助金14,645,000円(山崎6,473,000円、一宮4,180,000円、波賀2,105,000円、千種1,887,000円)を交付する。</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>同上</p>																																																										
成果目標・事業効果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業に係る目標(数値目標)</th> <th>-</th> <th>継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))</th> <th>-</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業効果</td> <td colspan="3">各協議会並びに連合会が、定例会や研修会等を開催することにより委員の資質向上や委員活動の強化充実を図ることとなり、住民が安心して暮らせる地域づくりにつながる。また、民生委員・児童委員は市民が地域で安心して暮らす為の良き相談役であり、特に要援護者に対しては行政で把握しきれないきめ細かな支援活動を行うことで地域ぐるみの福祉を推進することができる。</td> </tr> </tbody> </table>						事業に係る目標(数値目標)	-	継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))	-	事業効果	各協議会並びに連合会が、定例会や研修会等を開催することにより委員の資質向上や委員活動の強化充実を図ることとなり、住民が安心して暮らせる地域づくりにつながる。また、民生委員・児童委員は市民が地域で安心して暮らす為の良き相談役であり、特に要援護者に対しては行政で把握しきれないきめ細かな支援活動を行うことで地域ぐるみの福祉を推進することができる。																																															
事業に係る目標(数値目標)	-	継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))	-																																																								
事業効果	各協議会並びに連合会が、定例会や研修会等を開催することにより委員の資質向上や委員活動の強化充実を図ることとなり、住民が安心して暮らせる地域づくりにつながる。また、民生委員・児童委員は市民が地域で安心して暮らす為の良き相談役であり、特に要援護者に対しては行政で把握しきれないきめ細かな支援活動を行うことで地域ぐるみの福祉を推進することができる。																																																										

# 平成25年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)

単位:千円

所管課:	社会福祉課	事業名:	社会福祉協議会補助事業			予算書頁	90		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり					
科目名等:	3-1-1		節	⑥地域福祉の充実					
	社会福祉総務費		施策区分	①地域福祉の推進					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	62,530				7,023		55,507	人件費	
H24当初予算	63,164				6,227		56,937	賃金	
対前年度増減	△ 634	0	0	0	796	0	△ 1,430	委託料	
H23決算	56,032						56,032	工事請負費	
事業目的	兵庫県社会福祉協議会は、兵庫県内において社会福祉法第109条に規定する事業を行うことを目的とする唯一の団体であり、その運営経費を補助することにより、地域福祉の増進を図る。				対象者(受益)		備品購入費 補助金 62,530 その他		
					具体名	市社協			
					人数等	1団体11人分			
事業内容	事業期間	H17	～		新規・継続の別	継続	実施主体	兵庫県	
	【事業期間中の事業内容】 兵庫県社会福祉協議会に対し、人件費補助金として、法人運営地域福祉事業に従事する職員10人分59,469,000円と、ひょうごボランティア活動サポート事業に従事する職員1人分2,261,000円の合計11人分61,730,000円を交付する。また総合相談事業補助金800,000円(心配事相談等)を交付する。 【H25の事業内容】 同上								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	-			継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))	-			
	事業効果	社会福祉協議会の運営を支援することを目的とした補助金を交付することで、社協は、行政を始め市内の様々な福祉関係団体や指導者と連携、協力して活動し、地域ぐるみの福祉を推進することができる。							

単位:千円

所管課:	社会福祉課	事業名:	児童手当			予算書頁	110		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり					
科目名等:	3-2-5		節	⑤児童福祉・保育環境の充実					
	児童手当等支給費		施策区分	③経済的支援の充実					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	697,800	482,280	107,760				107,760	人件費	
H24当初予算	727,035	502,136	112,449				112,450	賃金	
対前年度増減	△ 29,235	△ 19,856	△ 4,689	0	0	0	△ 4,690	委託料	
H23決算	786,271	598,165	93,788				94,318	工事請負費	
事業目的	児童を養育している者に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。				対象者(受益)		備品購入費 扶助費 697,800 その他		
					具体名	支給対象者			
					人数等	2,896人			
事業内容	事業期間	H24	～		新規・継続の別	継続	実施主体	兵庫県	
	【事業期間中の事業内容】 15歳到達後最初の3月31日までの児童(中学校終了前)を養育する者へ手当を支給する。 (3歳未満)一律15,000円 (3歳以上小学校修了前)第1子・2子10,000円 第3子以降15,000円 (中学生)一律10,000円 (特例給付)一律5,000円 【H25の事業内容】 同上								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	100%支給			継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))	-			
	事業効果	児童手当の支給により、子育て家庭における経済的負担の軽減を図ることができる。家庭生活に安定が生まれることで児童の健やかな育ちを支援できる。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)

単位:千円

所管課: 社会福祉課		事業名: 児童扶養手当					予算書頁: 110		
会計名: 一般会計		章: ③健康と福祉を育てる安心のまちづくり							
科目名等: 3-2-5		総合計画の施策体系: 節: ⑤児童福祉・保育環境の充実							
児童手当等支給費		施策区分: ③経済的支援の充実							
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	141,356	47,118					94,238	人件費	
H24当初予算	141,540	47,179					94,361	賃金	
対前年度増減	△ 184	△ 61	0	0	0	0	△ 123	委託料	
H23決算	135,337	44,913			596		89,828	工事請負費	
事業目的	ひとり親家庭の経済的負担の軽減を図り、就業と自立の促進に向けた支援を行う。					対象者(受益)		備品購入費 扶助費 その他	141,356
						具体名	支給対象者		
						人数等	321人		
事業内容	事業期間: H17 ~		新規・継続の別		継続	実施主体		宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】 18歳到達後最初の3月31日までの間にある児童、または20歳未満で心身に中度以上の障害がある児童を監護している父または母、養育者に手当を支給する。 (全部支給)41,430円 (一部支給)41,420円-(受給者所得額-全部支給の所得制限限度額)×0.182890 (加算)2児5,000円3児以降3,000円								
	【H25の事業内容】 同上								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		100%支給		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-		
	事業効果		児童扶養手当を支給することによりひとり親家庭の経済的負担の軽減を図ることができる。						

単位:千円

所管課: 社会福祉課		事業名: 出会いサポート事業					予算書頁: 112		
会計名: 一般会計		章: ③健康と福祉を育てる安心のまちづくり							
科目名等: 3-2-7		総合計画の施策体系: 節: ①少子化対策の総合的な推進							
少子化対策事業費		施策区分: ①少子化対策の推進							
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	2,000						2,000	人件費	
H24当初予算	2,000						2,000	賃金	
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	0	委託料	2,000
H23決算	6,000						6,000	工事請負費	
事業目的	結婚を望んでいながら出会いに恵まれない人へ、結婚相談や出会いイベントの情報発信、出会いの機会の提供など、地域の男女が気軽に利用できる出会いの場を創出する。					対象者(受益)		備品購入費 補助金 その他	0
						具体名	独身者		
						人数等	-		
事業内容	事業期間: H19 ~		新規・継続の別		継続	実施主体		宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】 社会福祉協議会に出会いサポートセンター業務を委託する。 ○出会いサポート事業 ① 独身者に登録を呼びかけ、市内独身者同士の出会いの機会を設けるなど、登録者に情報提供を行い、センターが主催するイベント・セミナーに積極的に参加してもらう ② 企業・事業所・団体・自治会等を団体会員として募集する ③ 様々な「出会いの場」を企画・運営する市内のホテル・レストラン・旅行代理店等を協賛団体として募集する。 ○結婚相談事業(※相談員25名)① 独身者本人や親の相談を受け紹介を行う。 ② 出会いサポート事業と連携し総合的な結婚相談事業として推進する。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		出会いの機会提供目標回数 4回		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-		
	事業効果		より多くの出会いを提供することで、結婚による宍粟市内での定住を促進し、少子化対策を推進することができる。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)

単位:千円

所管課: 社会福祉課		事業名: ファミリーサポートセンター事業					予算書頁: 111		
会計名: 一般会計		総合計画の施策体系: 章 ③健康と福祉を育てる安心のまちづくり 節 ⑤児童福祉・保育環境の充実 施策区分 ①地域における子育ての支援							
科目名等: 3-2-7 少子化対策事業費									
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額	
H25当初予算	1,563	0	779			784	共済費	19	
H24当初予算	1,581	792				789	賃金	1,125	
対前年度増減	△ 18	△ 792	779	0	0	△ 5	報償費	15	
H23決算	1,444	586				858	旅費	7	
事業目的	子育てを応援してほしい人と子育てを応援したい人が会員になり、一時的、臨時的に子育てを応援し、地域で育児の相互援助活動を行う。					対象者(受益)		需用費	52
						具体名	子育て家庭等	役務費	191
						人数等	-	備品購入費	154
事業内容	事業期間: H17 ~		新規・継続の別		継続	実施主体		宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】 子育てを応援してほしい人はセンターに依頼をする。センターのアドバイザーは子育ての応援をしたい会員に依頼を行う。承諾が得られれば依頼会員と提供会員の打ち合わせを行い、両会員は応援の提供と活動報酬の支払いを行う。								
	【H25の事業内容】 同上								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		依頼会員からの依頼にかかる提供会員の目標受入率 100%		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-		
	事業効果		地域における子育ての相互援助活動を支援し、安心して子育てが出来る環境づくりを推進する。						

単位:千円

所管課: 社会福祉課		事業名: 生活保護扶助費					予算書頁: 115		
会計名: 一般会計		総合計画の施策体系: 章 ③健康と福祉を育てる安心のまちづくり 節 ②安心できる保健・福祉・医療体制の充実(社会保障制度) 施策区分 ③生計維持が困難な方への支援							
科目名等: 3-3-2 生活保護扶助費									
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額	
H25当初予算	262,476	196,857	12,909			52,710	人件費		
H24当初予算	219,739	164,804	13,170			41,765	賃金		
対前年度増減	42,737	32,053	△ 261	0	0	10,945	委託料		
H23決算	219,800	176,607	10,694		1,596	30,903	工事請負費		
事業目的	生活保護は、日本国憲法第25条に規定する理念に基づき、国が生活に困窮する全ての国民に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。					対象者(受益)		備品購入費	
						具体名	子育て家庭等	扶助費	262,476
						人数等	-	その他	
事業内容	事業期間: H17 ~		新規・継続の別		継続	実施主体		宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】 生活保護の相談、申請にかかる調査、要否決定、保護費の支給、ケース訪問活動による生活相談支援、他法他施策の可否調査(扶養援助依頼・年金受給申請等)、各種自立支援プログラムに基づく就労・自立支援を行う。 扶助の種類: 生活扶助費、教育扶助費、住宅扶助費、医療扶助費、介護扶助費、生業扶助費、出産扶助費、葬祭扶助費、施設事務費								
	【H25の事業内容】 同上								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		-		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-		
	事業効果		要保護者は、保護費の支給により健康で文化的な最低限度の生活が送れるようになる。また、稼働能力のある被保護者は、福祉事務所とハローワークとが連携した就労支援を行うことで、就労に至るケースによっては保護から脱却し自立した生活を回復することができる。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)

単位:千円

所管課:	高年・障害福祉課	事業名:	老人クラブ活動等社会活動促進事業	予算書頁	92				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり					
科目名等:	3-1-2		節	②安心できる保健・福祉・医療体制の充実(健康づくり)					
	老人福祉費		施策区分	④高齢者の保健福祉の充実					
予算額等		財源内訳							
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	25年度当初予算の内訳	
								主な費目	金額
H25当初予算	13,169		8,699				4,470	人件費	
H24当初予算	12,980		8,574				4,406	賃金	
対前年度増減	189	0	125	0	0	0	64	委託料	
H23決算	12,808		8,482				4,326	工事請負費	
事業目的	高齢者の知識及び経験を生かした生きがいと健康づくりのための多様な社会活動が行われることにより、老後の生活を豊かなものにするともに明るい長寿社会に資する。					対象者(受益)		補助金	13,135
						具体名	会員		
						人数等	約10,600人		
事業内容	事業期間		H17	～	新規・継続の別		継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】								
	①単位老人クラブ助成事業・活動強化推進事業 単位老人クラブにより社会奉仕活動、学習活動、健康増進活動、子育て支援・見守り活動等を実施。 ②市連合会社会活動促進事業 市老人クラブ連合会により一般事業、特別事業、健康づくり介護予防支援事業を実施。 【H25の事業内容】 単位老人クラブ、宍粟市老人クラブ連合会に補助金を交付。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		○単位老人クラブ活動回数 13,899回 ○単位老人クラブ活動強化推進事業活動回数 13,737回		継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))		—		
	事業効果 多様な社会活動が行われ、老後の生活を豊かにするとともに明るい長寿社会づくりに貢献する。世代間交流事業や高齢者相互の見守りに関しては、活動強化推進事業において実施し、地域の活性化を図る。								

単位:千円

所管課:	高年・障害福祉課	事業名:	敬老会開催補助事業	予算書頁	92				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり					
科目名等:	3-1-2		節	②安心できる保健・福祉・医療体制の充実(健康づくり)					
	老人福祉費		施策区分	④高齢者の保健福祉の充実					
予算額等		財源内訳							
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	25年度当初予算の内訳	
								主な費目	金額
H25当初予算	11,839						11,839	人件費	
H24当初予算	11,871						11,871	賃金	
対前年度増減	△ 32	0	0	0	0	0	△ 32	委託料	
H23決算	11,157						11,157	工事請負費	
事業目的	各地区で高齢者を招待した敬老会を開催することで長年の苦労を労い、健康と長寿をお祝いし、もって高齢者福祉の増進を図る。					対象者(受益)		補助金	11,839
						具体名	75歳以上高齢者		
						人数等	7,399人		
事業内容	事業期間		H17	～	新規・継続の別		継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】								
	1. 事業内容 敬老会を開催する経費に対して補助金(75歳以上の高齢者一人につき1,600円)を交付する。 2. 事業主体 山崎地区は自治会が主体となり公民館等で開催。一宮・波賀・千種地区は市民局管内ごとに市と社協が共催。 3. 開催内容 事業主体ごとに式典、会食、演芸、福引、記念品贈呈及び児童作文朗読などを企画し実施。 【H25の事業内容】 宍粟市社会福祉協議会に補助金を交付する。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		○開催回数 36回 ○参加率 45%(参加人数3,330人)		継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))		—		
	事業効果 地域社会と高齢者同志の関わりを深め、高齢者の福祉向上と社会参加を促進することができる。								

# 平成25年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)

単位:千円

所管課:	高年・障害福祉課	事業名:	老人保護措置費(養護老人ホーム措置費)	予算書頁	92					
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり						
科目名等:	3-1-2		節	②安心できる保健・福祉・医療体制の充実(健康づくり)						
	老人福祉費		施策区分	④高齢者の保健福祉の充実						
予算額等		財源内訳								
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	25年度当初予算の内訳	主な費目	金額
H25当初予算	79,579			12,528			67,051	人件費		
H24当初予算	79,582			13,356			66,226	賃金		
対前年度増減	△ 3	0	0	△ 828	0	0	825	委託料		
H23決算	73,608			12,582			61,026	工事請負費		
事業目的	独居等で在宅での生活の継続が困難な高齢者等を養護老人ホームへ入所措置することにより、安心・安全な生活を支援する。				対象者(受益)		備品購入費 扶助費 79,560 その他 19			
					具体名	被措置者				
					人数等	34人				
事業内容	事業期間	H17	～	新規・継続の別		継続	実施主体 宍粟市			
	【事業期間中の事業内容】 自宅での生活が困難となった高齢者等の養護老人ホームへの入所措置の実施:入所相談、調査、入所判定委員会の開催、入所施設の調整。 養護老人ホーム入所者に係る措置費の支弁、自己負担金の決定・徴収、入所者への調査、入退所時の立会い等。 【H25の事業内容】 事業期間中の事業内容に同じ。									
	事業に係る目標(数値目標)	-			継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))		-			
成果目標・事業効果	事業効果	独居等で在宅での生活の継続が困難な高齢者等を養護老人ホームへ入所措置して、安心・安全な生活を支援する。								

単位:千円

所管課:	高年・障害福祉課	事業名:	障害者虐待防止センター事業	予算書頁	95					
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり						
科目名等:	3-1-4		節	④「地域」で共に暮らせるまちづくり						
	心身障害者福祉費		施策区分	②生活環境と生活支援の充実						
予算額等		財源内訳								
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	25年度当初予算の内訳	主な費目	金額
H25当初予算	30						30	人件費		
H24当初予算							0	賃金		
対前年度増減	30	0	0	0	0	0	30	委託料		
H23決算							0	需用費	20	
事業目的	障害者に対する虐待は、その尊厳を害するものであり、障害者の自立と社会参加にとって障害者虐待の防止を図ることが極めて重要です。障害者虐待の防止や養護者に対する支援等に関する施策を推進する。				対象者(受益)		役務費 10 補助金 その他 0			
					具体名	障害者・養護者				
					人数等	-				
事業内容	事業期間	H24	～	新規・継続の別		継続	実施主体 宍粟市			
	【事業期間中の事業内容】 虐待の防止や早期の対応等を図るため、関係機関との連携協力体制を構築する。 ①虐待の予防、早期発見、見守りにつながるネットワーク ②虐待発生時のサービス事業所等による対応ネットワーク ③専門機関による介入支援ネットワーク 【H25の事業内容】 事業期間中の事業内容に同じ。									
	事業に係る目標(数値目標)	最終件数/虐待通報件数 7件/10件			継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))		-			
成果目標・事業効果	事業効果	障害者虐待については、その未然防止や早期発見、迅速な対応、その後の支援により、障害者を虐待という権利侵害から守り、尊厳を保持しながら安定した生活を送ることができる。								

# 平成25年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)

単位:千円

所管課:	高年・障害福祉課	事業名:	外出支援サービス事業	予算書頁:	99						
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり							
科目名等:	3-1-6		節	④「地域」で共に暮らせるまちづくり							
	在宅介護支援費		施策区分	②生活環境と生活支援の充実							
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳				
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額		
H25当初予算	96,578					26,100	70,478	需用費	198		
H24当初予算	50,568					13,700	36,868	役務費	168		
対前年度増減	46,010	0	0	0	0	12,400	33,610	委託料	79,200		
H23決算	59,859					17,400	42,459	工事請負費			
事業目的	公共交通の利用ができず、外出が困難な障害者や高齢者に対し、外出支援サービスを提供し、自立と社会参加の促進及び保健福祉の向上を図る。					対象者(受益)		備品購入費	補助金	17,000	
						具体名	障害者・高齢者				
						人数等	1,200				
事業内容	事業期間		H17	～	新規・継続の別		継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】 外出が困難な高齢者や障害者に対し、有償(市民局管内片道250円、市民局管外の市内片道500円)により、医療機関・公共機関までの輸送サービスを提供。 事前予約制、回数制限あり(原則192回/年。人工透析患者は回数制限なし。)。運行時間は7時～18時(日曜祝日、12月29日～1月3日は利用不可)。 【H25の事業内容】 現行制度どおり ※制度の抜本的見直しのために検討協議中										
	事業に係る目標(数値目標)		実利用者数 600人			継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))		—			
事業効果		上記に掲げる利用者数は、当事業の実利用者であり、利用登録者で換算するとH23は975名が利用登録を行っている。平成24年についても前年を上回るペースで増加傾向にある。利用者の伸びに合わせて、支出も大幅に伸びており財政負担も年々大きくなっているため、今後も持続可能な制度として運用していくために制度の見直しが必要である。									

単位:千円

所管課:	高年・障害福祉課	事業名:	介護保険 保険給付事務	予算書頁:	20						
会計名:	介護会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり							
科目名等:	2-1-1～2-4-1		節	③介護・生活支援体制の充実							
	保険給付費		施策区分	③介護サービス・介護予防サービスの充実							
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳				
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額		
H25当初予算	3,995,995	1,008,828	573,648		1,651,427		762,092	人件費			
H24当初予算	3,731,932	942,871	565,708		1,599,591		623,762	賃金			
対前年度増減	264,063	65,957	7,940	0	51,836	0	138,330	委託料	3,104		
H23決算	3,622,511	887,891	526,543		1,538,465		669,612	工事請負費			
事業目的	介護保険被保険者に対し、居宅介護サービス給付費その他の保険給付を行う。					対象者(受益)		備品購入費	負担金、補助及び交付金	3,992,891	
						具体名	被保険者				
						人数等	約12,000人				
事業内容	事業期間		H17	～	新規・継続の別		継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】 介護保険被保険者が利用する居宅介護サービス、施設介護サービス、地域密着型介護サービス等の介護保険サービスについて、保険給付を行う。 給付の方法として現物給付と償還払いの二つの方法がある。支払いは、現物給付では国保連合会を通してサービス事業者等に、償還払いでは被保険者に支払う。 【H25の事業内容】 事業期間中の事業内容に同じ。										
	事業に係る目標(数値目標)		—			継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))		—			
事業効果		介護保険は、介護を要する状態となっても、利用者負担原則1割と施設での食費・居住費の負担とで介護サービスを利用でき、老後の安心を支えている。									

# 平成25年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)

単位:千円

所管課:	高年・障害福祉課	事業名:	二次予防事業	予算書頁:	25				
会計名:	介護会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり					
科目名等:	3-1-1		節	③介護・生活支援体制の充実					
	二次予防事業費		施策区分	②高齢者等への介護予防支援					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	26,540	6,335	3,168	1,200	10,516	0	5,321	賃金	4,971
H24当初予算	21,179	5,084	2,543	840	8,441	0	4,271	共済費	702
対前年度増減	5,361	1,251	625	360	2,075	0	1,050	報償費	80
H23決算	27,287	6,610	3,305	850	11,235	0	5,287	委託料	19,753
事業目的	要介護状態になるおそれの高い虚弱な高齢者が要介護状態に移行することを予防する。閉じこもりがちな高齢者が外出できることで、楽しみや生きがいづくりができる。					対象者(受益)		役務費	740
						具体名	高齢者	消耗品	274
						人数等	約9,200人	旅費	20
事業内容	事業期間	H18	～	新規・継続の別		継続	実施主体	宍粟市	
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>○65歳以上に実施する基本チェックリストによって、要介護状態に移行するリスクの高い高齢者を把握する。                  ○対象となった高齢者に一定期間、運動指導やレクリエーションなどを提供し、高齢者の活動性や体力を高める。                  ○対象者の把握と教室の参加勧奨は市が実施し、介護予防教室は民間事業所(9か所)に委託する。</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>○より効果的な教室とするための事業所支援や事業所間の情報交換の機会を設定する。                  ○介護予防事業実施基準の運用管理</p>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	通所型介護予防事業参加者数: 実人数400人・延べ人数6,720人		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)		—			
	事業効果	高齢者が活動的で生きがいのある生活を住みなれた地域で継続することができる。要介護状態への移行を遅らせることで、介護給付費の抑制につながる。							

単位:千円

所管課:	高年・障害福祉課	事業名:	一次予防事業	予算書頁:	25				
会計名:	介護会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり					
科目名等:	3-1-2		節	③介護・生活支援体制の充実					
	一次予防事業費		施策区分	②高齢者等への介護予防支援					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	11,321	2,548	1,274	1,128	4,230		2,141	賃金	1,777
H24当初予算	13,962	3,180	1,591	1,239	5,280		2,672	報償費	524
対前年度増減	△ 2,641	△ 632	△ 317	△ 111	△ 1,050	0	△ 531	需用費	694
H23決算	10,855	2,417	1,208	1,189	4,108		1,933	委託料	8,084
事業目的	介護予防の必要性を認識し、生活の中で介護予防に取り組む高齢者を増やす。					対象者(受益)		備品購入費	120
						具体名	高齢者	役務費	122
						人数等	約11,600人	その他	0
事業内容	事業期間	H18	～	新規・継続の別		継続	実施主体	宍粟市	
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>○介護予防普及啓発事業                  介護予防を普及啓発するための教室や講演会等の開催、広報等への関連記事の掲載を行う。                  ○地域介護予防活動支援事業                  高齢者が主体的に介護予防活動に取り組むグループづくりを支援する。</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>○自主活動に取り組むグループを育成するための働きかけを老人クラブ等に行う。                  ○介護予防事業従事者を対象とした研修会や事業所間の情報交換を継続的に実施する。</p>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	介護予防普及啓発事業参加者数: 実人数2,500人・延べ人数10,000人		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)		—			
	事業効果	高齢者が介護予防事業を通じて交流できる場を持つことで、閉じこもりや孤立化を防ぐことができる。高齢者が活動的で生きがいのある生活を住みなれた地域で継続することができる。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)

単位:千円

所管課:	高年・障害福祉課	事業名:	包括的支援事業(高齢者実態把握事業)	予算書頁	26				
会計名:	介護会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり					
科目名等:	3-2-1		節	③介護・生活支援体制の充実					
	包括的支援事業費		施策区分	②高齢者等への介護予防支援					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	10,921	4,314	2,157	0	2,157	0	2,293	人件費	1,046
H24当初予算	9,580	3,784	1,892	0	1,892	0	2,012	賃金	6,692
対前年度増減	1,341	530	265	0	265	0	281	報償費	2,268
H23決算	7,759	3,103	1,552	0	1,552	0	1,552	需要費	756
事業目的	地域で暮らす高齢者の状況を把握し、必要に応じた保健・福祉・医療サービスの提供を調整することで、在宅生活の継続を支援する。					対象者(受益)		役務費	147
						具体名	要支援高齢者	旅費	12
						人数等	約4,800人	その他	0
事業内容	事業期間	H18 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】								
	○民間の在宅支援センター2か所と市の高齢者実態把握調査員が、安否確認や状況把握が必要な高齢者世帯を訪問し、高齢者実態把握票に基づいて聞き取りを行う。 ○訪問結果から何らかの支援が必要な場合は、保健師等が必要なサービス調整を行う。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		訪問実人数 4,800人 訪問延べ人数 5,120人		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)		—		
	事業効果		①高齢者の状況を随時把握することで、高齢者が必要とする支援をタイムリーに提供することが可能となる。 ②必要な支援を提供することで、在宅生活の継続につながる。 ③高齢者の緊急時に対応できる情報源となる。						

単位:千円

所管課:	市民相談センター	事業名:	いきいき地域づくり事業	予算書頁	101				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり					
科目名等:	3-1-12		節	⑤人権教育・啓発の推進					
	人権推進費		施策区分	②人権擁護の推進					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	3,453		1,486				1,967	共済費	338
H24当初予算	6,096		1,791				4,305	賃金	2,128
対前年度増減	△ 2,643	0	△ 305	0	0	0	△ 2,338	報償費	400
H23決算	5,831		1,791				4,040	旅費	77
事業目的	城下ふれあいセンターを拠点施設として、地域福祉の向上と人権尊重のまちづくりを推進するため、相談事業、住民交流事業等を展開する。					対象者(受益)		需用費	98
						具体名	山崎南中学校区内	使用料及び賃料	278
						人数等	5,822	その他	134
事業内容	事業期間	H22 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	市		
	【事業期間中の事業内容】								
	城下ふれあいセンターを拠点施設として中学校区住民を対象に、社会啓発事業、地域交流事業、地域福祉事業、社会調査・研究事業、相談事業等を展開する。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		1,100人		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)		980人(見込み) 89%		
	事業効果		城下ふれあいセンターを拠点施設として中学校区住民を対象に、相談事業等を展開し、生活福祉や地域福祉の課題把握と解決に向けて取り組むとともに、文化・教養講座などの実施により、人と人との繋がりはじめ地域コミュニティの増進に寄与することができる。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)

単位:千円

所管課:	市民相談センター	事業名:	消費者行政推進事業				予算書頁	157	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり					
科目名等:	6-1-6		節	④交通安全・防犯対策の推進(防犯対策)					
	消費者行政対策費		施策区分	②安全な消費生活の確保					
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	6,367	1,800				4,567	共済費	669	
H24当初予算	7,718	0	5,600			2,118	賃金	4,269	
対前年度増減	△ 1,351	0	△ 3,800	0	0	2,449	報償費	516	
H23決算	4,518	0	3,834			684	需用費	317	
事業目的	消費者基本法が定める「消費者の権利の尊重と自立のための支援」として消費生活相談を実施するとともに、消費者の安全・安心や賢い消費者を育成するための施策を実施する。				対象者(受益)		役務費	165	
					具体名	市民	補助金	200	
					人数等	-	その他	231	
事業内容	事業期間	H21 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	市		
	【事業期間中の事業内容】								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活センターの設置と消費生活相談員の配置</li> <li>・消費生活相談員の育成及び情報交換等の研修会参加</li> <li>・被害防止、賢い消費者を育成するための教育・啓発講演会や啓発備品の購入など</li> <li>・消費者団体の育成強化</li> </ul> 【H25の事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活センター体制及び機能強化を図るため、専門家による支援と相談員のスキルアップを図る</li> <li>・消費者教育・啓発事業の強化や消費者団体の育成</li> </ul>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	契約被害防止・回復額:1億円 消費者教育・啓発参加者:1,000人			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	70% 50%			
	事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な相談窓口の設置により、相談件数の増加と被害の防止及び被害の回復などの成果が見込まれる。</li> <li>・消費者団体の主体性により、出前講座・学習会・被害防止活動などが活発化する。</li> <li>・消費者教育の面では、学校・社会教育・民生委員会・介護サービス事業者との連携が生まれる。</li> </ul>							

単位:千円

所管課:	健康増進課	事業名:	特定不妊治療費助成事業				予算書頁	113	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり					
科目名等:	3-2-7		節	①少子化対策の総合的な推進					
	少子化対策事業費		施策区分	①少子化対策推の推進					
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	2,000					2,000	人件費		
H24当初予算	2,000					2,000	賃金		
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	委託料		
H23決算	1,360					1,360	工事請負費		
事業目的	高額な特定不妊治療や不育治療に対し助成することで、経済的な負担軽減を図り、安心して出産できる環境を整える。				対象者(受益)		備品購入費		
					具体名	市民	扶助費	2,000	
					人数等	22件	その他		
事業内容	事業期間	H19 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】								
	兵庫県特定不妊治療費助成事業実施要綱の規定に基づく指定医療機関で不妊治療を受けた宍粟市内に住所を有する夫婦に対して、特定不妊治療に要した費用(除県助成分)について、1回当たり10万円を限度とし、10回を超えない範囲で通算5ヶ年度助成する。また、要綱を整備し、不育症治療費助成費を1年25万円を超えない範囲で助成する。特定不妊治療費助成と不育治療費助成を合わせて2,000,000円の扶助費を計上している。           【H25の事業内容】           同上								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	20件			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	高額な特定不妊治療費の一部及び流産を繰り返す不育症への治療費の一部を助成することにより、経済的に対象者の負担軽減を図り、出生数の増加につなぐことができる。 H21:15件、H22:17件、H23:14件、H24:10件(12月末現在)不育症治療助成見込み 2件							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)

単位:千円

所管課:	健康増進課	事業名:	妊婦健康診査費助成事業				予算書頁	119
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり				
科目名等:	4-1-2		節	①少子化対策の総合的な推進				
	母子衛生費		施策区分	①少子化対策推の推進				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	20,800	0				20,800	人件費	
H24当初予算	20,800	10,080				10,720	賃金	
対前年度増減	0	△ 10,080	0	0	0	10,080	委託料	
H23決算	19,813	6,100				13,713	工事請負費	
事業目的	妊婦がより健やかに妊娠期を過ごし、安心して出産を迎えることができるように、妊婦健康診査の受診を促進する。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	妊婦	補助金	20,800
					人数等	325件	その他	
事業内容	事業期間	H19～	～	新規・継続の別			実施主体	
	【事業期間中の事業内容】							
	妊婦が、健診費用の心配をせずに妊婦健康診査を受けられるように、妊娠から出産までに必要な妊婦健診14回、93千円を限度に助成を行う。320件×65,000円(一人当たりの単価は、平成24年度上半期実績の平均値)							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		320件		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-	
	事業効果	妊婦健康診査の費用を助成することにより、妊婦健診の受診促進を図ることができ、安全な出産の支援へとつながる。 H21:294件、H22:293件、H23:325件、H24:223件(12月末現在)						
	【H25の事業内容】 同上							

単位:千円

所管課:	健康増進課	事業名:	特定健康審査事業				予算書頁	31
会計名:	国保会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり				
科目名等:	8-1-1		節	②安心できる保健・福祉・医療体制の充実(健康づくり)				
	特定健康診査事業		施策区分	①生涯を通じた健康づくりの推進				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	24,055	6,088	6,088	3,300		8,579	共済費	157
H24当初予算	22,134	7,378	7,378	3,300		4,078	賃金	1,203
対前年度増減	1,921	△ 1,290	△ 1,290	0	0	4,501	需用費	150
H23決算	18,230	5,041	5,041	3,202		4,946	役務費	160
事業目的	特定健康診査等実施計画書に基づき、受診率向上を目指して、受診勧奨を行い、健診を実施する。				対象者(受益)		委託料	22,165
					具体名	国保加入者	使用料	220
					人数等	3,300人	その他	0
事業内容	事業期間	H17	～	新規・継続の別		継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】							
	自覚症状の有無・身体測定・血圧測定・血液検査・尿検査等を国保加入の40歳以上75歳未満の人を対象に行う。がん検診と同日同会場で行う。							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		国保加入40歳以上75歳未満の60%		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		100%	
	事業効果	メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査をおこなうことにより、糖尿病・高血圧などの生活習慣病の疑いのある人を早期に発見し、特定保健指導を行い、生活習慣病の悪化を防ぎ、健康寿命を延ばし、医療費を削減する。						
	【H25の事業内容】 旧町単位で会場を確保し、6月～11月に28日間実施する。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)

単位:千円

所管課:	健康増進課	事業名:	特定保健指導事業				予算書頁	31
会計名:	国保会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり				
科目名等:	8-1-1		節	②安心できる保健・福祉・医療体制の充実(健康づくり)				
	特定保健指導事業		施策区分	③成人保健の充実				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	7,126					7,126	共済費	830
H24当初予算	7,021					7,021	賃金	5,638
対前年度増減	105	0	0	0	0	105	報償費	36
H23決算	6,533					6,533	旅費	60
事業目的	特定健康診査等実施計画に基づき、生活習慣病の改善を行うことにより、健康寿命を延ばす。				対象者(受益)		需用費	172
					具体名	国保加入者	役務費	350
					人数等	400人	備品購入費	40
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】							
	国保加入者の40歳～74歳未満の特定健診受診者のうち、生活習慣病の該当者・予備軍に対し、特定保健指導を実施し、生活習慣の改善を図る。  【H25の事業内容】 保健師・管理栄養士により、生活習慣病改善の指導を行う。							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	特定保健指導対象者の60%		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	100%			
	事業効果	個別の行動計画の作成し、生活習慣病改善に取り組めるように継続的・定期的な支援を行い、生活習慣病の発症や重症化を予防し、健康寿命を延ばし、医療費の抑制する。						

単位:千円

所管課:	健康増進課	事業名:	がん検診事業				予算書頁	121
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり				
科目名等:	4-1-3		節	②安心できる保健・福祉・医療体制の充実(健康づくり)				
	保健事業費		施策区分	③成人保健の充実				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	50,063	5,879	169	9,258	1,861	32,896	人件費	
H24当初予算	43,119	2,789	169	8,978	1,800	29,383	賃金	
対前年度増減	6,944	3,090	0	280	61	3,513	委託料	50,063
H23決算	38,090	2,980	148	7,555	1,813	25,594	工事請負費	
事業目的	がんの早期発見、早期治療の推進により、がんによる死亡を減らす。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	市民	補助金	
					人数等	延17,720名	その他	
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】							
	特定健診と同時実施に①胃がん検診②肺がん検診(結核検診兼ねる)③肝がん検診④前立腺がん検診⑤大腸がん検診を実施する。女性を対象として①子宮がん頸がん検診・②乳がん検診を実施する。  【H25の事業内容】 平成24年度事業を継続 女性のがん対策として平成25年度より子宮頸がん検診にHPV検査を追加され、国の新規補助対象事業となる。宍粟市もHPV検査を導入する。							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	①胃がん検診2,200人②肺がん検診6,000人③肝がん150人④前立腺がん1,400人⑤大腸がん検診3,700人⑥子宮がん細胞診2,950人 HPV検査 1,000人⑦乳がんマンモ検査2,300人		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	100%			
	事業効果	がんの早期発見により、健康寿命の延長し、医療費を削減する。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)

単位:千円

所管課:	健康増進課	事業名:	予防接種事業			予算書頁	122			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり						
科目名等:	4-1-4		節	②安心できる保健・福祉・医療体制の充実(健康づくり)						
	予防接種事業費		施策区分	⑤感染症対策の推進						
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	96,050		0	9,100			86,950	賃金	533	
H24当初予算	106,149		16,767	9,100			80,282	旅費	8	
対前年度増減	△ 10,099	0	△ 16,767	0	0	0	6,668	需用費	9,411	
H23決算	94,040		12,969	8,472			72,599	役務費	155	
事業目的	個人のレベルでは、感染予防及び感染時にも重篤な状態にならないようにして健康を守る。社会的なレベルでは、感染症蔓延を防止し社会活動を停滞させないこと。					対象者(受益)		委託料	85,243	
						具体名	市民	扶助費	700	
						人数等	延18,148名	その他		
事業内容	事業期間	H17	～	新規・継続の別		継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】									
	<p>予防接種法に定める定期予防接種:BCG・4種混合ワクチン3種混合ワクチン・2種混合ワクチン・日本脳炎ワクチン・麻疹風疹ワクチン・不活化ポリオを集団接種及び個別接種で行う。法定外接種:高齢者インフルエンザワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン・子宮頸がんワクチンを個別接種で行う。</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>予防接種関係法改正が続いており、ヒブ・肺炎球菌・子宮頸がんワクチンについては、法改正により定期接種に移行するとの情報があるが、未定である。法改正の有無にかかわらず接種は実施する。</p>									
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	対象者の100%が接種を受ける			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		100%			
	事業効果	個人のレベルでは、健康寿命の延長・後遺症障害の予防 社会的レベルでは、感染症の蔓延を防ぐことにより社会活動を低下させない。								

単位:千円

所管課:	健康増進課	事業名:	家庭児童相談運営費			予算書頁	104			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり						
科目名等:	3-2-1		節	⑤児童福祉・保育環境の充実						
	児童福祉総務費		施策区分	②児童の健全育成						
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	10,404	165	5,000	15			5,224	共済費	452	
H24当初予算	4,171	139		15			4,017	賃金	3,141	
対前年度増減	6,233	26	5,000	0	0	0	1,207	報償費	50	
H23決算	3,445	470					2,975	需用費	131	
事業目的	児童養育に関して生じる様々な問題を抱えている家庭に対して、相談支援業務を行うことにより、家庭児童福祉の向上を図る。					対象者(受益)		委託料	6,479	
						具体名	相談者	使用料及び賃借料	60	
						人数等	-	その他	91	
事業内容	事業期間	H17	～	新規・継続の別		継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】									
	<p>家庭相談員1名を配置し、18歳未満の子どもの様々な問題(児童虐待、養育問題、不登校等)に対し相談対応、指導・助言、情報提供等を行う。様々な関係機関と連携を取りながら、緊急対応が必要な場合は、警察、こども家庭センターと連携し、子どもの安全確保を第一とした対応を行う。</p> <p>増加する児童虐待相談に対し、家庭児童相談システムの導入により円滑な対応、事務の効率化を図る。</p> <p>【H25の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童虐待防止対応マニュアルの充実・児童虐待防止啓蒙普及イベント(ショッピングセンター等でのグッズ配布)</li> <li>・要保護児童対策地域協議会の開催・家庭児童相談システムの導入</li> </ul>									
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	数値での評価は困難			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		数値での評価は困難			
	事業効果	18歳未満の子どもとその保護者等が安心、安全な生活を送ることが出来る。								

# 平成25年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)

単位:千円

所管課:	健康増進課	事業名:	母子福祉事業				予算書頁	105	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり					
科目名等:	3-2-2		節	⑤児童福祉・保育環境の充実					
	母子福祉費		施策区分	③経済的支援の充実					
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	16,953	6,876	2,646	26		7,405	共済費	613	
H24当初予算	8,804	2,588	1,389	13		4,814	賃金	3,787	
対前年度増減	8,149	4,288	1,257	13	0	0	旅費	73	
H23決算	7,912	2,669	1,363	32		3,848	需用費	138	
事業目的	母子家庭等の子育てや生活支援、就業についての相談支援など個々の母子家庭の状況に応じ、母子家庭の母の自立に向けた支援を行う。DV相談対応を行う。				対象者(受益)		使用料及び賃借料		500
					具体名	ひとり親家庭等	扶助費		11,800
					人数等	相談者	その他		42
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続		実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】								
	母子自立支援員1名・婦人相談員1名を配置し、母子家庭を中心とした、ひとり親家庭の様々な問題に対する相談、指導、支援を行う(就労支援、子どもの教育、母子寡婦福祉資金の貸付、DV相談・一時保護対応、母子生活支援施設入所者支援等)。関係機関と連携を取りながら、緊急時は警察、女性家庭センターと連携し、被害者の安全確保を第一とした対応を行い、被害者が自立するまで、支援を行う。 【H25の事業内容】 ひとり親家庭等の相談支援・母子寡婦福祉資金貸付・DV相談、一時保護対応、母子生活支援施設入所者支援								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	数値での評価は困難			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	数値での評価は困難			
	事業効果	ひとり親家庭が自立した生活を送ることが出来る。DV被害者が安心、安全で自立した生活を送ることが出来る。							

単位:千円

所管課:	波賀診療所、千種診療所	事業名:	国民健康保険診療所事業				予算書頁	15	
会計名:	国診会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり					
科目名等:	1.1.1~2.1.3		節	②安心できる保健・福祉・医療体制の充実(医療の充実)					
	医療事業		施策区分	①地域医療体制の確立					
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	350,643			80,253	2,100	268,290	人件費	133,792	
H24当初予算	368,226	7,875		92,825	13,900	253,626	賃金	15,742	
対前年度増減	△ 17,583	0	△ 7,875	0	△ 11,913	△ 11,800	需用費	165,118	
H23決算	335,450	6,090		72,011	8,100	249,249	役務費	5,292	
事業目的	国民健康保険診療所として良質な医療を提供することにより、地域の医療の充実を図り安心のまちづくりを推進する一助とする。				対象者(受益)		委託料		10,018
					具体名	市民	公債費		7,915
					人数等	7,600人	その他		12,766
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続		実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】								
	地域に対する良質な医療の提供。 【H25の事業内容】 波賀診療所と千種診療所における一般診療事業 診療予定26,000人								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	-			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	地域の身近な医療機関として早期受診、早期発見、早期治療を推進し、疾病の重篤化を防ぐとともに必要な場合は地域拠点病院等への紹介を行い、安心して住める地域医療を推進している。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)

単位:千円

所管課:	千種診療所	事業名:	臨床研修医受入事業			予算書頁	15	
会計名:	国診会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり				
科目名等:	1-1-1		節	②安心できる保健・福祉・医療体制の充実(医療の充実)				
	一般管理費		施策区分	①地域医療体制の確立				
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	290			290		0	人件費	
H24当初予算	256			256		0	賃金	
対前年度増減	34	0	0	34	0	0	委託料	
H23決算	221			221		0	工事請負費	
事業目的	へき地医療の実際を体験し、都市を離れた山間地における地域ぐるみの医療、福祉制度の総合的な理解を図る。			対象者(受益)		備品購入費		
				具体名	市民	需用費		220
				人数等	-	役務費		70
事業内容	事業期間	H20	~	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】							
	神戸市立医療センター中央市民病院の前期研修医(医師免許取得後2年目)が受ける臨床研修(地域保健研修)プログラムのうち、へき地医療実習を千種診療所において行う。							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)			-	継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-	
	事業効果	医師不足の現状において、若手医師にへき地医療の大切さを伝えるとともに、地域住民のみならずとともに医師を確保するため、診療を通して、ともに取組むことが医師確保につながり、へき地医療を推進することができる。						

単位:千円

所管課:	千種診療所	事業名:	通所リハビリサービス事業			予算書頁	20	
会計名:	国診会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり				
科目名等:	3-1-1		節	②安心できる保健・福祉・医療体制の充実(医療の充実)				
	通所リハビリサービス事業費		施策区分	①地域医療体制の確立				
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	4,433					4,433	旅費	5
H24当初予算	4,558					4,558	需用費	444
対前年度増減	△ 125	0	0	0	0	△ 125	役務費	101
H23決算	4,481					4,481	委託料	3,843
事業目的	要介護又は要支援の状態にあるリハビリを必要とする人の身体機能検査、機能訓練等を通して、身体機能の維持及び回復を図る。			対象者(受益)		公課費		
				具体名	要介護者等	補助金		40
				人数等	320人	その他		0
事業内容	事業期間	H17	~	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】							
	要介護又は要支援の状態にある人を対象に、送迎も含め毎週月曜日、水曜日、金曜日の午後に、理学療法士、看護師、介護職員が身体機能の維持回復を図るためのリハビリを行う。							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)			利用回数 910回(延べ)	継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-	
	事業効果	リハビリをすることにより、要介護又は要支援の状態にある人の日常生活機能を維持向上させる。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)

単位:千円

所管課:	千種診療所	事業名:	訪問看護事業				予算書頁	20	
会計名:	国診会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり					
科目名等:	3-1-2		節	②安心できる保健・福祉・医療体制の充実(医療の充実)					
	訪問看護事業費		施策区分	①地域医療体制の確立					
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	12,931				2,334		10,597	人件費	12,266
H24当初予算	12,481				3,240		9,241	旅費	8
対前年度増減	450	0	0	0	△ 906	0	1,356	備品購入費	12
H23決算	11,455				1,361		10,094	需用費	421
事業目的	家庭において、継続して看護を要する状態にある要介護又は要支援の認定を受けた人が、安心して療養生活を送れるよう症状の改善、維持をめざし支援する。				対象者(受益)		役務費	120	
					具体名	要介護者等	補助金	96	
					人数等	320人	公課費	8	
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】								
	可能な限り各家庭において、利用者の心身の特性を踏まえ、自立した日常生活を営むことができるようにその療養生活を支援し、心身機能の維持・回復をめざして支援する。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		利用回数 1,350回(延べ)		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		—		
	事業効果	利用者の症状の改善、維持をめざし各家庭へ訪問、看護することにより、利用者と家族を支え、安心して療養生活を送ることができる。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円

所管課:	農業振興課	事業名:	中山間地域等直接支払交付金事業	予算書頁	140				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	①人と人、人と自然にやさしいまちづくり					
科目名等:	5-1-3		節	③彩り豊かな田園景観づくり					
	農業振興費		施策区分	①田園景観の保全と再生					
予算額等		財源内訳				25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	67,351		50,512				16,839	人件費	
H24当初予算	67,420		50,615				16,805	賃金	
対前年度増減	△ 69	0	△ 103	0	0	0	34	委託料	
H23決算	67,416		50,562				16,854	工事請負費	
事業目的	中山間地域は、平地に比べ傾斜地が多いなど、生産条件が不利なため、耕作を放棄される農地が増えている。そのため、農業生産の維持を図りながら、多面的機能を確保する。				対象者(受益)		備品購入費		
					具体名	集落住民	補助金		67,351
					人数等	40協定集落	その他		0
事業内容	事業期間	H22	～	H26(三期)	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】								
	集落で定めた協定に基づく農業生産活動等を行うことにより、農地を適切に保全し、多面的機能を増進する。協定を締結した集落・・・40協定(山崎 5協定、一宮 16協定、波賀 8協定、千種 11協定)								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		3,412,859㎡		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-		
	事業効果		農業生産条件が不利な状況にある中山間地域等における農業生産活動の維持を図りながら、農地の荒廃を防止する活動等を行い多面的機能を確保する。 協定面積 3,412,859㎡(田 3,401,657㎡、畑 11,202㎡)						

単位:千円

所管課:	農業振興課	事業名:	有害鳥獣捕獲事業	予算書頁	140				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり					
科目名等:	5-1-3		節	①農業の振興					
	農業振興費		施策区分	③農畜産物の生産振興と地産地消の推進					
予算額等		財源内訳				25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	35,419		10,317		2,200		22,902	人件費	
H24当初予算	27,273		11,090		1,500		14,683	賃金	
対前年度増減	8,146	0	△ 773	0	700	0	8,219	委託料	
H23決算	37,316		9,469		1,612		26,235	工事請負費	
事業目的	加害対象鳥獣の駆除と適正な個体数調整により、農作物の被害防止の徹底を期し、農業経営の安定を図るとともに、生態系の保全を図る。				対象者(受益)		備品購入費		
					具体名	市民	補助金		35,419
					人数等	42,000人	その他		0
事業内容	事業期間	H17	～		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】								
	(社)兵庫県猟友会宍粟支部16班(山崎8班・一宮5班・波賀1班・千種2班)による捕獲活動 市単独有害鳥獣捕獲事業 シカ 350頭 猪 200頭 アライグマ・ヌートリア 30頭 シカ個体群管理事業 シカ 800頭 シカ緊急捕獲拡大事業 シカ 2,420頭								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		シカ 3,570頭 猪 200頭 アライグマ・ヌートリア 30頭		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-		
	事業効果		加害鳥獣等の捕獲を行い、農産物の被害防除・農業経営の安定を図るとともに、生態系と生活環境の保全を図る。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円

所管課:	農業振興課	事業名:	鳥獣被害防止柵設置事業	予算書頁	140				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり					
科目名等:	5-1-3		節	①農業の振興					
	農業振興費		施策区分	③農畜産物の生産振興と地産地消の推進					
予算額等		財源内訳				25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	8,625		4,875		827		2,923	人件費	
H24当初予算	3,750				1,500		2,250	賃金	
対前年度増減	4,875	0	4,875	0	△ 673	0	673	委託料	
H23決算	19,269		14,302		1,612		3,355	工事請負費	
事業目的	猪鹿等による農産物等への被害防止対策を実施し、農業経営の安定と生態系保全、生活環境の保全を図る。				対象者(受益)		備品購入費	補助金	8,625
					具体名	市民			
					人数等	42,000人			
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】								
	野猪等被害防止柵設置事業補助金 新設5箇所 補修5箇所 3,750千円 鳥獣被害防止総合対策事業補助金 2集落 L=2,400m 4,875千円								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		防止柵(新設5箇所、補修5箇所) 総合対策(2集落)		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-		
	事業効果		有害鳥獣等防護柵の設置を行い、農産物の被害防除・農業経営の安定を図るとともに、生活環境の保全を図る。						

単位:千円

所管課:	農業振興課	事業名:	農地・水保管理支払交付金事業	予算書頁	140				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり					
科目名等:	5-1-3		節	①農業の振興					
	農業振興費		施策区分	②生産基盤・経営基盤の整備促進					
予算額等		財源内訳				25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	12,169				104		12,065	人件費	
H24当初予算	5,610				104		5,506	賃金	
対前年度増減	6,559	0	0	0	0	0	6,559	委託料	
H23決算	17,464				82		17,382	工事請負費	
事業目的	農地・農業用水等の資源の日常の保安全管理活動に加え、集落が行う農地周りの水路・農道等の補修・更新などの活動に対し支援することにより、長寿命化対策の強化を図る。				対象者(受益)		備品購入費	補助金	12,169
					具体名				
					人数等				
事業内容	事業期間	H23 ~ H27		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】								
	農地・農業用水等の日常の保安全管理活動に加え、集落が行う農地周りの水路・農道等の補修・更新などの活動を行う。 協定を締結した組織・・・共同活動 46組織(山崎 25組織、一宮 9組織、波賀 7組織、千種 5組織) 向上活動 21組織(山崎 14組織、一宮 3組織、波賀 2組織、千種 2組織)								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		80,171a		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-		
	事業効果		農業者を中心に地域の多様な団体が参画し、生産資源や環境資源の維持保全活動を行い、地域資源の保全向上と多面的機能を確保するとともに、水路等農業用施設の長寿命化を図る。 協定面積 80,171a(田 77,776a、畑 2,395a)						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円

所管課:	農業振興課	事業名:	農地環境整備事業				予算書頁	142
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	5-1-6		節	①農業の振興				
	農村整備事業費		施策区分	②生産基盤・経営基盤の整備促進				
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	8,000		5,000	1,000		1,800	200	人件費
H24当初予算	5,290		2,500	925		1,600	265	賃金
対前年度増減	2,710	0	2,500	75	0	200	△ 65	委託料 5,000
H23決算	0						0	工事請負費
事業目的	基盤整備事業を円滑に実施することにより、耕作放棄地の解消、優良農地の確保、分散した農地等の集団化を図り、農業経営を安定・向上させるとともに住民の定住を促進し、都市住民との交流を盛んに行う。					対象者(受益)		補助金 3,000 その他 0
						具体名	関係農家戸数	
						人数等	55戸	
事業内容	事業期間	H22	～	H28	新規・継続の別	継続	実施主体	兵庫県
	【事業期間中の事業内容】 安賀地区全体計画(県営事業): 区画整理A=11.2ha、H24～28、全体事業費 240,000千円 負担区分: 国 55%、県 30%、市 10%、地元 5% (一部区域は除く) その他: 前倒し事業(3月補正 整備工事 50,000千円) 【H25の事業内容】 事業市負担金: 3,000千円(事業費 20,000千円×15%) 換地業務委託料: 5,000千円							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	面工事 A=11.2ha 換地業務 一式 100%		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		38%		
	事業効果	ほ場整備を契機とした農地の面的集積並びに利用集積に加え、地下灌漑システム工法による汎用水田化の促進や収益性の高い野菜が導入可能な生産基盤の整備、また、都市住民や地域住民の交流拠点となる施設整備を同時に実施することで、耕作放棄地の解消と「安賀営農組合」を中心とした安定的な農業経営の地盤作りを図ることが出来る。						

単位:千円

所管課:	農業振興課	事業名:	経営体育成基盤整備事業(宇原地区)				予算書頁	142
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	5-1-6		節	①農業の振興				
	農村整備事業費		施策区分	②生産基盤・経営基盤の整備促進				
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	803					500	303	人件費
H24当初予算	1,158					900	258	賃金
対前年度増減	△ 355	0	0	0	0	△ 400	45	委託料
H23決算	4,245					3,600	645	工事請負費
事業目的	農地の利用集積や非農用地を含む土地利用の秩序化を一体的に実施することによって、将来の営農形態に適合した農業機械の効率的な利用や合理的な水利用等、生産性の高いほ場条件を整備する。					対象者(受益)		備品購入費 補助金・負担金 803 その他 0
						具体名	関係農家戸数	
						人数等	70戸	
事業内容	事業期間	H21	～	H25	新規・継続の別	継続	実施主体	兵庫県
	【事業期間中の事業内容】 宇原地区全体計画(県営事業): 整備面積 23.8ha、H21～H25、全体事業費 635,400千円 負担区分: 国 55%、県 27.5%、市 10%、地元 7.5% その他: 大型補正による前倒し事業(3月補正事業費 農道舗装工事等 29,000千円) 【H25の事業内容】 事業市負担金 600千円(事業費 6,000千円×10%) 促進支援調査・調整事業補助金 203千円(450千円×45%)							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	面工事 A=23.8ha 換地業務 一式 100%		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		100%		
	事業効果	ほ場整備を契機として、担い手農業者が生産の中心を担う体制が確立し、農業を支える担い手への農地の利用集積を推進し、経営規模の拡大・生産コスト削減・農業経営の安定を図ることが出来る。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円

所管課:	農業振興課	事業名:	ふるさとの風景づくり整備事業				予算書頁	142
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	5-1-6		節	①農業の振興				
	農村整備事業費		施策区分	②生産基盤・経営基盤の整備促進				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	3,154	1,900				1,254	人件費	
H24当初予算	3,579	2,150				1,429	賃金	
対前年度増減	△ 425	0	△ 250	0	0	△ 175	委託料	
H23決算	5,426	3,734				1,692	工事請負費	
事業目的	地域活動に熱心に取り組む集落や団体に対し、既存事業では対応困難な施設整備等を行うことで、活動の基盤となる生活環境を整える。				対象者(受益)		補助金	3,154
					具体名	不特定多数		
					人数等			
事業内容	事業期間	H23	～	H25	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】							
	全体事業費 13,044千円 事業内容:生活環境の整備、農業用施設等の整備等 1式							
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)		3箇所実施 100%		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)		-	
	事業効果		自治会や地域団体に対して既存事業では対応困難なきめ細やかなハード整備を支援する。 農業用排水路整備 N=3箇所					

単位:千円

所管課:	農業振興課	事業名:	農業水利施設保全合理化事業(下神戸地区)				予算書頁	142
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	5-1-6		節	①農業の振興				
	農村整備事業費		施策区分	②生産基盤・経営基盤の整備促進				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	600		510			90	人件費	
H24当初予算	0				0	0	賃金	
対前年度増減	600	0	510	0	0	90	委託料	
H23決算						0	工事請負費	
事業目的	農業用水利施設の老朽化により、農業生産性の低下と住宅・公共施設への二次災害を及ぼすリスクが高まっている。このため、機能診断を緊急的に実施し、保全・合理化整備を推進し、水利用・水管理の効率化・省力化、水利施設の安全性の向上により、農業生産力等の強化を図る。				対象者(受益)		補助金・負担金	600
					具体名	受益者		
					人数等	352戸		
事業内容	事業期間	H24	～	H27	新規・継続の別	新規	実施主体	兵庫県
	【事業期間中の事業内容】							
	全体事業費:22,175千円 事業内容:機能保全計画策定業務 1式 施設計画策定業務 1式 (負担区分:国 100%) 水路改修工事 L=500m(負担区分:国 55%、県 25%、市 3%、地元 17%) その他:大型補正による前倒し事業(3月補正事業費 機能保全計画策定業務3,000千円 施設計画策定業務2,000千円 水路整備工事 8,000千円)							
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)		水路改修 L=500m 100%		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)		-	
	事業効果		老朽化等により用水確保が困難な水路を改修することにより、持続可能な農業経営の確立と二次災害の防止に資する。					

# 平成25年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円

所管課:	農業振興課	事業名:	農業水利施設保全合理化事業(戸原地区)			予算書頁	142		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり					
科目名等:	5-1-6		節	①農業の振興					
	農村整備事業費		施策区分	②生産基盤・経営基盤の整備促進					
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	2,000			340			1,660	人件費	2,000
H24当初予算						0	0	賃金	
対前年度増減	2,000	0	0	340	0	0	1,660	委託料	
H23決算							0	工事請負費	
事業目的	農業用施設が被災し、その及ぼす影響が大きい場合、その地域で一体的な防災・減災を目的とした危機管理機能を向上させるための整備を行う。				対象者(受益)		備品購入費		
					具体名	受益者	補助金		
					人数等	222戸	その他		
事業内容	事業期間	H24	～	H27	新規・継続の別	新規	実施主体	兵庫県	
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>全体事業費:50,000千円(県営事業)</p> <p>事業内容:農地災害危機管理対策計画書作成業務1式 概略設計業務1式(負担区分:国 100%)          遠方操作装置設置工事1式(負担区分:国 50%、県 50%)          その他:大型補正による前倒し事業(3月補正事業費 概略設計業務 2,000千円)</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>農地災害危機管理対策計画書作成業務 2,000千円【市単独】          概略設計業務 3,000千円【事業主体:兵庫県】</p>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	遠方操作装置設置 100%			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	災害時における農業用施設の現状を安全に確認できるため、不測の事態での二次災害等の事故を未然に防ぐことができる。							

単位:千円

所管課:	農業振興課	事業名:	団体営農道整備事業(青木地区)			予算書頁	142		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり					
科目名等:	5-1-6		節	①農業の振興					
	農村整備事業費		施策区分	②生産基盤・経営基盤の整備促進					
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	5,000		3,075	850		900	175	人件費	5,000
H24当初予算								賃金	
対前年度増減	5,000	0	3,075	850		900	175	委託料	
H23決算								工事請負費	
事業目的	ほ場整備工事により設置した主要農道を舗装整備することにより、農産物の融通機能の向上と維持管理費の削減に資する。				対象者(受益)		備品購入費		
					具体名	関係農家戸数	補助金		
					人数等	70戸	その他		
事業内容	事業期間	H24	～	H25	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>事業費 25,000千円</p> <p>事業内容:調査設計業務1式 農道舗装工事 L=2,800m 道路幅員W=4.0m(W=3.0m)          負担区分:国 55%、県 6.5%、市 21.5%、地元 17%          その他:大型補正に伴う新規事業(3月補正事業費 調査設計業務 3,000千円 舗装工事 17,000千円)</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>農道舗装工事 L=600.0m W=4.0m(W=3.0m)          工事請負費 5,000千円</p>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	道路延長 L=2,800m			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	100%			
	事業効果	農作物の融通機能の向上と維持管理費の軽減							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円

所管課:	農業振興課	事業名:	震災対策農業水利施設整備事業				予算書頁	142
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	5-1-6		節	①農業の振興				
	農村整備事業費		施策区分	②生産基盤・経営基盤の整備促進				
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	18,280		13,280				5,000	人件費
H24当初予算								賃金
対前年度増減	18,280	0	13,280	0		0	5,000	委託料 18,280
H23決算								工事請負費
事業目的	ため池において築造時期が古く、老朽化が著しく進んでいる。このため、早急に施設の現状を把握し、短期間・低コストで減災対策を実施し、施設の安全性と共に地域の安全度の向上を図る。				対象者(受益)		補助金	その他
					具体名	関係農家戸数		
					人数等	70戸		
事業内容	事業期間	H24	～	H25	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】 全体事業費 55,640千円 事業内容:ため池耐震性一斉点検業務 33箇所      ため池耐震診断(レベル1)業務 8箇所 負担区分:国 100% ※大型補正による新規事業(3月補正事業費 一斉点検業務 1,360千円 耐震診断(レベル1)業務 36,000千円)							
	【H25の事業内容】 ため池耐震性一斉点検業務委託 16箇所×80千円=1,280千円 (国費 100%) ため池耐震診断(レベル1)業務委託 2箇所×6,000千円=12,000千円 (国費 100%) ため池台帳整備業務委託 5,000千円 (市費 100%)							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	ため池点検 33箇所			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		100%	
	事業効果	耐震点検をすることによって、災害を未然に防ぐことができる。						

単位:千円

所管課:	農業振興課	事業名:	基幹農道整備事業				予算書頁	143
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	5-1-7		節	①農業の振興				
	農地費		施策区分	②生産基盤・経営基盤の整備促進				
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	71,500		0			67,900	3,600	人件費
H24当初予算	29,744		0		0	28,200	1,544	賃金
対前年度増減	41,756	0	0	0	0	39,700	2,056	委託料
H23決算	3,056					2,700	356	工事請負費
事業目的	農業振興における基幹農業用施設(米麦乾燥施設・水稻育苗施設・黒大豆乾燥調整施設等)への農業生産物の搬出入や大型農耕車等区間往來及び都市農村交流施設等へのアクセス道路を整備し、農業の近代化・農業生産物流通の合理化を図り農村環境の改善に資する。				対象者(受益)		補助金	その他
					具体名	不特定多数		
					人数等			
事業内容	事業期間	H17	～	H28	新規・継続の別	継続	実施主体	兵庫県
	【事業期間中の事業内容】 事業費 1,969,700千円 事業内容:道路延長L=1,829m、(内トンネル延長L=482m)、道路幅員W=7.0m(W=5.5m) 負担区分:国 50%、県 35.7%、市 14.3% その他:大型補正による前倒し事業(3月補正事業費 整備工事 300,000千円)							
	【H25の事業内容】 事業市負担金 71,500千円 (事業費 500,000千円×14.3%)							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	道路延長L=1,829m 100%			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		62%	
	事業効果	蔦沢地区と菅野・土万地区との連絡道を整備する事により、交通時間を大幅に短縮させ、農業の近代化及び農業生産物流の合理化とともに、生活・防災面での効果を図る。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円

所管課:	農業振興課	事業名:	その他農地費				予算書頁	143
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	5-1-7		節	①農業の振興				
	農地費		施策区分	②生産基盤・経営基盤の整備促進				
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	16,159				79	4,000	12,080	人件費
H24当初予算	17,110					5,700	11,410	賃金
対前年度増減	△ 951	0	0	0	79	△ 1,700	670	委託料 409
H23決算	24,621					6,700	17,921	原材料費 5,700
事業目的	農業生産性の維持向上に向けた農業生産基盤の改修に対して、原材料を支給する。また、農業用施設の機能回復を促進し、農地の保全と農業基盤の整備を図る。					対象者(受益)		備品購入費
						具体名	農業者	補助金 10,050
						人数等	-	その他 0
事業内容	事業期間	H17	~			新規・継続の別	継続	実施主体 地元
	【事業期間中の事業内容】							
	農業生産性の維持向上に向けた農業生産基盤の改修に対して、原材料を支給する。(材料費が10万円以上で50万円限度)、及び農業用施設の機能回復を促進し、農地の保全と農業基盤の整備を図る。(工事費が20万円以上で査定工事費の50%・200万円上限)							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		農業生産基盤改修用資材費 27団体 農業生産基盤整備促進事業 23団体		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-	
	事業効果	農業生産基盤の機能を回復し、農業生産性の維持向上と農業経営の安定、農地の保全を図ることが出来る。						

単位:千円

所管課:	農業振興課	事業名:	地籍調査事業				予算書頁	143
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり				
科目名等:	5-1-8		節	⑦有効な土地利用				
	地籍調査事業		施策区分	②地籍調査の推進				
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	114,214		83,216				30,998	報酬 1,766
H24当初予算	105,054		76,991				28,063	賃金 2,095
対前年度増減	9,160	0	6,225	0	0	0	2,935	需用費 1,727
H 23 決 算	157,333		121,032				36,301	役務費 634
事業目的	地籍(所有者、地番、地目、地積及び境界)を明確にして、土地管理を容易にし、土地境界トラブルの未然防止、公共事業等の円滑化、災害復旧の迅速化を図る。 また、固定資産税の適正化に資する資料となる。					対象者(受益)		委託料 107,426
						具体名	市民	その他 566
						人数等	-	
事業内容	事業期間	S32	~	S58		新規・継続の別	継続	実施主体 宍粟市
	【事業期間中の事業内容】							
	市全体面積658.60Km <sup>2</sup> 要調査面積531.04Km <sup>2</sup> (平地部は調査完了) H24末進捗率 60.30%(調査済換算面積 320.36Km <sup>2</sup> ) 調査未了である山林部の調査を波賀町、千種町、山崎町(一宮は全域完了済)の順で調査を実施。 (補助割合)国50% 県25% 市25% ただし、市負担には、特別交付税措置あり。(実質市負担5%)							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		62.1%(H25年度末予定進捗率)		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		100%	
	事業効果	【市全域調査完了予定 平成58年度】 ・波賀町(山林部):H15~H26 ・千種町(山林部):H27~H38 ・山崎町(山林部):H39~H58						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円

所管課:	農業振興課	事業名:	農作物共済事業				予算書頁	3
会計名:	農業共済事業会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	農作物共済勘定		節	①農業の振興				
			施策区分	③農畜産物の生産振興と地産地消の推進				
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	6,484				6,484		0	保険料 11
H24当初予算	11,270				11,270		0	共済金 4,647
対前年度増減	△ 4,786	0	0	0	△ 4,786	0	0	無事戻金 1,727
H23決算	7,846				7,846		0	
事業目的	農業災害補償方に基づき、農家経営の安定と農業生産力の発展に資するため、農家が共済掛金を出し合い共同の準備財産をつくり、被災農家に救済として共済金を支払う。					対象者(受益)		
						具体名	農家(組合員等)	
						人数等	2,494	その他 99
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】							
	食料の基本となる水稲、麦を対象としたNOSAI制度の骨格をなす共済事業である。風水害をはじめとする、あらゆる自然災害や病虫害、鳥獣害、火災により減収したとき、その程度や補償割合に応じて共済金を支払う。 【H25の事業内容】 平成23年度から本格実施された戸別所得補償制度のうち米戸別所得補償制度の加入要件の一つに水稲共済加入があることから、任意加入基準(25a未満)の耕作者の加入推進を行い、より多くの農家に対し、農家経営の安定の後ろ盾とした事業を行う。							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	2,480人(加入率96%)			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-		
	事業効果	被災された農家の収入補填を行うことから、農家経営の安定につながり、生産意欲の減少を防ぎ、耕作放棄地の減少へつながる。						

単位:千円

所管課:	農業振興課	事業名:	家畜共済事業				予算書頁	4
会計名:	農業共済事業会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	家畜共済勘定		節	①農業の振興				
			施策区分	③農畜産物の生産振興と地産地消の推進				
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	20,176				20,176		0	保険料 752
H24当初予算	17,027				17,027		0	技術料 4,412
対前年度増減	3,149	0	0	0	3,149	0	0	共済金 14,273
H23決算	8,290				8,290		0	
事業目的	農業災害補償方に基づき、農家経営の安定と農業生産力の発展に資するため、農家が共済掛金を出し合い共同の準備財産をつくり、被災農家に救済として共済金を支払う。					対象者(受益)		
						具体名	農家(組合員等)	
						人数等	23	その他 739
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】							
	牛、馬及び豚を対象とし、それぞれの種類ごとに飼養している家畜を全て加入していただく包括加入方式となっている。加入している家畜が死亡したり廃用になったとき、またケガや病気で治療を受けたときに共済金を支払う。 【H25の事業内容】 農家の高齢化等により、農家減少が続く中、万一の補償のためにも付保割合(補償割合)の高位平準化を推進することにより、農家経営の安定につながる。							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	1,434頭(現状維持)			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-		
	事業効果	死亡・廃用事故による経済的損失の補填や病傷事故に対する診療費を抑えることにより、農家経営の安定につながる。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円

所管課:	農業振興課	事業名:	畑作物共済事業	予算書頁	5				
会計名:	農業共済事業会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり					
科目名等:	畑作物共済勘定		節	①農業の振興					
			施策区分	③農畜産物の生産振興と地産地消の推進					
予算額等		財源内訳				25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	12,887				12,887		0	保険料	3,340
H24当初予算	16,708				16,708		0	共済金	9,543
対前年度増減	△ 3,821	0	0	0	△ 3,821	0	0		
H23決算	8,290				8,290		0		
事業目的	農業災害補償方に基づき、農家経営の安定と農業生産力の発展に資するため、農家が共済掛金を出し合い共同の準備財産をつくり、被災農家に救済として共済金を支払う。				対象者(受益)				
					具体名	農家(組合員等)			
					人数等	149	その他	4	
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】								
	大豆を対象とし、風水害をはじめとする自然災害や病虫害、鳥獣害、火災により減収したとき、共済金を支払う制度。加入方法は、農家単位で損害を補償する全相殺方式、半相殺方式と耕地ごとに損害を補償する一筆方式がある。加入は農家ごとに耕作される全ての圃場が対象となる。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		160人(前年比107%)		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
	【H25の事業内容】								
	年々、高齢化等により大豆の作付面積等は減少する中、JA営農指導員等の協力を得ながら、大規模農家や集落営農組織の加入推進を行い、農会長会等で制度説明を行うことで、前年を下回らないよう加入推進を図る。								
事業効果	大豆の経営について、作付年度により単価にばらつきがあることから、被害が大きい年が続くと、農家の生産意欲が失われ、作付の減少につながることから、減収の一部を補填することで、経営安定につながる。								

単位:千円

所管課:	農業振興課	事業名:	園芸施設共済事業	予算書頁	6				
会計名:	農業共済事業会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり					
科目名等:	園芸施設共済勘定		節	①農業の振興					
			施策区分	③農畜産物の生産振興と地産地消の推進					
予算額等		財源内訳				25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	689				689		0	保険料	190
H24当初予算	973				973		0	共済金	474
対前年度増減	△ 284	0	0	0	△ 284	0	0		
H23決算	517				517		0		
事業目的	農業災害補償方に基づき、農家経営の安定と農業生産力の発展に資するため、農家が共済掛金を出し合い共同の準備財産をつくり、被災農家に救済として共済金を支払う。				対象者(受益)				
					具体名	農家(組合員等)			
					人数等	20	その他	25	
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】								
	自然災害などで、ビニールハウスやガラス室などの施設が被害を受けたときに、共済金を支払う。施設のほか、施設内で栽培されている農作物も加入できる。施設の種類によっては、施設の撤去費用や、施設の防風・防鳥などを目的に設置される多目的ネットハウスについても、補償を選択できる。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		58棟(前年比105%)		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
	【H25の事業内容】								
	園芸施設共済は加入対象物について、減価償却という考え方から、同一の施設であれば毎年補償額は必然的に減ることとなる。JAと協力のもと、新規加入の推進を図る。								
事業効果	園芸施設は、台風や積雪により多大な被害を被ることもあり、高齢者の農家であれば、再建されることなく、やめてしまわれるケースが多い。そういった自然災害による損失の補填を行うことで、農家の経営安定や生産の向上につながる。								

# 平成25年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円

所管課:	農業振興課	事業名:	損害防止事業			予算書頁	7	
会計名:	農業共済事業会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	業務勘定損害防止費		節	①農業の振興				
			施策区分	③農畜産物の生産振興と地産地消の推進				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額	
H25当初予算	1,510			1,510		0	薬剤費 240	
H24当初予算	2,277			2,277		0	委託料 440	
対前年度増減	△ 767	0	0	△ 767	0	0	雑費 829	
H23決算	2,379			2,379		0		
事業目的	共済事故を未然に防ぎ、農家経営の安定に寄与するとともに、共済金の削減を図る。				対象者(受益)			
					具体名	農会・家畜飼養農家		
					人数等	-		その他 1
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】 水稲病害虫発生状況調査10圃場、市が実施する野性動物被害防止柵設置事業などへの費用負担、並びに農業災害補償法第150条の3に規定する家畜の疾病に対する特定損害防止事業と特定損害防止事業以外の多発する家畜の疾病に対し、予防薬の配布による疾病予防及び衛生措置							
	【H25の事業内容】 水稲共済についてH24年産から、共済金の支払いに充てる積立金の総額により掛金率が大幅に低率となったことから、市の責任分の手持掛金が減り、積立金を取り崩し支払いに充てる状況が増えることとなったことにより、水稲損害防止事業については、連合会の負担金のみで実施する。家畜については、連合会の負担金なくなるが、病傷事故の低減につながることから、市の負担(家畜特別積立金の取り崩し)のみ実施する。							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	水稲 金額被害率0.7%未満 家畜 病傷診療件数500件未満 死傷事故件数 50件未満		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	損害防止事業を実施することにより、農家の共済事故を未然に防止することで、損失を低減する。そのことにより、農家経営の安定につながる。また、被害率が減少することで、掛金率等が低くなり、農家負担の減少につながる。						

単位:千円

所管課:	森づくり課	事業名:	松くい虫防除等事業			予算書頁	147	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	①人と人、人と自然にやさしいまちづくり				
科目名:	5-2-2		節	①森林を生かした豊かな空間づくり				
	林業振興費		施策区分	①森林環境の保全				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額	
H25当初予算	7,270	5,950				1,320	人件費	
H24当初予算	7,270	5,950				1,320	賃金	
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	委託料 7,270	
H 23 決算	5,749	3,980				1,769	工事請負費	
事業目的	他地域への被害拡大を防ぎ、森林の公益的機能の保持と山腹崩壊等の防止を図る。また、県北部から宍粟市にも拡大しているカンナガキイムシ被害は、地域の貴重な天然林の大径木を中心に波及し、早急な防除を図る。				対象者(受益)			
					具体名	区域内受益者		備品購入費
					人数等	11地区		負担金補助金
事業内容	事業期間	H25 ~ H25		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】 ・H22 保全松林整備〔衛生伐〕 260.0㎡、 伐倒駆除 200㎡、カンナガキイムシ防除(噴霧剤処理) 605㎡ ・H23 保全松林整備〔衛生伐〕 253.0㎡、 伐倒駆除 100㎡、カンナガキイムシ防除(噴霧剤処理) 370㎡ ・H24 保全松林整備〔衛生伐〕 255.0㎡、 伐倒駆除 100㎡、カンナガキイムシ防除(噴霧剤処理) 400㎡ (予定)							
	【H25の事業内容】 ○伐倒駆除 110㎡ (委託料=1,870,000円) ○保全松林整備(衛生伐)A地区 160㎡ (委託料=3,200,000円)、 B地区 100㎡ (委託料=1,200,000円) ○カンナガキイムシ防除(噴霧剤処理) 571㎡ (委託料=1,000,000円)							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	保全松林整備:160㎡、伐倒駆除:110㎡、カンナガキイムシ防除:571㎡		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	○松林並びにミズナラ等の天然林の公益的機能・多面的機能を増進することにより、災害に強いまちづくりを実践するとともに、集団的な枯れを防ぎ景観を保持することができる。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円

所管課:	森づくり課	事業名:	林業労働者確保対策事業	予算書頁	148				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり					
科目名:	5-2-2		節	②林業の振興					
	林業振興費		施策区分	②林業の担い手育成と強化					
予算額等		財源内訳				25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	1,000						1,000	人件費	
H24当初予算	5,360		4,360				1,000	賃金	
対前年度増減	△ 4,360	0	△ 4,360	0	0	0	0	委託料	
H 23 決算	2,625				1,625		1,000	工事請負費	
事業目的	持続可能な森林の維持増進を図るために、しろう森林組合が雇用する若年森林技術者の社会保障制度に対し支援を行うことで、地域林業の振興に必要な林業労働者を確保する。				対象者(受益)		備品購入費		
					具体名	しろう森林組合	負担金補助金		1,000
					人数等	10人	その他		0
事業内容	事業期間	H17	～	H27	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】 ・H22 3,300,000円 ・H23 2,625,414円 ・H24 2,737,279円(予定) 【H25の事業内容】 ○補助金 森林組合が雇用する月給制労働者にかかる社会保険料の事業主負担に対し、その一部を補助する。 10人×100,000円=1,000,000円								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	10人(100%)			継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))	-			
	事業効果	○森林技術者の育成により林業再生に必要な担い手を確保し、地域林業の発展を図る。							

単位:千円

所管課:	森づくり課	事業名:	森林管理推進事業(旧環境対策育林事業)	予算書頁	148				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	①人と人、人と自然にやさしいまちづくり					
科目名:	5-2-2		節	①森林を生かした豊かな空間づくり					
	林業振興費		施策区分	①森林環境の保全					
予算額等		財源内訳				25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	24,532				7,878		16,654	人件費	
H24当初予算	10,112				2,421		7,691	賃金	
対前年度増減	14,420	0	0	0	5,457	0	8,963	委託料	
H 23 決算	26,284				6,294		19,990	工事請負費	
事業目的	保育管理の不十分な森林において、間伐事業や収益性の低い人工林を繰り返し群状に伐採し広葉樹林化を図り、山地災害防止や野生動物の生育環境の保全に配慮した多様な森林を整備する。また、地域住民等が自ら行う里山林整備活動に対し支援を行い、健全な里山林へ誘導する。				対象者(受益)		備品購入費		
					具体名	森林所有者	負担金補助金		24,172
					人数等	-	その他		360
事業内容	事業期間	H24	～	H33	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】 実施面積 ・H22 間伐 527ha ・H23 間伐 491ha ・H24 間伐 154ha(予定)、作業道7,701m(予定) 【H25の事業内容】 ○補助金 ・森林管理100%作戦推進事業 間伐(150ha)、作業道開設(12,000m) 19,376,000円 ・広葉樹林化促進パイロット事業 1地区(更新伐・作業道開設) 2,296,000円 ・住民参画型里山林再生事業 2地区 2,800,000円								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	間伐:150ha、作業道:12,000m			継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))	-			
	事業効果	○間伐を実施することにより、林床植生を豊かにし水源涵養機能等の持つ公益的機能を高め、災害に強い森林づくりを推進し、住民生活の安全確保を図る。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円

所管課:	森づくり課	事業名:	その他林業振興事業	予算書頁	148				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり					
科目名:	5-2-2		節	②林業の振興					
	林業振興費		施策区分	①生産性の高い森林造成の促進					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	29,735				462		29,273	人件費	
H24当初予算	38,660				462		38,198	賃金	
対前年度増減	△ 8,925	0	0	0	0	0	△ 8,925	委託料	
H 23 決算	45,085				1,262		43,823	工事請負費	
事業目的	林業の長引く不況で生産活動の停滞するなか、原木の安定供給を推進するため必要不可欠な生産基盤の整備や生産森林組合の経営体制の充実を図るため補助支援を行う。					対象者(受益)		備品購入費 負担金補助金 29,700 その他 35	
						具体名	森林所有者		
						人数等	-		
事業内容	事業期間	H17	~	H25	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	<b>【事業期間中の事業内容】</b> ・H22 (間伐101.06ha、枝打ち1.78ha、作業道開設21,011.4m)    ・H23 (間伐235.07ha、枝打ち3.92ha、作業道開設20,873m)    ・H24 (間伐114.69ha、作業道開設23,164m) 予定  <b>【H25の事業内容】</b> ○高性能林業機械購入補助事業 4,710,000円 ○生産森林組合連絡協議会助成事業 1,300,000円    ○生産森林組合経営支援事業 2,570,000円 ○緑の少年団連絡協議会育成事業 400,000円 ○優良樹苗育成事業 100,000円 ○しその森整備事業(間伐240ha、作業道開設23,000m) 20,620,000円								
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)				継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)				
	事業効果	○林業機械購入補助で林業生産活動の促進を図り、森林所有者が実施する事業に対し市が上乗せ補助をすることにより、公益的機能を発揮する健全な森林を育成するとともに、林業経営の安定と原木の安定供給を図る。							

単位:千円

所管課:	森づくり課	事業名:	宍粟材利用推進事業	予算書頁	146				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり					
科目名:	5-2-2		節	②林業の振興					
	林業振興費		施策区分	③宍粟材流通の整備促進					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	6,568						6,568	人件費	
H24当初予算	6,568						6,568	報償費	2,800
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	0	役務費	158
H 23 決算	5,941						5,941	委託料	
事業目的	宍粟材の利用促進活動を支援することにより、森林の持つ公益的機能の高度発揮及び地域林業の活性化に資する。					対象者(受益)		使用料及び賃借料 1,560 負担金補助金 その他 2,050	
						具体名	市民、森林所有者		
						人数等	-		
事業内容	事業期間	H13	~	H27	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	<b>【事業期間中の事業内容】</b> ・宍粟材の家づくり事業    ・宍粟材共同販売施設(しそcan森のギャラリー)の設置 ・宍粟材推進会議への助成    ・森林経営支援推進事業による森林経営の支援  <b>【H25の事業内容】</b> ○宍粟材の家づくり事業 2,800,000円    ○市有林森林認証管理審査手数料 158,000円 ○宍粟材共同販売施設(しそcan森のギャラリー)賃借料 1,560,000円    ○宍粟材推進会議へ助成 800,000円 ○森林経営団地化推進事業 1団地 500,000円    ○森林経営支援推進事業 3団地 750,000円								
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)				継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)				
	事業効果	○宍粟材の利用を促進することで、地域林業の活性化を図ることができ、森林の持つ公益的機能の高度発揮に繋がる。また、森林の団地化の推進や森林経営に意欲をもち、地域林業の再生に熱意を持つ森林所有者を対象に支援することで、林業振興の活性化を図る。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円

所管課:	森づくり課	事業名:	針葉樹林と広葉樹林の混交林整備事業	予算書頁	146			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	①人と人、人と自然にやさしいまちづくり				
科目名:	5-2-2 林業振興費		節	①森林を生かした豊かな空間づくり				
			施策区分	①森林環境の保全				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	84,087	83,651				436	人件費	
H24当初予算	44,701	44,305				396	賃金	1,537
対前年度増減	39,386	0	39,346	0	0	40	委託料	
H 23 決算	45,758	44,666				1,092	工事請負費	
事業目的	スギ・ヒノキの高齢人工林を部分伐採し、広葉樹を植栽することにより、多様な森林を造成し公益的機能の維持増進を図る。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	区域内受益者	負担金補助金	81,459
					人数等	受益者	その他	1,091
事業内容	事業期間	H18 ~ H26	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】 ・H18 2地区 ・H19 3地区 ・H20 3地区 ・H21 2地区 ・H22 3地区 ・H23 5地区 ・H24 5地区(予定) 【H25の事業内容】 ○上野河原田地区 19,559,000円      ○東河内乗岡地区 13,691,000円      ○福知熊ノ原地区 16,912,000円 ○塩田下川原地区 13,039,000円      ○戸倉兵坂地区 5,150,000円      ○上牧谷老後下地区 5,150,000円 ○小野大谷地区 5,150,000円      ○上ノ下地区 5,000,000円      合計 83,651,000円							
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)	8地区		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	○災害に強い森林の造成が図られ、水土保全機能等の森林の持つ公益的機能の発揮が期待できる。						

単位:千円

所管課:	森づくり課	事業名:	緊急防災林整備事業	予算書頁	146			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	①人と人、人と自然にやさしいまちづくり				
科目名:	5-2-2 林業振興費		節	①森林を生かした豊かな空間づくり				
			施策区分	①森林環境の保全				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	52,250	52,000				250	人件費	
H24当初予算	56,710	56,710				0	賃金	1,016
対前年度増減	△ 4,460	0	△ 4,710	0	0	250	委託料	
H 23 決算	57,138	56,399				739	工事請負費	
事業目的	山地災害防止機能の高度発揮が求められるおおむね45年生以下のスギ、ヒノキ林を対象に、早期・確実に防災機能の向上を図ることを目的として、間伐木を利用した土留工の設置を行う。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	森林所有者	負担金補助金	50,925
					人数等	-	その他	309
事業内容	事業期間	H18 ~ H26	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】 ・H18 229ha ・H19 193ha ・H20 176ha ・H21 184ha ・H22 244ha ・H23 209ha ・H24 308ha(予定) 【H25の事業内容】 ○実施面積 300ha 52,000,000円							
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)	300ha		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	○間伐木を利用した土留工の設置を行うことにより、山地災害防止機能を高め災害に強い森づくりを図る。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円

所管課:	森づくり課	事業名:	公有林整備事業	予算書頁	148			
会計名:	一般会計	章:	①人と人、人と自然にやさしいまちづくり					
科目名:	5-2-3 造林整備事業費	総合計画の施策体系:	節 ①森林を生かした豊かな空間づくり					
		施策区分:	①森林環境の保全					
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	74,795	30,169		45,239	9,000	△ 9,613	人件費	
H24当初予算	80,491	27,881		58,821		△ 6,211	賃金	
対前年度増減	△ 5,696	0	2,288	0	△ 13,582	9,000	△ 3,402	役務費 7,601
H 23 決算	70,876	27,635		65,660		△ 22,419	工事請負費	67,194
事業目的	原木の安定供給を目指し、率先して搬出間伐を行い、災害時の利活用を促す。又、保育事業が必要な林分については森林の公益的機能の向上を図るため、保育事業を実施する。				対象者(受益)		備品購入費 負担金補助金 その他 0	
					具体名	災害市		
					人数等	-		
事業内容	事業期間		H17 ~ H25		新規・継続の別		継続	
	【事業期間中の事業内容】							
	・H22 搬出間伐 62ha    ・H23 搬出間伐 48ha    ・H24 搬出間伐 45ha  【H25の事業内容】 ○鷹巣女此押ヶ谷(搬出間伐 21.40ha、保育間伐 7.00ha) 20,174,700円 ○西河内新口(搬出間伐 13.15ha、保育間伐 5.60ha) 12,575,693円 ○野尻皆木(搬出間伐 21.77ha、保育間伐 1.75ha) 19,784,730円 ○横山上三谷(植栽 2.67ha、防護柵 800m) 3,158,484円 ○作業道改良(2路線) 11,500,000円 合計 67,193,607円							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		搬出間伐:56.32ha、保育間伐:14.35ha		継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))		-	
	事業効果		○搬出間伐は、搬出路を開設し高性能林業機械を導入することで効率よく原木が搬出でき、生産コストの軽減を図る。植栽については、森林の公益的機能の向上を図る。					

単位:千円

所管課:	森づくり課	事業名:	しそう防災景観推進事業	予算書頁	148			
会計名:	一般会計	章:	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり					
科目名:	5-2-2 林業振興費	総合計画の施策体系:	節 ③災害に強いまちづくり(防災体制の充実)					
		施策区分:	②基盤整備、耐震・風水害対策の強化					
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	3,000					3,000	人件費	
H24当初予算	0					0	賃金	
対前年度増減	3,000	0	0	0	0	3,000	委託料	
H 23 決算	0					0	使用料及び賃借料	
事業目的	倒木による人家等への被害予防、野生動物による農業被害予防、美しい景観形成を図り、市民の安心安全に資する。				対象者(受益)		工事請負費 負担金補助金 3,000 その他 0	
					具体名	市民		
					人数等	-		
事業内容	事業期間		H25 ~ H		新規・継続の別		新規	
	【事業期間中の事業内容】							
	・自治会が実施する人家裏山、主要生活道の林縁部の立木の伐採・除去について、市が必要と認めた対象経費に対して、10/10以内で、上限を150万円として助成する。  【H25の事業内容】 同上							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		-		継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))		-	
	事業効果		しそう防災景観推進事業を実施することにより、安心・安全のまちづくり、災害に強い森づくり、美しい景観形成が図れる。					

# 平成25年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円

所管課:	森づくり課	事業名:	その他林業施設整備事業	予算書頁	148			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名:	5-2-4		節	②林業の振興				
	林業基盤整備事業費		施策区分	①生産性の高い森林造成の促進				
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	45,961	8,250				37,711	人件費	
H24当初予算	82,882	31,250			16,200	35,432	委託料	6,499
対前年度増減	△ 36,921	0	△ 23,000	0	0	△ 16,200	工事請負費	16,650
H 23 決算	23,822				6,200	17,622	原材料費	950
事業目的	市管理林道の適正な管理と林業専用道の継続開設、地元管理林道への補助金支給など林業基盤の整備を図る。また、千町段ヶ峰線にかかる用地を購入する。				対象者(受益)		公有財産購入費	16,500
					具体名	市民	負担金補助金	5,323
					人数等	-	その他	39
事業内容	事業期間		H17 ~ H25	新規・継続の別		継続	実施主体	穴栗市
	【事業期間中の事業内容】							
	○千町段ヶ峰線・前地カンカケ線の用地分筆・所有権移転登記並びに用地購入 ○林業専用道の開設 ○林道の補修維持工事並びに補修工事補助金 ○治山林道協会並びに森林基幹道開設事業負担金							
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)			-		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)		-
	事業効果 ○林道等の林業基盤整備を実施することにより、森林の整備・保全並びに木材の安定供給に寄与する。							

単位:千円

所管課:	森づくり課	事業名:	治山施設災害復旧事業	予算書頁	225			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり				
科目名:	10-1-4		節	③災害に強いまちづくり(防災体制の充実)				
	治山施設災害復旧費		施策区分	②基盤整備、耐震・風水害対策の強化				
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	32,732	7,287	5,390			20,055	人件費	
H24当初予算	37,960	20,274	6,382			11,304	賃金	
対前年度増減	△ 5,228	0	△ 12,987	△ 992	0	8,751	委託料	1,000
H 23 決算	8,402	7,750	532			120	使用料及び賃借料	632
事業目的	山地災害箇所等の治山治水と森林の公益的機能の回復を図るとともに、治山施設の流末水路を整備することで地域防災機能の向上を図る。				対象者(受益)		工事請負費	30,500
					具体名	市民	負担金補助金	
					人数等	-	その他	600
事業内容	事業期間		H25 ~ H25	新規・継続の別		継続	実施主体	穴栗市
	【事業期間中の事業内容】							
	・山地災害復旧工事(県単補助) ・治山関連附帯流末工事(夢推進・市単独)							
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)			12地区		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)		-
	事業効果 ○治山事業を実施することにより、森林の保全及び災害の防止に寄与する。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円

所管課:	商工労政課	事業名:	特産物振興事業	予算書頁	152																																																					
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり																																																						
科目名等:	6-1-2		節	③商工業の振興																																																						
	商工業振興費		施策区分	①商工業支援の強化																																																						
予算額等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="6">財源内訳</th> <th colspan="2">25年度当初予算の内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>受益者負担金</th> <th>その他特定財源</th> <th>地方債</th> <th>一般財源</th> <th>主な費目</th> <th>金額</th> </tr> <tr> <td>H25当初予算</td> <td>300</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>人件費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24当初予算</td> <td>300</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>賃金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年度増減</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>委託料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H 23 決算</td> <td>300</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>工事請負費</td> <td></td> </tr> </table>						財源内訳						25年度当初予算の内訳		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	H25当初予算	300					300	人件費		H24当初予算	300					300	賃金		対前年度増減	0	0	0	0	0	0	委託料		H 23 決算	300					300	工事請負費	
	財源内訳						25年度当初予算の内訳																																																			
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額																																																		
H25当初予算	300					300	人件費																																																			
H24当初予算	300					300	賃金																																																			
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	委託料																																																			
H 23 決算	300					300	工事請負費																																																			
事業目的	市内で生産される農林水産物を活用し、グループ等が組織する団体で行う加工研究、講習会、販売等の活動を支援することにより、地域農林産物の付加価値を高めるとともに宍粟市の魅力アップを図る。			対象者(受益)		補助金	300																																																			
				具体名 人数等	市内加工 グループ			その他	0																																																	
事業内容	事業期間	H17 ~	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市																																																				
	【事業期間中の事業内容】																																																									
	<p>①特色ある特産品開発のための研修会、研究会、新しい地元食材を掘り起し。</p> <p>②商品PR及び消費者評価のフィードバックのためのイベント等での対面販売、試食提供等。</p> <p>③市内農林水産加工グループの中核として農産加工品販売会の育成。</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>同上</p>																																																									
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)	イベント等での対面販売10回 研修・研究会2回	継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)	-																																																						
	事業効果	地域素材を使った加工技術の向上、消費者のニーズに合わせたモノづくりが図られ、宍粟市のPRに繋がる。																																																								

単位:千円

所管課:	商工労政課	事業名:	商工会活動助成事業	予算書頁	152																																																					
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり																																																						
科目名等:	6-1-2		節	③商工業の振興																																																						
	商工業振興費		施策区分	①商工業支援の強化																																																						
予算額等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="6">財源内訳</th> <th colspan="2">25年度当初予算の内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>受益者負担金</th> <th>その他特定財源</th> <th>地方債</th> <th>一般財源</th> <th>主な費目</th> <th>金額</th> </tr> <tr> <td>H25当初予算</td> <td>30,262</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>30,262</td> <td>人件費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24当初予算</td> <td>31,700</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>31,700</td> <td>賃金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年度増減</td> <td>△ 1,438</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>△ 1,438</td> <td>委託料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H 23 決算</td> <td>31,100</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>31,100</td> <td>工事請負費</td> <td></td> </tr> </table>						財源内訳						25年度当初予算の内訳		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	H25当初予算	30,262					30,262	人件費		H24当初予算	31,700					31,700	賃金		対前年度増減	△ 1,438	0	0	0	0	△ 1,438	委託料		H 23 決算	31,100					31,100	工事請負費	
	財源内訳						25年度当初予算の内訳																																																			
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額																																																		
H25当初予算	30,262					30,262	人件費																																																			
H24当初予算	31,700					31,700	賃金																																																			
対前年度増減	△ 1,438	0	0	0	0	△ 1,438	委託料																																																			
H 23 決算	31,100					31,100	工事請負費																																																			
事業目的	商工業振興のため、中小企業者で組織する宍粟市商工会の活動を助成する。			対象者(受益)		補助金	30,262																																																			
				具体名 人数等	商工芸芸 品			その他	0																																																	
事業内容	事業期間	H17 ~	新規・継続の別	継続	実施主体	商工会																																																				
	【事業期間中の事業内容】																																																									
	<p>商工会が実施する各種事業のうち、指導事業費、地域総合振興事業費の市が必要と認めた補助対象経費に対して、国・県の補助額を控除した額の1/2以内を上限として助成する。</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>同上</p>																																																									
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)	経営革新講座:5回 経営セミナー:5回 会計講座:20回 経営改善指導:1,000件(巡回) 3,000件(窓口)	継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)	-																																																						
	事業効果	小規模事業者の経営改善や商工業及び地域の振興と安定のための事業が推進される。																																																								

# 平成25年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円

所管課:	商工労政課	事業名:	中小企業対策事業	予算書頁:	152				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり					
科目名等:	6-1-2		節	③商工業の振興					
	商工業振興費		施策区分	①商工業支援の強化					
予算額等		財源内訳				25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	303,500				300,030		3,470	人件費	
H24当初予算	303,500				300,030		3,470	賃金	
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	0	委託料	
H23決算	302,471				300,030		2,441	工事請負費	
事業目的	市内中小企業者に、必要な資金の提供及び利子補給等を行い、経営の安定化を図る。				対象者(受益)		負担金補助金	3,500	
					具体名	市内で1年以上事業を営んでいる中小企業経営者	補助金	300,000	
					人数等		その他	0	
事業内容	事業期間	H17	～	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】								
	産業振興資金融資制度 300,000千円 市内で1年以上事業を営んでいる者を対象として、事業活動に必要な資金を融資するとともに、当該融資利用者に対して予算の範囲内で利子補給を行う。								
	産業振興資金利子補給 3,000千円 起業家支援助成 500千円 宍粟市内で新たに起業しようとする者に対して予算の範囲内で支援する。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	融資目標60件:300,000千円 利子補給助成50件 企業家支援1件		継続事業の場合の目標	数値の進捗率(目標)		-		
	事業効果	市内中小企業の経営基盤の安定と強化が図られる。							

単位:千円

所管課:	商工労政課	事業名:	産業立地促進事業	予算書頁:	151				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり					
科目名等:	6-1-2		節	③商工業の振興					
	商工業振興費		施策区分	①商工業支援の強化					
予算額等		財源内訳				25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	18,419						18,419	人件費	
H24当初予算	25,033						25,033	賃金	
対前年度増減	△ 6,614	0	0	0	0	0	△ 6,614	委託料	
H23決算	6,500						6,500	工事請負費	
事業目的	商工業振興のため、中小企業者で組織する宍粟市商工会の活動を助成する。				対象者(受益)		備品購入費		
					具体名	商工芸芸品	補助金	18,419	
					人数等	1,677	その他	0	
事業内容	事業期間	H17	～	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】								
	産業立地促進助成 18,119千円 条例に基づき認定を受けた工場等について、当該工場等に固定資産税が課せられることとなった年度から3年間固定資産税額相当額を助成する。 企業誘致サポーターサービス業務委託 300千円 企業誘致に必要な情報の収集を宍粟市のPRを兼ねた形で実施。全国の起業に宍粟市をPRする。								
	【H25の事業内容】 同上								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	新設工場1社3年補助分の2年目助成。(協)兵庫木材センター アンケート実施:10,000社 企業訪問PR:100社		継続事業の場合の目標	数値の進捗率(目標)				
	事業効果	市内に工場等の立地を促進するために、助成措置を講じることにより、産業の振興と雇用機会の拡大が図られる。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円

所管課:	商工労政課	事業名:	移動販売車購入補助事業	予算書頁	152					
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり						
科目名等:	6-1-2		節	③商工業の振興						
	商工業振興費		施策区分	①商工業支援の強化						
予算額等		財源内訳				25年度当初予算の内訳				
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	1,000						1,000	人件費		
H24当初予算	1,000						1,000	賃金		
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	0	委託料		
H 23 決算	0						0	工事請負費		
事業目的	市内在住の買物難民といわれる高齢者へ移動販売を行う事業者への支援することにより中山間地域(過疎地等)の救済に資する。				対象者(受益)		負担金補助金	1,000		
					具体名	商工会会員	補助金			
					人数等	1,677	その他	0		
事業内容	事業期間	H23	~	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市			
	【事業期間中の事業内容】									
	市の指定する区域のいずれか1箇所以上を運行計画に基づいて巡回し5年間継続して移動販売を行うものに対し、移動販売車の車両購入費、仕込み場所確保等に係る改修費を助成する。									
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		移動販売車購入補助:1件		継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))		-			
	事業効果		移動販売を行う事業者に補助することにより、安定した日常生活における食料品の調達をすることができる。							

単位:千円

所管課:	商工労政課	事業名:	工業統計	予算書頁	86					
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり						
科目名等:	2-5-2		節	③商工業の振興						
	工業統計調査費		施策区分	①商工業支援の強化						
予算額等		財源内訳				25年度当初予算の内訳				
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	1,001		1,001				0	人件費	872	
H24当初予算	1,145		1,145				0	賃金		
対前年度増減	△144	0	△144	0	0	0	0	需用費	119	
H 23 決算	0						0	役務費	10	
事業目的	市内の工業(製造業、加工業)を営む全てのの事業所を対象に、工業活動の実態を明らかにすることを目的に、12月末を基準日に調査。H23から5年ごとに経済センサスを実施し、それ以外の年に工業統計の裾切り調査を実施。				対象者(受益)		備品購入費			
					具体名	企業	補助金			
					人数等		その他	0		
事業内容	事業期間		~	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市			
	【事業期間中の事業内容】									
	調査員による面接調査方法により12月末日を基準日に調査実施。H23から経済センサスを5年毎に実施し、それ以外の年に工業統計調査を実施。調査対象は、従業員3人以下を準備調査のみ(裾切り調査)を実施。									
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		調査対象予定:110社		継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))		-			
	事業効果		国内の工業の実態を明らかにし、産業政策、中小企業政策など、国や都道府県などの地方公共団体の行政施策のための基礎資料となる。							

## 平成25年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円

所管課:	商工労政課	事業名:	就職フェアDM発送事業	予算書頁	151			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	6-1-2		節	③商工業の振興				
	商工業振興費		施策区分	①商工業支援の強化				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	339					339	人件費	339
H24当初予算	0					0	賃金	
対前年度増減	339	0	0	0	0	339	需用費	
H 23 決算	0					0	役務費	
事業目的	就職フェア開催にあたり、就職情報専門業者を活用し、広くPRし、参加者の増加を図り、市内企業への就職者の確保を図る。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	市民等	補助金	
					人数等	-	その他	0
事業内容	事業期間	H25	~	H25	新規・継続の別	新規	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】							
	就職情報サイト登録学生3,000人に平成25年8月開催の就職フェアの案内はがきを直送する。							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		-		継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))		-	
	事業効果	市内事業所への就職が推進され、また、若年層の市外への流出を防ぐ。						

単位:千円

所管課:	商工労政課	事業名:	企業見学バスツアー	予算書頁	152			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	6-1-2		節	③商工業の振興				
	商工業振興費		施策区分	①商工業支援の強化				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	122					122	人件費	122
H24当初予算	0					0	賃金	
対前年度増減	122	0	0	0	0	122	需用費	
H 23 決算	0					0	賃借料	
事業目的	宍粟市内の企業を見学することにより、広く事業内容を知り、興味をもち、地元企業への就職を推進する。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	市民等	補助金	
					人数等	-	その他	0
事業内容	事業期間	H25	~	H25	新規・継続の別	新規	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】							
	中学生を対象に、市内の優良企業2社を見学し、市内企業を周知する。参加者30名							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		-		継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))		-	
	事業効果	子どもたちにもものづくりの現場を実際に見せることにより、地域に学び、共に生きる心や感謝の心を育み自立性の向上と、将来の職業や将来設計を考え、進路に活かすことができる。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(農業委員会)

単位:千円

所管課:	農業委員会事務局	事業名:	農業委員会費	予算書頁	137			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	②活力のある産業が支える豊かなまちづくり				
科目名等:	5-1-1		節	①農業の振興				
	農業委員会費		施策区分	②生産基盤・経営基盤の整備促進				
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	13,656	4,565		305		8,786	報酬	8,856
H24当初予算	13,694	6,975		353		6,366	賃金	2,016
対前年度増減	△ 38	0	△ 2,410	0	△ 48	0	旅費	395
H 23 決算	17,368	7,425		653		9,290	需用費	642
事業目的	農業委員会は、農地行政の厳正かつ適正な執行はもとより農業の構造改革に向けた取組を一層強化し、地域と連携しながら農政の活性化を図り、農業経営の活性化を図ると共に自ら進んで活動する農業委員会を目指す。				対象者(受益)		委託料	681
					具体名	農家・市民	負担金・補助金	568
					人数等	5,074戸	その他	498
事業内容	事業期間	H25		新規・継続の別	継続	実施主体	補助	
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.農地行政(法令事務及び促進事務)の厳正かつ適正な執行(農業委員会総会を毎月1回開催等)</li> <li>2.農家台帳、地図システムの整備</li> <li>3.農地パトロールの実施と耕作放棄地(遊休農地)対策の推進</li> <li>4.優良農地の保全、確保と担い手への農用地利用集積の推進</li> <li>5.農業者年金業務の推進</li> <li>6.地域の世界役活動、相談活動</li> <li>7.情報提供活動(市広報等)</li> <li>8.平成26年7月の農業委員改選に向けての委員定数の見直し。</li> <li>9.農地法第3条下限面積の見直し。</li> </ol>							
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)	農地パトロール実施面積:2,615ha		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)				
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.農業委員会総会毎月1回 年会12回開催</li> <li>2.農地パトロール 年1回(8月～10月実施)</li> <li>3.遊休農地(耕作放棄地)現地確認 年1回(農地パトロールと併せて8月～10月実施)</li> <li>4.農地パトロール結果に基づき管理不十分農地等に指導を行う。(指導通知書の発送)</li> </ol>							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(土木部)

単位:千円

所管課:	建設課	事業名:	急傾斜地崩壊対策事業	予算書頁:	160					
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり						
科目名等:	7-1-1		節	③災害に強いまちづくり(防災体制の充実)						
	土木総務費		施策区分	②基盤整備・地震・風水害対策の強化						
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	15,000			1,500		12,100	1,400	人件費		
H24当初予算	13,150			1,315		6,200	5,635	賃金		
対前年度増減	1,850	0	0	185	0	5,900	△ 4,235	委託料		
H 23 決算	7,350			732		3,900	2,718	工事請負費		
事業目的	傾斜角度が30度以上あるがけ地の崩壊防止工事を行い市民の生命を守る。					対象者(受益)		備品購入費	負担金	15,000
						具体名	事業対象地区			
						人数等	5自治会			
事業内容	事業期間		H25	~	H25	新規・継続の別		継続	実施主体	兵庫県
	【事業期間中の事業内容】									
	《予定箇所》〔一般公共事業債 90%〕 公共事業:3件 波賀町日見谷(5,500千円) 波賀町安賀(2,500千円) 千種町西山(3,500千円) 県単事業:2件 一宮町曲里(2,500千円) 波賀町谷(1,000千円)									
【H25の事業内容】										
事業費の一部負担 公共事業5% 県単事業10%により事業実施										
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)				-		継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))		-	
	事業効果		急傾斜地の崩壊から市民の生命を守るための崩壊防止工事を兵庫県に対して要望し、事業採択を受けた箇所の事業費の5~10%を市が負担する。							

単位:千円

所管課:	建設課	事業名:	道路維持補修費	予算書頁:	162					
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり						
科目名等:	7-2-2		節	②道路網の整備						
	道路維持費		施策区分	②適正な道路管理の推進						
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	84,214		1,500		120	12,000	70,594	共済費	1,810	
H24当初予算	74,642		1,500		118	18,400	54,624	賃金	11,305	
対前年度増減	9,572	0	0	0	2	△ 6,400	15,970	需用費	4,566	
H 23 決算	64,169		7,621		119	10,500	45,929	委託料	3,619	
事業目的	市道における損傷箇所の早急な補修、修繕により安全に通行できるよう維持管理をする。					対象者(受益)		工事請負費	58,184	
						具体名	市民及び道路通行者			
						人数等	-			
事業内容	事業期間		H25	~	H25	新規・継続の別		継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】									
	舗装修繕工事・側溝修繕工事									
【H25の事業内容】										
山崎:7路線 一宮:14路線 波賀:5路線 千種:2路線 防塵舗装工事・市内舗装修繕工事 各町:緊急小規模維持修繕工事 《H24大型補正》山崎:1路線 波賀:1路線 千種:1路線 【H25へ繰越して実施】										
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)				-		継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))		-	
	事業効果		補修・修繕を行うことで道路を良好な状態に保ち、道路通行者の交通の安全性を確保する。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(土木部)

単位:千円

所管課:	建設課	事業名:	簡易除雪機整備事業	予算書頁	164			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり				
科目名等:	7-2-2 道路維持費		節	②道路網の整備				
		施策区分	②適正な道路管理の推進					
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	2,500				1,000	1,500	人件費	
H24当初予算	1,500					1,500	賃金	
対前年度増減	1,000	0	0	0	1,000	0	委託料	
H 23 決算	1,500					1,500	工事請負費	
事業目的	市内の自治会が市道等生活路線の除雪を行うために購入する除雪機の購入費の一部を補助することにより、地域の道路環境の向上を図り、地域住民が安全に暮らせるまちづくりに資する。				対象者(受益)		補助金	2,500
					具体名	市民及び道路通行者		
							その他	0
事業内容	事業期間	H8	～		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】							
	<p>《自治会の簡易除雪機保有台数》H23までの状況                      一宮:1台(補助) 波賀:12台(補助) 千種:13台(市民局より移管) 計:26台                      《合併以後の補助状況》旧波賀町と旧千種町のみ適用 H20～全市に拡大                      H17～H22実績:なし                      H23実績:一宮(河原田)1,500千円                      H24実績:山崎(小茅野)1,344千円 一宮(草木)1,256千円 波賀(道谷)574千円 千種(岩野辺)991千円</p>							
【H25の事業内容】								
H25予定:一宮 1自治会 千種 1自治会								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)				継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))			
	事業効果	市道等生活路線の除雪を行うことで、通学・通勤者及び地域住民の安全通行が確保できる。						

単位:千円

所管課:	建設課	事業名:	道路新設改良事業	予算書頁	164			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり				
科目名等:	7-2-3 道路新設改良費		節	②道路網の整備				
		施策区分	①生活基盤としての道路交通網の整備					
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	550,894	30,500			504,400	15,994	需用費	2,249
H24当初予算	623,359	7,880			559,200	56,279	委託料	68,800
対前年度増減	△ 72,465	22,620	0	0	△ 54,800	△ 40,285	工事請負費	250,600
H 23 決算	254,979	0		25,000	216,800	13,179	用地費	93,409
事業目的	主要な交通手段が自動車である宍粟市において、より快適で利便性の高い道路の新設及び改良を行う。				対象者(受益)		負担金	1,500
					具体名	市民及び道路通行者		
							補償費	132,691
							その他	1,645
事業内容	事業期間	H17	～		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】							
	<p>[地方道路整備事業債 90%] 庄能上牧谷線パイパス                      [合併特例事業債 95%] 首野川堤防道路・高下1号線・神谷三谷線・石ヶ谷宍粟橋線・今宿6号線・高下市場1号線(姫鳥線取付道路)・東下野水源地線・山田下広瀬線・西深線・南線・深河谷線・百千家満学校線・川西線                      [辺地対策事業債 100%] 中野上ノ線・黒原千町線                      [過疎対策事業債ハート 100%] 宮坂線・赤西線・西二連瀬線・有賀カカ線・安賀線・河呂長通線・岩野辺室谷線・西河内池田線・越峠石原線・一坪室谷線・河内川井線・西山室橋線                      [単独事業] 宇原13号線・宇原13号線(2)</p>							
【H25の事業内容】								
計画路線30路線中、工事:14路線 用地買収・物件補償:18路線 測量・調査:8路線 登記:18路線 県委託:1路線 《H24大型補正》一宮:工事1路線 百千家満学校線 【H25へ繰越して実施】								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)				継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))			
	事業効果	渋滞の解消や不通区域解消のため道路を新設し、また幅員狭小箇所や危険箇所を安全に通行できるように改良することにより市民生活の円滑化を図る。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(土木部)

単位:千円

所管課:	建設課	事業名:	橋梁長寿命化修繕計画策定事業	予算書頁:	165			
会計名:	一般会計	章:	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり					
科目名等:	7-2-4 橋梁維持費	総合計画の施策体系:	節: ②道路網の整備					
		施策区分:	①生活基盤としての道路交通網の整備					
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	14,000	8,400				5,600	人件費	
H24当初予算	13,100	7,860				5,240	賃金	
対前年度増減	900	540	0	0	0	360	委託料	14,000
H 23 決算	5,044	3,024				2,020	工事請負費	
事業目的	橋梁の老朽度を調査し、改良(修繕)計画を策定することにより、予防的な修繕や事前の補修を行うことにより、耐用年数の長期化を図る。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	市民及び橋梁通行者	補助金	
					人数等	—	その他	0
事業内容	事業期間	H22	~	H26	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】							
	橋梁延長 2m以上の橋梁(RC橋・PC橋・鋼橋)533を調査し、改良(修繕)計画を策定する。 〔長寿命化修繕計画策定事業補助金 60%〕 平成22年度実施 : 橋梁調査(15m以上) 50橋 平成23年度実施 : 橋梁調査(15m以上) 106橋 平成24年度実施 : 橋梁調査(15m未満) 79橋 平成24年度(補正): 橋梁調査(15m未満) 245橋 平成25年度予定 : 橋梁調査(15m未満) 50橋 平成26年度予定 : 計画策定(15m未満) 374橋 計画策定(15m以上)150橋 詳細設計 修繕工事 6橋 【H25へ繰越して実施】 詳細設計 修繕工事(15m以上)							
【H25の事業内容】								
平成25年度予定:〔橋梁調査〕50橋×150千円=7,500千円 〔詳細設計〕6,500千円 計 14,000千円								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	-			継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))	-		
	事業効果	橋梁の架け替え時期の延長により、総コストの削減を図る。						

単位:千円

所管課:	建設課	事業名:	交通安全施設整備事業	予算書頁:	165			
会計名:	一般会計	章:	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり					
科目名等:	7-2-5 交通安全施設費	総合計画の施策体系:	節: ②道路網の整備					
		施策区分:	①生活基盤としての道路交通網の整備					
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	7,594					7,594	人件費	
H24当初予算	8,550					8,550	賃金	
対前年度増減	△ 956	0	0	0	0	△ 956	需用費	450
H 23 決算	8,146					8,146	委託料	
事業目的	道路交通安全施設の整備を実施し、交通の安全を確保し、交通事故の発生を防止する。				対象者(受益)		工事請負費	5,744
					具体名	市民及び道路通行者	原材料費	1,400
					人数等	—	その他	0
事業内容	事業期間	H24	~	H26	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】							
	《通学路対策箇所》 小学校区 28か所 中学校区 8か所 計 36か所(通学路整備 30か所 道路改良他 6か所) 《道路交通安全施設整備》 H24 実施予定: 38か所(内通学路整備 24か所) H24は経済危機対応・地域活性化国庫事業 12か所 12,900千円〔補助率 50%〕 H25 実施予定: 6か所(内通学路整備 0か所) H26以降 実施予定: 9か所(内通学路整備 6か所)							
【H25の事業内容】								
同上								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	-			継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))	-		
	事業効果	道路交通安全施設に転落防止柵・標識等の設置を行うことで、誰もが安心して利用できる道路の交通環境をつくる。						



# 平成25年度主要施策に係る説明書(土木部)

単位:千円

所管課:	都市整備課	事業名:	市営下比地団地建替事業	予算書頁	172			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり				
科目名等:	7-6-2 住宅建設費		節	⑥住環境の整備(住宅・公園の充実)				
			施策区分	①住宅環境の充実				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	50,874	2,595				48,279	人件費	
H24当初予算	131,960	39,318				92,642	旅費	32
対前年度増減	△ 81,086	△ 36,723	0	0	0	△ 44,363	需用費	472
H 23 決算	6,136	2,801				3,335	役務費	100
事業目的	老朽化の著しい市営下比地A及びB団地の建替(14戸)をおこない、住環境の改善を図る。				対象者(受益)		工事請負費	50,000
					具体名	市営住宅入居者	負担金	270
					人数等	14戸	その他	0
事業内容	事業期間	H23	~	H25	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】 下比地団地2棟14戸建設、駐車場14台・外構整備、下比地A団地・B団地除却 総事業費: 270,663千円 財源内訳(国庫 100,709千円、一財 169,954千円) 構造等: 鉄筋コンクリート造2階建《1号棟:2DK×6戸、2号棟:3LDK×2戸+2DK×6戸》 ※H24補正による執行 事業費:112,000千円 財源内訳(国庫 56,000千円、一財 56,000千円) 【H25の事業内容(H24補正も含む)】 2号棟建設工事、工事監理業務(建築面積:312.6㎡、延床面積:522.5㎡) 駐車場整備8台、B団地除却7戸、A団地除却10戸							
	事業に係る目標 (数値目標)	建替整備計画による建替戸数 108/108 (100%)		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)		100%		
事業効果	市営下比地A団地(10戸)は昭和33年、同B団地(10戸)は昭和44~45年の建設で老朽化が著しく、また戸当たり面積も30~34㎡で良好な居住環境ではないため、これらを集約建替し、下比地団地における住環境水準の向上を図る。							

単位:千円

所管課:	都市整備課	事業名:	夢公園東屋設置工事	予算書頁	169			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり				
科目名等:	7-4-3 公園費		節	⑥住環境の整備(住宅・公園の充実)				
			施策区分	②公園・緑地の整備促進				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	3,000					3,000	人件費	
H24当初予算	0					0	賃金	
対前年度増減	3,000	0	0	0	0	3,000	委託料	
H 23 決算	0					0	工事請負費	3,000
事業目的	公園内環境の充実を図る。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	公園来訪者	補助金	
					人数等	—	その他	0
事業内容	事業期間	H25	~	H25	新規・継続の別	新規	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】 東屋設置:1基(約9㎡) 【H25の事業内容】 同上							
	事業に係る目標 (数値目標)	100%		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)		100%		
事業効果	当エリアは、夢公園の池や遊具周辺に位置し、小さなお子さんの人気エリアとなっており、それを守る市民のコミュニケーションの場や、また、特に夏場には熱中症を防ぐ日陰の役割として寄与する。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(水道部)

単位:千円

所管課:	管理課	事業名:	福祉世帯水道料金等助成事業			予算書頁	90		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり					
科目名等:	3-1-1		節	⑥地域福祉の充実					
	社会福祉総務費		施策区分	①地域福祉の推進					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	19,205						19,205	人件費	
H24当初予算	28,665						28,665	賃金	
対前年度増減	△ 9,460	0	0	0	0	0	△ 9,460	委託料	
H23決算	6,293						6,293	工事請負費	
事業目的	福祉世帯に係る水道料金等の一部を助成することにより、福祉世帯の経済的負担を軽減し、もってその福祉の向上に寄与する。					対象者(受益)		補助金	19,205
						具体名	福祉世帯		
						人数等	950世帯		
事業内容	事業期間	H23	~	H25	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】								
	市民税が非課税の世帯(生活保護法の適用を受けている世帯を除く。)で、高齢者世帯・障がいのある者が属する世帯・ひとり親世帯・水道使用量が少ない世帯に対して、水道料金と下水道使用料の基本料金の一部を助成する。 【H25の事業内容】 対象福祉世帯に、水道料金及び下水道使用料の基本料金の一部を助成する。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	950世帯			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	—			
	事業効果	福祉世帯に係る水道料金等の一部を助成することにより、その福祉世帯の経済的負担が軽減され、結果福祉の向上が図れる。							

単位:千円

所管課:	管理課・上下水道課	事業名:	地域生活排水施設事業(コミュニティプラント施設管理)			予算書頁	133			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり						
科目名等:	4-2-5		節	⑥住環境の整備(上下水道の整備)						
	地域生活排水施設費		施策区分	③下水道施設の維持管理・水質保全						
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	141,934				140,135		1,799	人件費		
H24当初予算	130,824				130,824		0	需用費	59,301	
対前年度増減	11,110	0	0	0	9,311	0	1,799	役務費	11,351	
H23決算	122,862				122,862		0	委託料	67,804	
事業目的	公共水域の水質保全及び生活環境の改善を目的として、施設の維持管理に努め、市民生活の向上に寄与する。					対象者(受益)		工事請負費	補助金	2,540
						具体名	区域内受益者			
						人数等	9,414人			
事業内容	事業期間	H17	~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】									
	・施設の維持管理を適切かつ効率的に行うため、通常管理を業者委託により実施するとともに、接続率の向上を図る。 ・施設数 処理場10カ所(山崎4カ所、一宮2カ所、波賀4カ所)、中継ポンプ数140カ所(山崎90カ所、一宮23カ所、波賀27カ所) 【H25の事業内容】 管理委託料52,500千円・脱水污泥処分委託12,884千円、光熱水費36,796千円、施設修繕料17,285千円、通信運搬費4,158千円、水質検査手数料1,796千円、污泥処理手数料4,863千円等									
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	維持管理費回収率100%			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	—				
	事業効果	・適正な維持管理を実施することにより、公共水域の水質保全が図れる。 ・接続率の向上により、生活環境の改善による市民生活の向上が図れる。								

# 平成25年度主要施策に係る説明書(水道部)

単位:千円

所管課:	上下水道課	事業名:	地域生活排水施設事業(コミュニティプラント施設)	予算書頁	135			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり				
科目名等:	4-2-5		節	⑥住環境の整備(上下水道の整備)				
	地域生活排水施設費		施策区分	③下水道施設の維持管理・水質保全				
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	8,400		2,624	3,876	1,900	0	人件費	
H24当初予算	9,200		2,624	4,676	1,900	0	賃金	
対前年度増減	△ 800	0	0	△ 800	0	0	委託料	
H23決算	3,907		945	2,262	700	0	工事請負費	8,400
事業目的	・公共水域の水質保全及び生活環境の改善を目的として、コミュニティプラント区域の下水道整備を実施する。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	区域内受益者	補助金	
					人数等	9,414人	その他	0
事業内容	事業期間	H17	～	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】							
	・新規申し込み等にに伴い(公共ます等未設置地域)、枝線工事や公共ます設置工事を実施することにより、下水道への接続率を向上させ、生活環境の改善を図る。							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		接続率95.0%		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		—	
	事業効果	・公共ますの設置によりコミュニティ・プラント施設への接続が可能となり、市民の生活環境の改善が図られる。						
	【H25の事業内容】							
・公共ます設置工事5,250千円(10箇所)・マンホールポンプ等移設工事3,150千円								

単位:千円

所管課:	管理課・上下水道課	事業名:	合併浄化槽の管理設置事業	予算書頁	135			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり				
科目名等:	4-2-5		節	⑥住環境の整備(上下水道の整備)				
	地域生活排水施設費		施策区分	③下水道施設の維持管理・水質保全				
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	17,876	553		927		16,396	人件費	
H24当初予算	19,568	1,106		923		17,539	賃金	
対前年度増減	△ 1,692	△ 553	0	0	4	△ 1,143	委託料	420
H23決算	16,130	264		736		15,130	工事請負費	
事業目的	・集合処理区域外の地域において公共水域の水質保全及び生活環境の改善を目的とし、合併処理浄化槽整備区域内の設置者に対し補助金を交付し、整備率の向上を図る。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	区域内受益者	補助金	17,023
					人数等	1,356人	その他	433
事業内容	事業期間	H17	～	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】							
	・単独処理地区の合併浄化槽に対し、設置補助及び維持管理の一部を補助する。また、旧波賀町の維持管理協議会に助成する。							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		接続率100%		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		—	
	事業効果	・合併浄化槽の維持管理費の一部を助成し適正な維持管理を実施することにより、公共水域の水質保全が図れる。また、生活環境の改善による市民生活の向上が図れる。						
	【H25の事業内容】							
・浄化槽保守点検業務委託料420千円、合併浄化槽維持管理協議会助成金1,550千円、合併処理浄化槽維持管理補助金11,500千円、合併浄化槽設置事業補助金1,660千円、素麺前処理槽維持管理補助金2,300千円								

# 平成25年度主要施策に係る説明書(水道部)

単位:千円

所管課:	管理課	事業名:	簡易水道事業の法適用化・システム改良事業			予算書頁	16			
会計名:	簡易水道会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり						
科目名等:	1-1-1		節	⑥住環境の整備(上下水道の整備)						
	水道管理費		施策区分	②水道事業の健全な財政運営						
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	4,515				2,258		2,257	人件費		
H24当初予算	4,172				2,086		2,086	賃金		
対前年度増減	343	0	0	0	172	0	171	委託料	4,515	
H23決算	2,055				802		1,253	工事請負費		
事業目的	・簡易水道事業の水道事業への統合と、公営企業法による法適用会計への移行を行う。					対象者(受益)		補助金	その他	0
						具体名	簡水使用者			
						人数等	17,592人			
事業内容	事業期間	H23	~	H25	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】									
	・簡易水道会計を法適用会計にするための資産評価を実施する。 H23~24実績 資産評価業務委託料(H23: 1,603千円 H24: 4,172千円)									
【H25の事業内容】										
・企業会計システム改修業務委託料2,573千円・固定資産システム改修業務委託料1,942千円										
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	—			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	—				
	事業効果	・企業会計による経営状況の明確化、企業経営による予算等の弾力化、適切な経費負担区分を前提とした独立採算制による経営意識の向上に努めるとともに、時代に適応した会計処理を行うことにより、財政の健全化を図れる。								

単位:千円

所管課:	管理課・上下水道課	事業名:	簡易水道施設維持管理事業			予算書頁	17			
会計名:	簡易水道会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり						
科目名等:	1-2-1		節	⑥住環境の整備(上下水道の整備)						
	水道施設維持費		施策区分	②水道事業の健全な財政運営						
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	197,105				18,901		178,204	人件費		
H24当初予算	188,865				9,545		179,320	需用費	63,679	
対前年度増減	8,240	0	0	0	9,356	0	△ 1,116	役務費	11,223	
H23決算	183,869				7,178		176,691	委託料	100,638	
事業目的	・浄水施設及び配水施設を効率的かつ安全に運転するとともに、各施設を適正に維持管理することにより、水質基準に適合した安全で安心な水道水を供給する。					対象者(受益)		工事請負費	補助金	その他
						具体名	簡水使用者			
						人数等	17,592人			
事業内容	事業期間	H17	~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】									
	・浄水場を始め、各水道施設の適正な管理のため運転管理を業者委託により実施するとともに、安全で安心な水道水の供給と接続率の向上を図る。 施設数 浄水場17施設(急速ろ過式9施設 緩速ろ過式5施設 膜ろ過式3施設) 場外施設129施設(水源17施設、ポンプ場36施設、配水池34施設、減圧槽・減圧弁42施設)									
【H25の事業内容】										
・水道施設維持管理委託料 96,012千円、電気代41,806千円、修繕料 20,852千円、テレメータ専用料9,350千円、水質検査料1,040千円、配水管等修繕用材料費5,495千円、水道施設等維持工事費16,000千円										
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	有収率76.0%			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	—				
	事業効果	・効率的で安定した安全な水道水の供給を供給することにより、住民の生活環境の向上が図れる。								

# 平成25年度主要施策に係る説明書(水道部)

単位:千円

所管課:	上下水道課	事業名:	水道施設遠方監視システム整備事業			予算書頁	19	
会計名:	簡易水道会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり				
科目名等:	1-2-2		節	⑥住環境の整備(上下水道の整備)				
	水道施設整備費		施策区分	①安定供給体制の確立				
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	10,400	2,300	0	0		8,100	0	人件費
H24当初予算	27,048	6,750				20,200	98	賃金
対前年度増減	△ 16,648	△ 4,450	0	0	0	△ 12,100	△ 98	委託料 1,200
H23決算							0	工事請負費 9,200
事業目的	宍粟市で管理している水道施設を市の光通信ネットワークを利用して上寺浄水場や本庁、各市民局で遠隔監視できる機能を整備し、異常の早期発見や迅速な対応を可能とする。					対象者(受益)		備品購入費
						具体名	市民	補助金
						人数等	41,330	その他
事業内容	事業期間	H24	～	H28	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】 宍粟市水道施設遠方監視システム整備事業 H24～25 一宮管内水道施設整備工事 H26 波賀管内水道施設整備工事 H27 山崎管内水道施設整備工事 H28 千種管内水道施設整備工事 総事業費 353,948 千円							
	【H25の事業内容】 一宮管内水道施設遠方監視システム整備工事 9,200千円 設計監理業務 1,200千円							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	—			継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))	—		
	事業効果	宍粟市内の水道施設を上寺浄水場や本庁、各市民局で遠隔監視できることから施設異常の早期発見や対応が迅速にできる。 また、NTT専用回線使用料が減額されることによるランニングコストの削減が見込める。						

単位:千円

所管課:	上下水道課	事業名:	一宮、波賀管内簡易水道施設整備事業			予算書頁	19	
会計名:	簡易水道会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり				
科目名等:	1-2-2		節	⑥住環境の整備(上下水道の整備)				
	水道施設整備費		施策区分	①安定供給体制の確立				
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	47,200	11,000				36,200	0	人件費
H24当初予算	15,000					15,000	0	賃金
対前年度増減	32,200	11,000	0	0	0	21,200	0	委託料 3,200
H23決算							0	工事請負費 44,000
事業目的	簡易水道統合整備計画及び宍粟市水道基本計画に基づき、一宮、波賀管内簡易水道等の老朽水道施設の更新改良工事を実施することにより、効率的な維持管理と安定した給水を図る。					対象者(受益)		備品購入費
						具体名	区域内受益者	補助金
						人数等	13,594人	その他
事業内容	事業期間	H24	～	H28	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】 一宮、波賀簡易水道等施設電気機械設備更新改良工事 (ポンプ、計装機器、水位計、濁度計、残塩計、PH計等) 実施設計監理業務 総事業費 319,450 千円							
	【H25の事業内容】 一宮、波賀簡易水道等施設機械設備更新工事 44,000 千円 実施設計監理業務 3,200 千円							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	—			継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))	—		
	事業効果	一宮、波賀管内の市営水道施設の15年以上経過し、老朽化した機器を更新することにより、安全で安定した給水が図れる。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(水道部)

単位:千円

所管課:	管理課・上下水道課	事業名:	下水道施設管理事業(公共及び特定環境保全公共下水道事業)			予算書頁	15	
会計名:	下水道会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり				
科目名等:	1-1-1		節	⑥住環境の整備(上下水道の整備)				
	下水道管理費		施策区分	③下水道施設の維持管理・水質保全				
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	303,765				320		303,445	人件費
H24当初予算	273,368				320		273,048	需用費 66,690
対前年度増減	30,397	0	0	0	0	0	30,397	役務費 13,699
H23決算	299,674				257		299,417	委託料 98,658
事業目的	・公共水域の水質保全及び生活環境の改善を目的として、施設の適正な維持管理に努め、市民生活の向上に寄与する。				対象者(受益)		補助金	87,872
					具体名	区域内受益者	公課費	35,488
					人数等	23,141人	その他	1,358
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】 施設の維持管理を適切かつ効率的に行うため、通常管理を業者委託により実施するとともに、接続率の向上を図る。 ・施設数 処理場10ヵ所(山崎1ヵ所、一宮2ヵ所、波賀5ヵ所、千種2ヵ所)、中継ポンプ217箇所(山崎88ヵ所、一宮45ヵ所、波賀55ヵ所、千種29ヵ所)							
	【H25の事業内容】 ・施設維持管理委託68,375千円、脱水污泥処分委託14,039千円、受益者負担金一括納付報奨金500千円、光熱水費38,689千円、施設等修繕料22,148千円、通信運搬費8,341千円、水質検査手数料4,553千円、流域下水道維持管理負担金83,884千円、素麺前処理槽変更工事補助金3,810千円(15箇所)、消費税35,212千円等							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	維持管理費回収率100%		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	—			
	事業効果	・適正な維持管理を実施することにより、公共水域の水質保全が図れる。また、生活環境の改善による市民生活の向上が図れる。						

単位:千円

所管課:	上下水道課	事業名:	下水道施設遠方監視システム整備事業			予算書頁	16	
会計名:	下水道会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり				
科目名等:	1-1-1		節	⑥住環境の整備(上下水道の整備)				
	下水道管理費		施策区分	③下水道施設の維持管理・水質保全				
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	12,600	6,300		0			6,300	人件費
H24当初予算	0			0		0	0	賃金
対前年度増減	12,600	6,300	0	0	0	0	6,300	委託料 12,600
H23決算	0						0	工事請負費
事業目的	千種中央浄化センターの遠方監視操作システムは、設置後13年を経過し経年劣化が著しく、また部品等のメーカー保守期限も切れており、取替え部品の調達もできないことから、システム改良を伴う機器の更新工事を実施し、安定した下水処理を行うことを目的とする。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	区域内受益者	補助金	
					人数等	1,870人	その他	0
事業内容	事業期間	H25 ~ H27		新規・継続の別	新規	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】 H25 下水道長寿命化計画策定業務 H26 遠方監視システム改良工事及び実施設計業務 H27 遠方監視システム改良工事及び設計監理業務 総事業費 232,800 千円							
	【H25の事業内容】 下水道長寿命化計画策定 12,600 千円							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	—		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	—			
	事業効果	千種中央浄化センターの監視システムを更新することにより異常時の早期対応ができ、円滑な維持管理ができるとともに、安定した下水処理により公共用水域の水質保全に資する。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(水道部)

単位:千円

所管課:	管理課	事業名:	流域下水道事業				予算書頁	18
会計名:	下水道会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり				
科目名等:	1-2-1		節	⑥住環境の整備(上下水道の整備)				
	流域下水道事業費		施策区分	③下水道施設の維持管理・水質保全				
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	31,631			1,200	6,331	24,100	0	人件費
H24当初予算	55,174			1,200	7,374	46,600	0	賃金
対前年度増減	△ 23,543	0	0	0	△ 1,043	△ 22,500	0	委託料
H23決算	25,004			6,874	2,930	15,200	0	工事請負費
事業目的	・公共水域の水質保全及び生活環境の改善を目的として、兵庫県揖保川流域下水道施設及び汚泥処理施設建設費の一部を負担し、市民生活の向上に寄与する。					対象者(受益)		備品購入費 負担金 31,631 その他 0
						具体名	区域内受益者	
						人数等	12,978人	
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別		継続		実施主体
	兵庫県							
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>・兵庫県の施設整備計画に基づき、受益市町(姫路市・たつの市・宍粟市・太子町)において前期及び後期の2回に分けて負担金の支払いを行う。</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>流域下水道事業費補助事業分24,126千円・兵庫西エース継成分7,427千円等</p>							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)			—		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		—
	事業効果	・計画的な施設整備工事の費用を一部負担することにより、市民生活の向上及び播磨灘の水質保全が図れる。						

単位:千円

所管課:	上下水道課	事業名:	公共下水道事業費				予算書頁	18
会計名:	下水道会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり				
科目名等:	1-3-1		節	⑥住環境の整備(上下水道の整備)				
	公共下水道事業費		施策区分	③下水道施設の維持管理・水質保全				
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	10,920			400	220	10,300	0	人件費
H24当初予算	7,900			400		7,500	0	賃金
対前年度増減	3,020	0	0	0	220	2,800	0	委託料
H23決算	10,792			540		10,200	52	工事請負費 10,920
事業目的	・公共水域の水質保全及び生活環境の改善を目的として、公共下水道区域の下水道整備を実施する。					対象者(受益)		備品購入費 補助金 その他 0
						具体名	区域内受益者	
						人数等	8,904人	
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別		継続		実施主体
	宍粟市							
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>・新規申し込み等にに伴い(公共ます等未設置地域)、枝線工事や公共ます設置工事を実施することにより、下水道への接続率を向上させ、生活環境の改善を図る。</p> <p>・県道及び市道改良に伴い、支障となる下水道管の移設等をする。</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>・新規加入及び県道・市道改良に伴う管路等新設工事7,770千円</p> <p>・公共ます設置工事3,150千円(6箇所)</p>							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)			接続率90.0%		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		—
	事業効果	・公共樹の設置により公共下水道の接続が可能となり、市民の生活環境の改善が図られる。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(水道部)

単位:千円

所管課:	上下水道課	事業名:	上溝雨水幹線整備事業				予算書頁	18
会計名:	下水道会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり				
科目名等:	1-3-1		節	⑥住環境の整備(上下水道の整備)				
	公共下水道事業費		施策区分	③下水道施設の維持管理・水質保全				
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	15,000	2,500			10,000	2,500	0	人件費
H24当初予算	0						0	賃金
対前年度増減	15,000	2,500	0	0	10,000	2,500	0	委託料 15,000
H23決算	0						0	工事請負費
事業目的	宍粟市山崎地内の雨水の適切な排水及び内水氾濫の防止を目的とする。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	区域内受益者	補助金	
					人数等	1,000人	その他 0	
事業内容	事業期間	H25	~	H30	新規・継続の別	新規	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】 H25 用地交渉 実施基本計画の策定及び実施設計業務 H26 用地交渉及び買収 H27~ 上溝雨水幹線工事 工事支障となるNTT移設補償工事 総事業費 495,000千円 【H25の事業内容】 用地交渉 実施基本計画の策定及び実施設計 15,000千円							
	事業に係る目標(数値目標)	-			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-		
成果目標・事業効果	事業効果	宍粟市山崎地内の雨水の適切な排水及び内水氾濫の防止が図れる。						

単位:千円

所管課:	上下水道課	事業名:	特定環境保全公共下水道事業				予算書頁	19
会計名:	下水道会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり				
科目名等:	1-4-1		節	⑥住環境の整備(上下水道の整備)				
	特定環境公共下水道事業費		施策区分	③下水道施設の維持管理・水質保全				
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	22,755			2,312	11,743	8,700	0	人件費
H24当初予算	18,125			2,312	6,613	9,200	0	賃金
対前年度増減	4,630	0	0	0	5,130	△ 500	0	委託料
H23決算	5,941			1,372	3,269	1,300	0	工事請負費 22,755
事業目的	公共水域の水質保全及び生活環境の改善を目的として、特定環境保全公共下水道区域の下水道整備を実施する。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	区域内受益者	補助金	
					人数等	14,237人	その他 0	
事業内容	事業期間	H17	~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】 ・新規申し込み等にに伴い(公共ます等未設置区域)、枝線工事や公共ます設置工事を実施することにより、下水道への接続率を向上させ、生活環境の改善を図る。 ・県道及び市道改良に伴い、支障となる下水道管の移設等をする。 【H25の事業内容】 ・新規加入及び県道・市道改良に伴う管路等新設工事3,150千円・公共ます設置工事7,350千円(14箇所)・県道改良に伴う管路移設工事2,520千円・マンホールポンプ制御盤移設工事4,935千円等							
	事業に係る目標(数値目標)	接続率93.0%			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-		
成果目標・事業効果	事業効果	公共樹の設置により特定環境公共下水道の接続が可能となり、市民の生活環境の改善が図られる。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(水道部)

単位:千円

所管課:	管理課・上下水道課	事業名:	農業集落排水処理施設管理事業(集排施設及び小規模施設)				予算書頁	15	
会計名:	農業集落排水会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり					
科目名等:	1-1-1		節	⑥住環境の整備(上下水道の整備)					
	排水施設管理費		施策区分	③下水道施設の維持管理・水質保全					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	160,393				39,153		121,240	人件費	
H24当初予算	155,872		5,000		26,097		124,775	需用費	50,144
対前年度増減	4,521	0	△ 5,000	0	13,056	0	△ 3,535	役務費	23,187
H23決算	201,314		42,000		47,455		111,859	委託料	70,318
事業目的	公共水域の水質保全及び生活環境の改善を目的として、施設の適正な維持管理に努め、市民生活の向上に寄与する。					対象者(受益)		補助金	2,107
						具体名	区域内受益者	公課費	14,342
						人数等	8,287人	その他	295
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の維持管理を適切かつ効率的に行うため、通常管理を業者委託により実施するとともに、接続率の向上を図る。</li> <li>施設数 処理場22カ所(山崎9カ所、一宮3カ所、波賀3カ所、千種7カ所)、中継ポンプ数173カ所(山崎96カ所、一宮22カ所、波賀12カ所、千種43カ所)</li> </ul> <p>【H25の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設維持管理委託68,889千円、光熱水費37,786千円、施設修繕料10,400千円、通信運搬費2,842千円、水質検査手数料4,640千円、汚泥処理手数料15,492千円、消費税14,334千円等</li> </ul>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	維持管理費回収率60.0%			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	—			
	事業効果	適正な維持管理を実施することにより、公共水域の水質保全が図れる。また、生活環境の改善による市民生活の向上が図れる。							

単位:千円

所管課:	管理課・上下水道課	事業名:	農業集落排水事業(集排及び小規模)				予算書頁	16	
会計名:	農業集落排水会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり					
科目名等:	1-1-1		節	⑥住環境の整備(上下水道の整備)					
	排水施設管理費		施策区分	③下水道施設の維持管理・水質保全					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	8,925			3,411	2,114	3,400	0	人件費	
H24当初予算	6,050			2,098	1,852	2,100	0	賃金	
対前年度増減	2,875	0	0	1,313	262	1,300	0	委託料	
H23決算	2,871			1,435	36	1,400	0	工事請負費	8,925
事業目的	公共水域の水質保全及び生活環境の改善を目的として、農業集落排水事業区域の排水管等整備を実施する。					対象者(受益)		備品購入費	
						具体名	区域内受益者	補助金	
						人数等	8,287人	その他	0
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規申し込み等にに伴い(公共ます等未設置区域)、枝線工事や公共ます設置工事を実施することにより、農業排水等への接続率を向上させ、生活環境の改善を図る。</li> <li>県道及び市道改良に伴い、支障となる排水管の移設等をする。</li> </ul> <p>【H25の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規加入及び県道・市道改良に伴う管路等新設工事2,625千円・公共ます設置工事4,200千円(8箇所)</li> <li>マンホール調整工事2,100千円</li> </ul>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	接続率96.0%			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	—			
	事業効果	公共ますの設置により農業集落排水処理施設及び小規模集合処理施設への接続が可能となり、市民の生活環境の改善が図られる。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(水道部)

単位:千円

所管課:	管理課・上下水道課	事業名:	上水道(浄水・配水)施設維持管理事業				予算書頁	7	
会計名:	水道事業会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり					
科目名等:	1-1-1・2・4		節	⑥住環境の整備(上下水道の整備)					
	原浄水・給配水費		施策区分	②水道事業の健全な財政運営					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	119,928				4,112		115,816	人件費	
H24当初予算	117,429				4,106		113,323	需用費	55,735
対前年度増減	2,499	0	0	0	6	0	2,493	役務費	5,285
H23決算	101,997				3,206		98,791	委託料	47,550
事業目的	浄水施設及び配水施設を効率的かつ安全に運転するとともに、各施設を適正に維持管理することにより、水質基準に適合した安全で安心な水道水を供給する。				対象者(受益)		材料費	4,707	
					具体名	上水使用者	負担金	3,376	
					人数等	23,738人	その他	3,275	
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】 浄水場を始め、各水道施設の適正な維持管理のため運転管理を業者委託により実施するとともに、安全で安心な水道水の供給と有収率の向上を図る。 施設数 浄水場1施設(急速ろ過式1施設)、取水場1施設、配水池19施設、ポンプ場25施設、減圧槽・減圧弁10施設								
	【H25の事業内容】 浄水場等運転管理業務40,919千円・浄水場等電気計装設備保守点検業務1,456千円・高圧電気設備保守点検業務 480千円・脱水污泥収集運搬処分委託業務 3,497千円・水質検査業務(原水)、水質検査業務(浄水) 配水系統別 毎月検査 9箇所、年2回検査 2箇所 2,585千円・配給水管等修繕 14,201千円・水質計修繕用材料費4,707千円								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	有収率90%			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	効率的で安定した安全な水道水の供給を供給することにより、住民の生活環境の向上が図れる。							

単位:千円

所管課:	上下水道課	事業名:	配水管布設事業				予算書頁	15	
会計名:	水道事業会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり					
科目名等:	1-1-1		節	⑥住環境の整備(上下水道の整備)					
	配水施設工事費(建設改良)		施策区分	①安定供給体制の確立					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	47,400				4,910	38,000	4,490	人件費	
H24当初予算	81,451				1,550	42,000	37,901	賃金	
対前年度増減	△ 34,051	0	0	0	3,360	△ 4,000	△ 33,411	委託料	1,050
H23決算	29,880				6,491	10,500	12,889	工事請負費	46,350
事業目的	上水道区域内の、配水管等の更新・改良により、水道水の融通機能を高めることにより、安定供給と効率化を図る。				対象者(受益)		備品購入費		
					具体名	上水使用者	補助金		
					人数等	23,738人	その他	0	
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】 老朽した配水管や、水管橋を計画的に更新するとともに、道路改良等で支障がある場合に移設改良を行い、水道水の安定供給を図る。								
	【H25の事業内容】 特設給配水管敷設工事3,000千円、老朽管・水管橋等更新工事33,900千円、水道管移設工事6,300千円、水管橋架替工事3,150千円、老朽水管橋設計委託料1,050千円								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	-			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	老朽管等改良工事に伴い、効率的に安全で安定した水道水の供給を図ると共に、支障水道管の移設により県道路事業の円滑な進捗が図れる。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(水道部)

単位:千円

所管課:	上下水道課	事業名:	上寺浄水場第2期改良事業				予算書頁	15		
会計名:	水道事業会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり						
科目名等:	1-1-1		節	⑥住環境の整備(上下水道の整備)						
	配水施設工事費		施策区分	①安定供給体制の確立						
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	12,600	0	0	0	0	8,800	3,800	人件費		
H24当初予算	0	0			0		0	賃金		
対前年度増減	12,600	0	0	0	0	8,800	3,800	委託料	12,600	
H23決算							0	工事請負費	0	
事業目的	上寺浄水場の老朽化した電気機械設備の更新を行い、安全で安定した上水道の供給を図る。					対象者(受益)		補助金	その他	
						具体名	上水使用者			
						人数等	23,738人			
事業内容	事業期間	H25	~	H28	新規・継続の別	新規	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】 上寺浄水場の老朽化した電気機械設備の更新を行い、安全で安定した上水道の供給を図る。 上寺浄水場第2期改良工事 送水施設制御盤改修工事 ポンプ施設改修工事 発電設備改修工事 総事業費 340,200千円									
	【H25の事業内容】 上寺浄水場第2期改良工事設計監理業務 12,600千円									
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	—				継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	—			
	事業効果	山崎上水道浄水場の30年以上経過し老朽化した送水設備、ポンプ設備及び発電機等を更新することにより、安全で安定した給水を図る。								

単位:千円

所管課:	上下水道課	事業名:	上水道水源確保事業				予算書頁	15		
会計名:	水道事業会計	総合計画の施策体系:	章	⑤快適な生活と交流を支える活力あるまちづくり						
科目名等:	1-1-1		節	⑥住環境の整備(上下水道の整備)						
	配水施設工事費(建設改良)		施策区分	①安定供給体制の確立						
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	20,000						20,000	人件費		
H24当初予算	158,200					110,700	47,500	賃金		
対前年度増減	△ 138,200	0	0	0	0	△ 110,700	△ 27,500	委託料	20,000	
H23決算	4,700						4,700	工事請負費		
事業目的	水道水の安定供給や災害に強いまちづくりのために老朽化の著しい今宿取水場水源の複数化をめざして、水源確保のための水源調査を実施する。					対象者(受益)		補助金	その他	
						具体名	上水使用者			
						人数等	23,738人			
事業内容	事業期間	H23	~	H28	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】 ・水源の複数化を図るとともに、水量が安定して供給できる井戸の建設を目指す。 平成23年度:水源調査業務 平成24年度:水源調査業務 平成26年度:水源地・ポンプ場建設工事・用地買収 平成27年度:ポンプ場及び導水管布設工事 平成28年度:ポンプ場及び導水管布設工事 合計1,750,000千円									
	【H25の事業内容】 調査設計及び概略設計 20,000千円									
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	—				継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	—			
	事業効果	老朽化の著しい今宿取水場の複数化を目指すことにより、水道水の供給の安定と災害等に強いまちづくりが図られる。								

# 平成25年度主要施策に係る説明書(教育部)

単位:千円

所管課:	教育総務課	事業名:	学校規模適正化推進事業	予算書頁	183				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり					
科目名等:	9-1-2		節	②学校教育の充実					
	事務局費		施策区分	①生きる力を育てる学校教育の推進					
予算額等		財源内訳				25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	976						976	報償費	704
H24当初予算	1,161					700	461	需用費	103
対前年度増減	△ 185	0	0	0	0	△ 700	515	役務費	72
H23決算	3,986						3,986	使用料及び賃借料	97
事業目的	児童数の減少により適正な集団規模が図れない状況にあることから、校区の見直しを行い新たな小学校区による適正な人数を確保しようとするもの。				対象者(受益)				
					具体名	児童(H25見込)			
					人数等	約1,200人			
事業内容	事業期間	H21	～	H30	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>平成21年度より10年間を計画期間とし、学級人数25人、学校人数150人以上を一定目標とした学校規模の適正化を図る。平成27年までに複式学級の編成が見込まれる学校を含む新校区3校区、完全複式学級の編成が見込まれる学校を含む新校区2校の計5校を優先実施校区として取り組む。その他2校区についても地域協議を実施する。</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>新校区2校の適正化の実施に向け、地区別協議会に移行し協議するとともに、適正化に向けた環境整備を行う。</p> <p>新校区4校の適正化の推進に向け、引き続き地域の委員会で協議する。</p>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	2校区(28.6%)			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	42.9%			
	事業効果	適正な集団規模を確保することで、より良い教育環境の提供が図れる。							

単位:千円

所管課:	教育総務課	事業名:	外国語青年招致事業	予算書頁	185				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり					
科目名等:	9-1-3		節	②学校教育の充実					
	教育振興費		施策区分	①生きる力を育てる学校教育の推進					
予算額等		財源内訳				25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	33,840						33,840	共済費	3,943
H24当初予算	34,792						34,792	報償費	25,104
対前年度増減	△ 952	0	0	0	0	0	△ 952	旅費	2,327
H23決算	33,878						33,878	備品購入費	30
事業目的	市内中学校に外国語指導助手(ALT)を配置し、学校教育における英語教育の充実及び国際理解教育の推進に向け、生徒の英語学習の意欲・関心の向上を支援する。				対象者(受益)		負担金補助金		2,366
					具体名	生徒・児童			
					人数等	約3,500人			
事業内容	事業期間	H25		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>(財)自治体国際化協会による外国語青年招致事業により外国語指導助手を招致し、中学校における英語授業の補助、外国語教材作成及び外国語能力コンテスト等への協力、また小学校における外国語会話学習の補助等として活用する。</p> <p>〔市内各中学校に1名:計7名〕</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>同上</p>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	—			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	—			
	事業効果	中学生の英語授業に対する学習意欲の向上、また小学生に英会話学習への関心を持たせることにより、英語教育の充実及び国際理解教育の推進を図る。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(教育部)

単位:千円

所管課:	教育総務課	事業名:	山崎小学校校舎改築事業	予算書頁	193			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり				
科目名等:	9-2-3		節	②学校教育の充実				
	施設整備費(小学校)		施策区分	②安心して学べる教育環境の創出				
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	6,387	0			0	6,387	人件費	
H24当初予算						0	役務費	1,722
対前年度増減	6,387	0	0	0	0	6,387	委託料	
H23決算	34					34	工事請負費	
事業目的	児童生徒の学習の場として、また地域の人々の社会教育等を基本としたコミュニティの場となる同小校舎を改築して教育環境の充実を図ることを目的とする。					対象者(受益)		備品購入費 補助金 その他
						具体名	児童	
						人数等	477人	
事業内容	事業期間	H23	~	H25	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】 総事業費:1,331,555千円【財源内訳】国庫320,000千円、起債1,001,400千円、一財10,155千円 ※ H24はH23からの繰越事業費により執行							
	H24からの繰越事業費:968,050千円【財源内訳】国費260,000千円、起債708,000千円、一財50千円 【事業費内訳】委託料7,010千円、工事請負費961,040千円 ○改築後施設規模等: 校舎 RC造3階建5,542㎡ 【H25の事業内容】 工事監理、校舎新築工事、仮設校舎撤去							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	改築後の市内小中学校耐震化率(H26.3.31) 94.9%		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		H25年3月末現在 92.8%		
	事業効果	同小校舎は昭和35年建設(H1改修、H12耐震補強)、北校舎は昭和48年建設(耐震性なし)で老朽化が著しく、良好な教育環境ではないことから、これを改築することにより教育環境の充実を図る。						

単位:千円

所管課:	教育総務課	事業名:	城下小学校南校舎耐震補強・改修事業	予算書頁	193			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり				
科目名等:	9-2-3		節	②学校教育の充実				
	施設整備費(小学校)		施策区分	②安心して学べる教育環境の創出				
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	0	0			0	0	人件費	
H24当初予算	75					75	役務費	
対前年度増減	△ 75	0	0	0	0	△ 75	委託料	
H23決算						0	工事請負費	
事業目的	児童生徒の学習の場として、また地域の人々の社会教育等を基本としたコミュニティの場となる同小南校舎の耐震補強及び改修工事をおこない、教育環境の充実を図ることを目的とする。					対象者(受益)		備品購入費 補助金 その他
						具体名	児童	
						人数等	237人	
事業内容	事業期間	H24	~	H25	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市
	【事業期間中の事業内容】 総事業費:158,071千円【財源内訳】国庫29,976千円、起債125,400千円、一財2,695千円							
	H24からの繰越事業費:157,996千円【財源内訳】国庫29,976千円、起債125,400千円、一財2,620千円 【事業費内訳】委託料3,500千円、工事請負費152,000千円、備品購入費1,750千円、その他事務費746千円 ○補強・改修施設規模等: 南校舎 RC造2階建1,264㎡ 【H25の事業内容】 工事監理、南校舎耐震補強・改修工事							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	改築後の市内小中学校耐震化率(H26.3.31) 94.9%		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		H25年3月末現在 92.8%		
	事業効果	同小南校舎は耐震性がないため、これの耐震補強工事をおこなう。また、昭和50年建設で老朽化が著しく良好な教育環境ではないことから、これを改修することにより教育環境の充実を図る。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(教育部)

単位:千円

所管課:	教育総務課	事業名:	千種中学校校舎等耐震補強・改修事業	予算書頁	198					
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり						
科目名等:	9-3-4		節	②学校教育の充実						
	施設整備費(中学校)		施策区分	②安心して学べる教育環境の創出						
予算額等		財源内訳								
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	25年度当初予算の内訳		
								主な費目	金額	
H25当初予算	43						43	人件費		
H24当初予算							0	役務費		
対前年度増減	43	0	0	0	0	0	43	旅費	8	
H23決算							0	需用費	35	
事業目的	児童生徒の学習の場として、また地域の人々の社会教育等を基本としたコミュニティの場となる同中学校舎の耐震補強・改修及び屋内運動場の改修工事をおこない、教育環境の充実にを図ることを目的とする。				対象者(受益)		備品購入費			
					具体名	生徒(H25見込)	公有財産購入費			
					人数等	84	その他			0
事業内容	事業期間	H25	～	H27	新規・継続の別	新規	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】									
	総事業費:618,000千円【財源内訳】国庫72,000千円、起債538,000千円、一財8,000千円 ○改修施設規模等:校舎 RC造4階建2,799㎡、技術棟 S造平屋建222㎡、屋体 RC造2階建1,505㎡									
【H25の事業内容】										
実施設計(債務負担行為による契約締結のみ)										
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	校舎補強後の市内小中学校耐震化率(H28.3.31) 96.2%		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		H25年3月末現在 92.8%				
	事業効果	同中学校舎は耐震性がないため、これの耐震補強工事をおこなう。また、同校舎は昭和53年、屋体は昭和54年建設で老朽化が著しく良好な教育環境ではないことから、これを改修することにより教育環境の充実にを図る。								

単位:千円

所管課:	学校教育課	事業名:	宍粟の良さを知り宍粟を愛する子どもの育成	予算書頁	188					
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり						
科目名等:	9-1-3		節	②学校教育の充実						
	教育振興費		施策区分	①生きる力を育てる学校教育の推進						
予算額等		財源内訳								
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	25年度当初予算の内訳		
								主な費目	金額	
H25当初予算	19,005	0	6,200	0	0	0	12,805	補助金	19,005	
H24当初予算	19,955	0	6,281	0	0	0	13,674			
対前年度増減	△ 950	0	△ 81	0	0	0	△ 869			
H23決算	18,373	0	6,901	0	0	0	11,472			
事業目的	児童、一人一人の中にふるさと“宍粟”への愛情・愛着をはぐくみ、“宍粟で生きたい、宍粟に育って良かった”と思える気持ちを大きく育てることを目的として、各種体験活動等を推進する。				対象者(受益)		その他			
					具体名	児童				
					人数等	1,077	0			
事業内容	事業期間	H17	～		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】									
	宍粟市の自然・風土・文化等の教育環境を活用し、系統的な体験活動を実施することにより、生命を尊び、環境やふるさとを大切に思う心を育む。									
【H25の事業内容】										
自然学校推進事業補助金 12,335千円、ふるさとしそ探検隊事業補助金 2,944千円、環境体験事業 3,726千円										
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	「自分の住んでいる地域が好きである」児童の割合をH24年度調査数値以上とする。		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		—				
	事業効果	体験活動を通し、宍粟の良さを知り、宍粟を愛する児童生徒を育成することにより、生命を尊重する人材、宍粟に生き、宍粟を活かす人材の育成を図る。								

# 平成25年度主要施策に係る説明書(教育部)

単位:千円

所管課:	学校教育課	事業名:	特別支援員の設置				予算書頁	185	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり					
科目名等:	9-1-3		節	②学校教育の充実					
	教育振興費		施策区分	①生きる力を育てる学校教育の推進					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	32,946	0	0	0	0	0	32,946	共済費	4,419
H24当初予算	29,956	0	0	0	0	0	29,956	賃金	28,527
対前年度増減	2,990	0	0	0	0	0	2,990		
H23決算	26,286	0	0	0	0	0	26,286		
事業目的	通常学級に在籍する特別な支援を必用とする児童生徒へきめ細やかな支援を行うことにより、学力等の向上を図る目的に特別支援員を配置する。					対象者(受益)		その他	0
						具体名	児童生徒		
						人数等	3,500		
事業内容	事業期間	H19 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】								
	通常学級に在籍する特別な支援を必用とする児童・生徒に対し、学業・生活両面でのサポートを行う。  【H25の事業内容】 小学校11校・中学校2校に対し各1名の支援員を配置。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	-			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	支援を要する児童生徒の教育的ニーズや状況の把握に努め、よりきめ細やかな支援を行い、児童生徒の学力等の向上を図る。							

単位:千円

所管課:	学校教育課	事業名:	読書活動推進事業				予算書頁	185	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり					
科目名等:	9-1-3		節	②学校教育の充実					
	教育振興費		施策区分	①生きる力を育てる学校教育の推進					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	2,714	0	0	0	0	0	2,714	共済費	330
H24当初予算	410	0	0	0	0	0	410	賃金	2,134
対前年度増減		0	0	0	0	0	2,304	需用費(消)	250
H23決算	511	0	0	0	0	0	511		
事業目的	児童生徒の確かな学力の育成に向け、読書活動の推進を図る。					対象者(受益)		その他	0
						具体名	児童生徒		
						人数等	3,500		
事業内容	事業期間	H23 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】								
	小中学校において読書ボランティアによる読み聞かせ活動や児童生徒が読書に親しむ読書環境の整備・充実を図る。また、学校図書館に読書活動推進コーディネーター(学校司書)を派遣し、読み聞かせの指導や支援及び図書の整理や選定の助言などを行い、児童生徒の読書活動の質を向上させる。  【H25の事業内容】 学校図書館職員(学校司書)の配置 2,464千円、学校図書整備等消耗品 250千円								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	「毎日本を読んでいる」児童生徒の割合をH24年度調査数値以上とする。			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	児童生徒の本に対する興味、関心を向上させ、読書活動の習慣化を図ることにより、確かな学力の育成を図る。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(教育部)

単位:千円

所管課:	学校教育課	事業名:	確かな学力向上事業				予算書頁	185		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり						
科目名等:	9-1-3		節	②学校教育の充実						
	教育振興費		施策区分	①生きる力を育てる学校教育の推進						
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	1,870						1,870	報償費	197	
H24当初予算	1,952						1,952	委託料	1,615	
対前年度増減	△ 82	0	0	0	0	0	△ 82	使用料	58	
H23決算	1,686						1,686			
事業目的	市内全小中学校で宍粟市独自の学力調査を実施し、確かな学力の育成を図る。					対象者(受益)		主な費目	金額	
						具体名	児童生徒			
						人数等	3,500			
								その他	0	
事業内容	事業期間	H22 ~		新規・継続の別		継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】									
	平成22年度より市内全小学4年・6年、中学2年生を対象に「確かな学力状況調査」を実施し、この調査で明らかとなった「学力の定着状況」や「生活及び学習習慣と学力との関係」、「宍粟市の児童生徒の特徴」等の検証を行い、各中学校区毎で「確かな学力」育成プランを作成するなど、宍粟の子どもたちの学力向上に向けたきめ細やかな取組を推進する。									
【H25の事業内容】										
調査結果や検証内容を市広報にて公表。また教育研究大会において、保護者や地域に取組を公表し、市全体で宍粟の子どもたちの学力向上をめざす。調査委託料1,615千円、検証作業に伴う報償費197千円、会場使用料58千円										
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	市内平均値を全国平均値以上とする。			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-			
	事業効果	学力調査の結果をもとにきめ細やかな指導を行うことにより、児童・生徒の学力向上を図る。								

単位:千円

所管課:	学校教育課	事業名:	宍粟市教員マイスター制度				予算書頁	185		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり						
科目名等:	9-1-3		節	②学校教育の充実						
	教育振興費		施策区分	①生きる力を育てる学校教育の推進						
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	200						200	報償費	135	
H24当初予算							0	消耗品費	65	
対前年度増減	200	0	0	0	0	0	200			
H23決算							0			
事業目的	宍粟市内の優れた人材を「宍粟市教員指導者」として学校等で活用し、中堅及び若い世代の教職員等の教育力量の向上を図る。					対象者(受益)		主な費目	金額	
						具体名	教員			
						人数等	400			
								その他	0	
事業内容	事業期間	H25 ~		新規・継続の別		新規	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】									
	市内の高い指導力を有する教員を「宍粟市教員指導者」として学校等で活用し、授業公開や授業カウンセリング、教職員向けの研修の講師を務め、若い世代の教職員等の授業力向上にあたる。									
【H25の事業内容】										
今年度市内教職員を10名程度「宍粟市教員指導者」として任命するとともに、指導者として、校内研修など各種研修で活用する。										
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	若い教職員等、指導者活用者の満足度学校評価 3.5			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-			
	事業効果	宍粟の貴重な教育財産を中堅及び若い世代の教職員等へ引き継ぐことにより、教育財産の保持と教職員の力量アップを図る。								

# 平成25年度主要施策に係る説明書(教育部)

単位:千円

所管課:	こども未来課	事業名:	私立保育所運営費助成事業				予算書頁	106
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり				
科目名等:	3-2-3		節	⑤児童福祉・保育環境の充実				
	保育所運営助成費		施策区分	①地域おける子育ての支援				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	625,395	199,437	117,880	153,057		155,021	人件費	
H24当初予算	610,286	198,803	101,765	149,120		160,598	賃金	
対前年度増減	15,109	634	16,115	3,937	0	0	委託料	△ 5,577
H23決算	623,104	202,723	103,497	158,345		158,539	工事請負費	
事業目的	私立認可保育所に対し児童の保育を実施するための費用を助成することにより、適切な事業運営を促進し、児童の健全な育成を図る。				対象者(受益)		補助金	625,395
					具体名	保育に欠ける児童		
					人数等	6歳までの児童と保護者		
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続		実施主体	私立保育所
	【事業期間中の事業内容】							
	対 象 : 私立認可保育園(9園)、委託保育に伴う管外公立及び私立保育所 平成25年1月末 私立保育園入所児数683人 管外委託:公立7人、私立4人 積算内容 : 私立認可保育所運営費 610,668千円 保育士等処遇改善費 14,727千円 【H25の事業内容】 継続実施。同上							
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)	保育所待機児童数 0人		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)	保育所待機児童数 0人			
	事業効果	就労等の理由により、保護者が昼間保育をすることができない児童に保育の場を与えることにより、児童の健全育成と児童福祉の向上を図る。						

単位:千円

所管課:	こども未来課	事業名:	私立保育所特別対策事業				予算書頁	106
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり				
科目名等:	3-2-3		節	⑤児童福祉・保育環境の充実				
	保育所運営助成費		施策区分	①地域おける子育ての支援				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	48,592		27,674			20,918	人件費	
H24当初予算	44,730	1,300	25,078			18,352	賃金	
対前年度増減	3,862	△ 1,300	2,596	0	0	2,566	委託料	
H23決算	46,312	2,358	23,376			20,578	工事請負費	
事業目的	仕事等の社会活動と子育ての家庭生活との両立を支援するため、安心して子育てができるような環境整備を行うため、延長保育、一時保育事業等を実施する私立認可保育所に助成し、児童福祉の向上を図る。				対象者(受益)		補助金	48,592
					具体名	私立保育所		
					人数等	9園		
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続		実施主体	私立保育所
	【事業期間中の事業内容】							
	対 象 : 私立認可保育所(9園)に係る補助事業 積算内容 : 障害児保育対策事業補助金 6,300千円、一時保育事業補助金 3,120千円、 特定保育事業補助金 270千円、延長保育促進事業補助金 38,902千円 平成25年度実施見込 障害児保育5園、一時保育6園、特定保育1園、延長保育8園 【H25の事業内容】 継続実施。同上							
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)	-		継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	保護者の保育ニーズを考慮した保育所運営を実施するとともに、仕事と子育ての両立支援を図る。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(教育部)

単位:千円

所管課:	子ども未来課	事業名:	公立保育所運営費	予算書頁	107			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり				
科目名等:	3-2-4		節	⑤児童福祉・保育環境の充実				
	児童福祉施設費		施策区分	①地域における子育ての支援				
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	191,050	1,205	47,866		14,200	127,779	人件費	19,632
H24当初予算	165,782	1,164	57,309			107,309	賃金	116,901
対前年度増減	25,268	0	△ 9,443	0	14,200	20,470	需用費	31,242
H23決算	159,353	966	53,165			105,222	公有財産購入費	15,000
事業目的	児童福祉法第35条第3項の規定に基づき、法第4条第1号及び第2号に定める児童の保育を実施し、その健全なる育成を図る。			対象者(受益)		備品購入費	874	
				具体名	保育に欠ける児童	補助金	1,127	
				人数等	6歳までの児童と保護者	その他	6,274	
事業内容	事業期間	H17	～	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】							
	対 象 :公立保育所(戸原保育所・城東保育所・かしの保育所・一宮南保育所・一宮北保育所) 平成25年1月末 公立保育所入所児数 211人(受託含む) 積算内容 :嘱託医等報酬 2,255千円、臨時保育士等賃金・共済費 134,278千円、修園記念品代 21千円、旅費 413千円、賄材料・光熱水費・修繕料等 31,242千円、検便検査手数料他 774千円、嘱託医検診委託料他 845千円、バス借上げ料等 121千円、工事請負費 3,900千円、施設等補修材料代 200千円、公有財産購入費:15,000千円、保育用備品購入費 874千円、負担金 1,127千円 【H25の事業内容】 継続実施。同上							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	-		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-			
	事業効果	保護者の保育ニーズを考慮した保育所運営を実施するとともに待機児童の解消と仕事と子育ての両立支援を図る。						

単位:千円

所管課:	子ども未来課	事業名:	放課後児童健全育成事業	予算書頁	112			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり				
科目名等:	3-2-7		節	⑤児童福祉・保育環境の充実				
	少子化対策事業費		施策区分	②児童の健全育成				
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	6,956	4,445				2,511	人件費	
H24当初予算	6,465	4,309				2,156	賃金	
対前年度増減	491	0	136	0	0	355	委託料	6,956
H23決算	4,931	3,287				1,644	工事請負費	
事業目的	共働き家庭など留守家庭の小学校児童に対して、放課後に適切な遊びや生活の場を与えてその健全な育成を図る。			対象者(受益)		備品購入費		
				具体名	私立学童(私立保育園)	補助金		
				人数等	65人	その他		
事業内容	事業期間	H17	～	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】							
	児童の保護者が労働等により昼間家庭にいない場合に、授業の終了した放課後、夏・冬・春休み及び土曜日等の学校休業日において、家庭に代る生活の場を確保し、適切な遊びや指導を行うことにより、その児童の健全な育成を図ることを目的とするとともに、仕事と子育ての両立を図るため、民間に事業委託をして実施。【くりのみ学童・みのりキッズクラブ】 積算内容 : 委託料 放課後児童健全育成事業委託料 6,956千円 くりのみ学童 50人規模(基本分3,107千円、障害児受入分1,627千円、長時間開設加算分137千円) みのり学童 15人規模(基本分1,126千円、長時間開設加算分137千円) 【H25の事業内容】 継続実施。同上							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	学童保育所待機児童数 0人		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	学童保育所待機児童数 0人			
	事業効果	児童の家庭にかわる居場所を確保し、児童が自由に遊べ、安全に過ごすことのできる生活の場を提供することにより、子育てと就労の両立が可能な環境を提供する。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(教育部)

単位:千円

所管課:	こども未来課	事業名:	あずかり・学童保育事業			予算書頁	111	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり				
科目名等:	3-2-7		節	⑤児童福祉・保育環境の充実				
	少子化対策事業費		施策区分	②児童の健全育成				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	82,150	16,123	24,971			41,056	人件費	5,599
H24当初予算	70,846	9,375	24,314		0	37,157	賃金	70,165
対前年度増減	11,304	0	6,748	657	0	3,899	需用費	4,596
H23決算	60,589	7,132	21,942		7,400	24,115	役務費	680
事業目的	児童(園児)の保護者が労働等により昼間家庭にいない場合に、あずかり保育・学童保育において家庭に代わる場を確保し、遊びや生活の指導を行うことにより、児童の健全な育成を支援する。				対象者(受益)		備品購入費	630
					具体名	入所児童	補助金	254
					人数等	260人	その他	226
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】							
	対象者:幼稚園児(山崎・河東・神戸・染河内・下三方・三方・繁盛) 小学1~3年生(山崎・城下・河東・神野・神戸・染河内・下三方・三方・繁盛・波賀・野原・千種・新規開設1か所) 事業費:運営経費82,150千円(賃金70,165千円、消耗品・食糧費(おやつ代)等4,596千円、役務費680千円、備品購入費630千円等) 実施方法:市内既存14か所及び新規開設1か所の15か所で実施、指導員(非常勤含む)約65名配置により運営							
【H25の事業内容】								
継続実施。同上								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	学童保育所待機児童数 0人		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	学童保育所待機児童数 0人			
	事業効果	児童の家庭にかわる居場所を確保し、児童が自由に遊び、安全に過ごすことのできる生活の場を提供することにより、子育て家庭への支援を図る。						

単位:千円

所管課:	こども未来課	事業名:	幼保連携保育実施事業			予算書頁	112	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり				
科目名等:	3-2-7		節	⑤児童福祉・保育環境の充実				
	少子化対策事業費		施策区分	①地域における子育ての支援				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	8,534	3,337	234		4,800	163	人件費	
H24当初予算	5,347	4,600	234			513	賃金	
対前年度増減	3,187	0	△1,263	0	4,800	△350	委託料	8,032
H23決算	2,541	2,300				241	工事請負費	
事業目的	公立幼稚園と私立保育所が連携を図りながら、児童の集団の遊び場や生活の場を与えることにより、より健やかな育成と子育て家庭への支援を行う。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	就学前児童及び保護者	補助金	300
					人数等	—	その他	202
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	私立保育所	
	【事業期間中の事業内容】							
	千種管内の就学前の子どもたちが、安全で安心して健やかに成長することができるよう専任保育士を配置し、幼稚園と保育所の連携、小学校との連携事業を実施する。また、専任保育士の配置により、保育所において幼稚園への在園を希望する児童の長時間保育を実施する。長時間利用希望児童・・・4月当初2名(予定) 積算内容:委託料 専任保育士 2,300千円 長時間保育 2名分 295千円 保険料 2千円 波賀管内及びその他の地域において専任保育士を配置し、就学前の子どもたちが、安全で安心して健やかに成長することができるよう、幼稚園と保育所の連携、小学校との連携事業を実施する。積算内容:委託料 専任保育士 5,437千円 (幼保一元化に向けた職員研修事業の実施) 研修会等講師謝礼 200千円 幼保一元化へ向けた基盤整備として幼保連携事業実施保育所へ300千円を上限に補助							
【H25の事業内容】								
継続実施。同上								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	—		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	—			
	事業効果	保護者の就労支援を行うと共に、就学前の幼稚園・保育園の子どもや保育者同士の連携及び交流事業の実施により、幼稚園・保育所一元化施設設置(認定こども園)に向けた基盤づくりを行う。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(教育部)

単位:千円

所管課:	子ども未来課	事業名:	幼保一元化推進事業				予算書頁	111
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり				
科目名等:	3-2-7		節	①幼児教育の充実				
	少子化対策事業費		施策区分	②幼保一元化に向けた取り組みの推進				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	263,050	77,200			182,800	3,050	報償費	440
H24当初予算	1,412					1,412	賃金	
対前年度増減	261,638	0	77,200	0	182,800	1,638	委託料	2,000
H23決算	308					308	工事請負費	30,000
事業目的	宍粟市における就学前の幼児教育・保育の新たな環境づくりに向け中学校区の地域委員会等による協議を進め、地域住民や保護者の理解を得ながら幼保一元化の推進を図る。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	就学前児童及び保護者	補助金	230,000
					人数等	—	その他	610
事業内容	事業期間	H23	～	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】							
	中学校区の地域委員会等の設置により幼保一元化に関する協議を進める。また、宍粟市がめざす幼児教育・保育の新たな環境づくりのため、幼保一元化施設(認定こども園)を設置する運営主体に対し助成等を行う。 積算内容 中学校区の地域委員会等委員謝礼:440千円 旅費:28千円 需用費:400千円 委託料:2,000千円 バス借上げ料:171千円 工事請負費:30,000千円 補助金:230,000千円 【H25の事業内容】 ・中学校区地域委員会の設置(継続実施)、幼保一元化協議会の設置、認定こども園設置に伴う運営主体への助成							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	認定こども園の設置(1か所)		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	—			
	事業効果	宍粟市がめざす就学前の幼児教育・保育の新たな環境づくりのため、幼保一元化施設(認定こども園)を設置する。						

単位:千円

所管課:	社会教育課	事業名:	人権啓発事業				予算書頁	101
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり				
科目名等:	3-1-12		節	⑤人権教育・啓発の推進				
	人権推進費		施策区分	①人権感覚の醸成				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	2,536	845				1,691	人件費	
H24当初予算	2,532	533				1,999	報償費	578
対前年度増減	4	0	312	0	0	△308	旅費	42
H23決算	2,323	566				1,757	需用費	119
事業目的	「差別のない明るい住みよい宍粟市」の実現を図るため、人権が尊重される社会づくりに向けた人権啓発事業の推進を図る。				対象者(受益)		役務費	32
					具体名	市民	委託料	1,700
					人数等	42,000人	使用料	65
事業内容	事業期間	H17	～	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】							
	○市民運動推進月間事業・・・8月に人権の夕べを開催や人権講演会等により啓発活動を実施 ○人権啓発冊子作成事業・・・人権啓発冊子「そよ風」を作成し、市内全戸配布、研修テキストとして活用を図る ○人権推進アドバイザー事業・・・人権啓発及び人権教育を推進するリーダーの養成を図り、人権が尊重されるひとづくり、まちづくりの推進に寄与する							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	・人権の夕べ参加者 500人 ・人権啓発冊子の作成 1,500部		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	100%			
	事業効果	同和問題をはじめあらゆる人権問題を、市民一人ひとりが自らの課題として捉え研修、学習等を実施する機会を提供する。多種多様複雑化する人権問題を繰り返し啓発・学習していくことで、人権尊重の意識の向上を図る。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(教育部)

単位:千円

所管課:	社会教育課	事業名:	地区生涯学習推進事業	予算書頁	206				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり					
科目名等:	9-5-1		節	⑤人権教育・啓発の推進					
	社会教育総務費		施策区分	①人権感覚の醸成					
予算額等		財源内訳				25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	7,962						7,962	人件費	
H24当初予算	7,962						7,962	賃金	
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	0	委託料	
H23決算	7,962						7,962	工事請負費	
事業目的	市民局単位に組織した地区生涯学習推進協議会において、人権尊重のまちづくりを推進するための人権学習などの取組みと、身近な生活上の課題に気づき、生活を見直していく取組みを実施する。				対象者(受益)		備品購入費		
					具体名	市民	補助金	7,962	
					人数等	42,000人	その他	0	
事業内容	事業期間	H17	～	新規・継続の別		継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】								
	市民局単位の各地区生涯学習推進協議会で人権学習や、ふれあい交流事業などの実施を通して、市民が人権尊重の理念について理解を深め、日常生活の中で正しい態度や行動が取れるような実践力の育成を図ることにより、住んでよかった、これからも住み続けたいと思えるまちの実現をめざす。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		自治会や地域での活動回数		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		100%		
	事業効果		市民局単位の各地区生涯学習推進協議会で人権尊重を基本に据え、日常生活の中で正しい態度や行動がとれるような実践力の育成を図るために、人権学習や環境学習、ふれあい交流事業など幅広い学習や実践活動を行い、共に生きる明るく住みよい地域社会の実現をめざす。						
	【H25の事業内容】 山崎生涯学習推進協議会 8生推協(85自治会) 3,160千円 ・一宮生涯学習推進協議会 1生推協5支部(39自治会)3,335千円 波賀生涯学習推進協議会 1生推協(20自治会)580千円 ・千種生涯学習推進協議会 1生推協(13自治会)887千円								

単位:千円

所管課:	社会教育課	事業名:	図書館運営事業(宍粟市立図書館)	予算書頁	206				
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり					
科目名等:	9-5-2		節	④生涯学習の推進					
	図書館費		施策区分	④社会教育施設の充実					
予算額等		財源内訳				25年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	24,018						24,018	賃金	10,106
H24当初予算	21,675						21,675	報償費	944
対前年度増減	2,343	0	0	0	0	0	2,343	需用費	3,430
H23決算	26,208				4,000		22,208	委託料	1,661
事業目的	市民の豊かな文化醸成のために読書活動や図書館利用の利用向上を図る。				対象者(受益)		使用料	1,728	
					具体名		備品購入費	5,600	
					人数等		その他	549	
事業内容	事業期間	H17	～	新規・継続の別		継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】								
	図書館の貸出、収集、整理やレファレンスの基本事業のみでなく、図書館の利用促進のための講座を適宜実施する。また、ブックスタート事業、移動図書館車による図書貸出事業、おはなしの時間・絵本の時間といった子どもへの読み聞かせ事業を実施。 【H25の事業内容】 上述の事業に加え、読書活動推進計画の策定を進めておりこの中で示す、市民が読書に関わりを増やしている事業へ取り組む。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		利用者数 30,000人		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		100%		
	事業効果		インターネットによる蔵書検索、貸受け予約システムや施設から遠方の市民には移動図書館車の運行サービスを実施する。これらの事業を展開し図書館利用者の増加につなげ、本にふれる機会を増やし、家庭内で親子のふれあいの場となり、ひいては心豊かなひとづくりの推進につなげる。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(教育部)

単位:千円

所管課:	社会教育課	事業名:	宍粟市民大学(生涯学習パスポート事業)			予算書頁	211	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり				
科目名等:	9-5-4		節	④生涯学習の推進				
	生涯学習推進費		施策区分	②「学びの成果を生かす」仕組みづくりの充実				
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	110		16			94	人件費	
H24当初予算	120		14			106	賃金	
対前年度増減	△ 10	0	0	2	0	△ 12	報償費	100
H23決算	35		9			26	需用費	10
事業目的	市民だれもが積極的に受講できる広域的・継続的な学習機会を提供し、学習成果を生かした社会参加を支援するための総合的な学習成果を生かした社会参加を支援するための総合的な学習支援システムの構築をめざす。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	受講者	補助金	
					人数等	200人	その他	
事業内容	事業期間	H22 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】							
	市の各部署が実施する各種成人講座の中から、対象となる講座を選定し、宍粟市民大学講座として一元的に情報を提供する。市民自らが年間学習計画を立てて学び「しそく学びパスポート」にスタンプを押し学習活動を記録し、一定単位取得者に学士、修士、博士などの称号を付与する。							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		市民大学登録者数 200人		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		100%	
	事業効果	パスポートに学習履歴を記録し保存することで、学習意欲を高め、新たな活動の動機付けができる。さらに修了者や単位取得者によるグループ化(ゼミ)を進め、学習の成果を生かして活躍する機会の開発やボランティア活動、地域活動への参加促進を図る。						
	【H25の事業内容】 幅広い分野の講座を開催し内容の充実を図り、一定単位取得者に「しそく学び学士」・「しそく学び修士」・「しそく学び博士」などの称号を付与し、学習意欲を高め学びの機会を提供していく。							

単位:千円

所管課:	社会教育課	事業名:	宍粟の人 ゆめ講座			予算書頁	211		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり					
科目名等:	9-5-4		節	④生涯学習の推進					
	生涯学習推進費		施策区分	①生涯を通じた学びの機会の拡充					
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	1,000					1,000	報償費	600	
H24当初予算	0					0	需用費	300	
対前年度増減	1,000	0	0	0	0	1,000	委託料		
H 23 決 算	0					0	使用料	100	
事業目的	市内外で活躍する宍粟市にゆかりのある人に、自らの体験談や宍粟への思いなどの講演を依頼。宍粟市の新たな一面を発見する機会を提供。学習意欲の向上につなげる。				対象者(受益)		工事請負費		
					具体名	市民	その他		0
					人数等	-			
事業内容	事業期間	H25	~	H25	新規・継続の別	新規	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】								
	宍粟市にゆかりのある人を招き、市内外から見た宍粟市や市民の興味をひく内容で講演会を開催する。市民の学習への意欲向上と地域づくりや人づくりの支援につなげる。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		来場者数 500人		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-		
	事業効果	「宍粟のゆかりの人には、こんな素晴らしい人、考え方の人がいるんだ」と市民が知ることで、宍粟市へのさらなる誇りや愛着を持ち、宍粟市の魅力を再発見すると共に、今後の学習意欲を高め生涯学習の推進へとつなげる。							
	【H25の事業内容】 講師を招へい、文化会館を会場とした講演会の開催 講師謝金:600千円、需用費300千円・会場借上料100千円								

# 平成25年度主要施策に係る説明書(教育部)

単位:千円

所管課:	社会教育課	事業名:	青少年活動体験事業			予算書頁	211		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり					
科目名等:	9-5-4		節	③青少年の健全育成の推進					
	生涯学習推進費		施策区分	②豊かな青少年体験活動の推進					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	2,571			683			1,888	賃金	551
H24当初予算	2,712			662			2,050	報償費	1,219
対前年度増減	△ 141	0	0	21	0	0	△ 162	旅費	3
H23決算	1,482			456			1,026	需用費	597
事業目的	青少年が心身共に健やかに成長するため、共同生活を通して、基本的なルール、目標を持って生活すること、望ましい人間関係のあり方を学び、規律ある生活習慣を身につける。					対象者(受益)		役務費	81
						具体名	高学年児童	使用料賃借料	120
						人数等	250人	その他	0
事業内容	事業期間	H12 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】								
	<p>◆ チャレンジ5DAYS・土曜なんでも体験隊ほか(学遊館) 学遊館は宿泊や様々な実習ができる施設を持っており、その特性を活用しながら事業展開をする。青少年教育専門員を中心に、館の登録団体やボランティアと連携しながら、体験活動を実施する。青少年の健全育成と同時に、大学生や専門学校生、地元の有職青年あるいは高校に依頼をしながら、安全管理員及び運営等に参画するスタッフを確保し、このような事業を企画・運営のできるリーダー的人材の育成を図る。</p> <p>◆ 異年齢交遊塾(一宮生涯学習事務所) 市内全域の小学生高学年(4~6年生)30名を対象とし、指導者として学生リーダー、活動支援の地域指導員を依頼する。参加児童をグループ分けし、グループの課題を持って課題解決学習に取り組むことを軸として活動する。学生リーダーや地域指導員は、児童の活動をサポートする。</p> <p>【H25の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4泊5日の宿泊型体験活動(チャレンジ5DAYS)</li> <li>○ 土曜なんでも体験隊</li> <li>○ 夏休みワクワク講座</li> <li>○ 異年齢交遊塾(一宮北中学校寄宿舎を基点の体験活動)</li> </ul>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	参加者数 約250人			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	38.40%			
	事業効果	異年齢集団での共同生活、校区、学年の枠を越えて交流を実施することで、新たな人間関係の形成機会を体験する。 基本的なルール、人を思いやる気持ちと忍耐力や協調性、積極性、児童の価値観、判断力を養い、体験から学び、自己発見の場となるよう実施する。 地元にて在住在勤の青年層等に参画してもらい、リーダー育成など人材育成にもつなげる取組とする。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(教育部)

単位:千円

所管課:	社会教育課	事業名:	高齢者大学事業			予算書頁	211		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり					
科目名等:	9-5-4		節	④生涯学習の推進					
	生涯学習推進費		施策区分	①生涯を通じた学びの機会の拡充					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	7,239			4,237			3,002	賃金	143
H24当初予算	7,359			4,432			2,927	報償費	2,784
対前年度増減	△ 120	0	0	△ 195	0	0	75	旅費	97
H23決算	6,595			4,223			2,372	需用費	541
事業目的	高齢者を対象に学習機会を提供することによって、自発的な学習活動を支援し、生涯にわたる自己実現や習得した学習成果を活かした地域社会活動の推進に寄与する。					対象者(受益)		役務費	197
						具体名	高齢者数	委託料	1,395
						人数等	1,440人	使用料賃借料	2,082
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆やまさき文化大学 行政・学生会の協働により、一般教養講座(20回)をはじめ、専門講座4講座(10教室)を開設するとともに、クラブ活動(22クラブ)等において学生の自主活動の支援を行う。 また、生涯学習を推進するための機会の拡充、支援を実施する。</li> <li>◆いちのみや社会大学 大学と大学院クラスを設け、大学はおおむね月1回、合計11回の一般教養講座を開催する。大学院は、年間4回の教養講座を開催。これ以外にクラブ活動による教養の向上と学園生の交流を図る。</li> <li>◆かえで学園(波賀) 高齢者のニーズに即した一般教養講座(講座・市外研修・映画鑑賞・中学校文化祭見学)を年間10回実施。また、クラブ活動(書道)による教養の向上を図る。</li> <li>◆しきぐさ学園(千種) 学習者のニーズに即した効果的な学習機会の提供(年間10回講座)とクラブ活動(7クラブ)による教養の向上を図る。また、大学院(年間3回講座)の併設し学習の継続を促進する。</li> </ul> <p>【H25の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆やまさき文化大学 一般教養講座20回、専門講座(パソコン・歴史探訪・健康体操・料理講座など)</li> <li>◆いちのみや社会大学 大学講座11回(開講式・野外学習・新春交歓会・修了式含む)、大学院4回(野外学習含む)を開催する。</li> <li>◆かえで学園(波賀) 一般教養講座を実施するとともに、歌、運動、野外活動等を取り入れる。</li> <li>◆しきぐさ学園(千種) 大学講座10回(開講式、市外研修、閉講式含む)、大学院3回(市外研修含む)を開催する。</li> </ul>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)	受講者数 1,340人			継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)	86.14%			
	事業効果	やまさき文化大学では高齢者約660人、いちのみや社会大学では約360人、かえで学園では約200人、しきぐさ学園では約120人の合計約1,340人が学んでいる。 生きがいづくりとニーズに合った学習を実施し、学びの成果を地域において生かしながら活動することにより、健康で生きがいのある生活を送ることにつなげていく。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(教育部)

単位:千円

所管課:	社会教育課	事業名:	生涯学習講座事業			予算書頁	211		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり					
科目名等:	9-5-4		節	④生涯学習の推進					
	生涯学習推進費		施策区分	①生涯を通じた学びの機会の拡充					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	2,231			769			1,462	報償費	1,895
H24当初予算	2,737			862			1,875	旅費	5
対前年度増減	△ 506	0	0	△ 93	0	0	△ 413	需用費	331
H23決算	2,444			739			1,705	役務費	0
事業目的	学習者のニーズに即した学習機会の提供をすることにより、地域で生涯にわたって学び続けられる機会を提供し、社会全体の教育力の向上を図る。					対象者(受益)		委託料	0
						具体名	市内成人	補助金	0
						人数等	22,902人	その他	0
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆学遊館 各種生涯学習講座(木工教室、短期講座、公開講座等)の実施。 様々な学習情報の発信及び提供。</li> <li>◆一宮生涯学習講座 生涯学習講座(長期)として、書道・竹細工教室を専門講師を依頼して実施。また、ニーズに即した短期講座、登録団体の活動支援を実施。</li> <li>◆波賀講座、クラブ活動 人権学習講座(3回)、かえて学園クラブ書道(20回)、学習講座5教室(106回)、波賀のかおり展、絵手紙展、夏休み子ども教室(7回)、絵手紙教室3学校、粘土細工3学校</li> <li>◆千種キャンパス 千種キャンパス講座として、学習機会の提供を行うとともに、学習意欲や教養向上、仲間作りの支援を行う。</li> </ul> <p>【H25の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆学遊館 年間をとおしての木工教室等の開催や短期講座・公開講座の実施。</li> <li>◆一宮生涯学習講座 生涯学習講座(長期)書道・竹細工教室、短期講座の開催</li> <li>◆波賀講座、クラブ活動 一般教養講座を継続し実施するとともに、古民家等を活用した講座・イベントを開催を計画</li> <li>◆千種キャンパス 太極拳講座、クラフト講座、中国語講座、健康講座など市民ニーズに合わせた講座を実施。</li> </ul>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)	参加者数 797人			継続事業の場合の目標 数値の進捗率(目標)	96.61%			
	事業効果	<p>学びのきっかけづくりあるいは自主活動の支援を実施し、学びの機会の拡充を図る。また、自らの学びの成果を発表する場を設けることにより、地域文化の創造や発展につなげる。 自己の学習意欲や教養の向上を図ると共に、あらゆる地域活動の指導者となれる人を育成につなげる。</p>							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(教育部)

単位:千円

所管課:	社会教育課	事業名:	文化展事業			予算書頁	211
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり			
科目名等:	9-5-4		節	⑥芸術・文化活動の推進			
	生涯学習推進費		施策区分	②地域文化創造活動の促進			
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	721		379			342	報償費 187
H24当初予算	688		150			538	旅費 0
対前年度増減	33	0	0	229	0	△ 196	需用費 270
H23決算	878		105			773	役務費 180
事業目的	生涯学習講座や文化団体の学習の成果発表の機会として、技術向上を喚起するとともに、多くの方に文化芸術に触れていただくことにより、情操豊かな人材と生きがいを育み、芸術文化の振興を図る。			対象者(受益)		委託料 0	
				具体名	宍粟市民	使用料賃借料 84	
				人数等	42,000人	その他 0	
事業内容	事業期間	H17 ~		新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>◆(学遊館まつり)ギャラリー展示 学遊館まつりの企画として、各種生涯学習講座の参加者や登録団体(13団体)、管内の幼小中の児童生徒や文化大学の学生会など、年間をととしての活動団体(利用者)の1年間の学習成果の発表の機会や場として、学遊館まつりを開催する。広く市民の参加を促し、より多くの人に生涯にわたって学び続けられる機会を提供する。</p> <p>◆いちのみや美術作品展・センターいちのみや文化展 生涯学習講座(長期)として、書道・竹細工教室を専門講師を依頼して実施する。また、登録団体の活動について、支援を行う。 いちのみやふるさとまつりの企画として、文化協会を中心とするボランティアスタッフ実行委員会が参画と協働により美術作品開催。 センターいちのみや登録団体、社会大学クラブ、生涯学習講座受講生の協働で文化展を開催。</p> <p>◆波賀文化のつどい 波賀文化のつどいは、波賀町内で活動している様々な団体、個人を対象に2日間にわたり、作品展示、演技、競技(囲碁将棋)を開催。</p> <p>◆千種文化展 千種における地域づくりイベント「ちくさふれあいフェスタ」(H21~)の企画としてセンターちくさにおいて文化展を開催。開催準備、運営、片付けは、千種文化協会、センター登録団体、高齢者大学の主体的な協力により実施。</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>◆(学遊館まつり)ギャラリー展示 学習の成果の発表の場として作品展示及びステージ発表、学びの循環として陶芸、木工、茶道、寄せ植えなどの体験コーナーの開設(学遊館まつりにて開催)</p> <p>◆いちのみや美術作品展・センターいちのみや文化展 生涯学習講座(長期)書道・竹細工教室の開催。第39回いちのみや美術作品展(11月2・3日)を開催。 センターいちのみや文化展(11月末~12月初)の開催。</p> <p>◆波賀文化のつどい 40回目を迎えるにあたり、新たな活動団体の掘り起こし、活動団体を中心とした自主的な実行委員会運営を行う。(波賀町の行事として位置づける)</p> <p>◆千種文化展 学校園所:絵画書道作品、文化協会所属団体:作品展示、センター登録団体:作品展示、高齢者大学学園生:作品展示、文化活動愛好家 等の文化作品の展示発表活動を通じ、仲間作りを図る</p>						
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	来場者数	7,050人	継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	80.68%		
	事業効果	<p>自らの学びの成果を発表する機会や場を設けることにより、学習者自らの学習意欲の向上をめざすとともに、地域文化の創造や発展につなげる。 また、多くの参加者が生涯学習のきっかけづくりとなり、その学びの中で、自己実現から社会(地域)に還元するという、一歩進んだ意識の向上を図り、「学びの循環」の創造につなげる。</p>					

# 平成25年度主要施策に係る説明書(教育部)

単位:千円

所管課:	社会教育課	事業名:	家原遺跡公園復元住居改修工事	予算書頁	216			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり				
科目名等:	9-5-6		節	⑥芸術・文化活動の推進				
	文化財保護費		施策区分	①歴史・文化資源の保全・活用				
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	36,350				33,200	3,150	人件費	
H24当初予算	0					0	報償費	
対前年度増減	36,350	0	0	0	33,200	4,850	需用費	
H23決算	0					0	委託料	1,350
事業目的	家原遺跡公園の復元建物は、実栗市歴史資料館の実物大野外展示施設として、学習や観光施設として展覧に供し好評を得てきた。しかしながら、建築部材の耐用年数が限界に達したことから、リニューアルするものである。				対象者(受益)		工事請負費	35,000
					具体名	市民等	使用料及び賃借料	
					人数等	—	その他	
事業内容	事業期間	H25	～	H26	新規・継続の別	新規	実施主体	実栗市
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>家原遺跡公園は修理を加えてはきたが、植物性部材の耐用年数もあり、開設以来16年を経過して、腐食・劣化が著しいことから全竪穴住居を撤去し、各時代1棟(計3棟)を新設する。あわせて、植物園も全面的に更新する。なお、復元建物の内、中世の中門造り建物については、H26に茅屋根の葺き替えを行う。</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>竪穴住居8棟の撤去、竪穴住居3棟及び高床倉庫1棟の移設。植物公園(万葉植物・市固有植物)の整備。</p>							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	学習施設や社会見学施設の価値を高め、市内外の見学者を増やす		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		—		
	事業効果	竪穴住居を各時代1棟づつ更新することにより、当初の「建物の野外博物館」という主旨を継続するのみならず、一宮北部の観光拠点の強化ともなる。なお、実大の建物模型であるから、近年進められている小学生の地域学習にとっても大きな手助けになるとと思われる。						

単位:千円

所管課:	社会教育課	事業名:	社会体育活動・スポーツ活動支援事業	予算書頁	218			
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり				
科目名等:	9-6-1		節	⑦スポーツ活動の推進				
	保健体育総務費		施策区分	①生涯スポーツ活動の推進				
予算額等	財源内訳					25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	7,540					7,540	人件費	
H24当初予算	7,540					7,540	賃金	
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	委託料	
H23決算	7,540					7,540	工事請負費	
事業目的	社会体育推進団体の活動への支援を図るとともに、参画と協働によるスポーツ大会、イベント等を開催し、市民の健康増進や地域スポーツの振興を図る。				対象者(受益)		備品購入費	
					具体名	大会参加者等	補助金	7,540
					人数等	約4,000人	その他	0
事業内容	事業期間	H17	～		新規・継続の別	継続	実施主体	実栗市
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>実栗市さつきマラソン大会、実栗市ロードレース大会を開催し、参加者の健康づくりと市内外の参加者がスポーツを通じた交流や実栗の四季、自然とのふれあいなど市民の心身の健康づくりに寄与する。地域でのスポーツ指導や健康づくり事業の実施のため、実栗市体育協会と実栗市スポーツ推進委員会の活動支援として補助金を交付する。</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>・実栗市さつきマラソン大会(4月第3日曜日、山崎スポーツセンター周辺) ・実栗市ロードレース大会(11月第4日曜日、家原遺跡公園下県道周辺) ・(活動補助金交付)実栗市体育協会、実栗市スポーツ推進委員会</p>							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	各大会参加者数(会場規模より最大数とする)		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		さつきマラソン:2,500人 ロードレース:1,300人		
	事業効果	市民の健康増進スポーツの取り組む。大会を地域住民の協力を得て開催することで市内外ランナーのもてなしや実栗の自然を満喫し、スポーツを通じた交流事業と実栗のPRにつなげていく。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(教育部)

単位:千円

所管課:	社会教育課	事業名:	スポニックパークー宮施設整備等事業				予算書頁	220	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり					
科目名等:	9-6-2		節	⑦スポーツ活動の推進					
	体育施設管理費		施策区分	③地域環境を生かしたスポーツの推進					
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	16,940					16,940	人件費		
H24当初予算	11,000					11,000	賃金		
対前年度増減	5,940	0	0	0	0	5,940	委託料		
H23決算	19,641					19,641	工事請負費	16,940	
事業目的	市内のスポーツ施設の有効活用を図り、市民の健康増進と、スポーツ活動を推進するため施設整備を行う。				対象者(受益)		備品購入費		
					具体名	施設利用者	補助金		
					人数等		その他	0	
事業内容	事業期間	H25	～	新規・継続の別	新規	実施主体	宍粟市		
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>スポニックパークー宮は、開園以来20年を経過して施設の老朽化が目立ち計画的改修が必要になっている。H25年度に、温水プール大屋根遮熱・防水工事と施設関連排水路整備工事を実施し、施設維持と施設周辺の環境整備を実施する。</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>温水プール大屋根遮熱・防水工事・・・1,414㎡、シート防水工事・・・362㎡ 道路横断排水路整備</p>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	屋根雨漏り改修、排水路整備により安全な施設利用につなげる		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-				
	事業効果	温水プール大屋根の塗装改修を行い、遮熱防水塗装と雨漏り対策を実施することで施設寿命を延ばす。近年の施設利用者数は約75,000人。H25は工事の影響があるが概ね同数を目標に運営する。							

単位:千円

所管課:	社会教育課	事業名:	波賀メイプルスタジアム整備事業				予算書頁	220	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり					
科目名等:	9-6-2		節	⑦スポーツ活動の推進					
	体育施設管理費		施策区分	③地域環境を生かしたスポーツの推進					
予算額等	財源内訳						25年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
H25当初予算	5,000				5,000	0	人件費		
H24当初予算	0					0	賃金		
対前年度増減	5,000	0	0	0	5,000	0	委託料		
H23決算	1,292					1,292	工事請負費	5,000	
事業目的	メイプルスタジアム利用者の安全性を高めるためベンチ床ラバー張替等と電気関係修繕を実施				対象者(受益)		備品購入費		
					具体名		補助金		
					人数等		その他	0	
事業内容	事業期間	H25	～	新規・継続の別	新規	実施主体	宍粟市		
	<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>ダッグアウト床面ラバー張替、放送設備、カウント表示盤の電気設備など施設改修を実施</p> <p>【H25の事業内容】</p> <p>ダッグアウト床他整備工事・・・1式 工事費5,000千円</p>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	利用者が安全に利用できるよう改修利用者の増加に努める		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)	-				
	事業効果	ベンチ床の排水や安全性を高め、利用者の増加につなげる。放送、スコア掲示等電気設備を改修し、高校野球等の公式試合に対応できる環境整備を実施。例年の施設利用者数は約8,500人。H25は同数以上を目標に運営する。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(教育部)

単位:千円

所管課:	学校給食センター	事業名:	給食センター管理運営事業				予算書頁	221	
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	④ひとの生きがいや個性的な文化を育てるまちづくり					
科目名等:	9-6-3		節	②学校教育の充実					
	学校給食運営費		施策区分	①生きる力を育てる学校教育の推進					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	182,736				1	5,700	177,035	人件費	
H24当初予算	153,614					21,600	132,014	賃金(共済含)	76,737
対前年度増減	29,122	0	0	0	1	△ 15,900	45,021	委託料	9,456
H23決算	289,618					19,600	270,018	工事請負費	39,000
事業目的	市内の小中学校の児童・生徒に対し、地産地消に取り組んだ安全かつ新鮮で栄養バランスのとれた、安心な給食を提供する。					対象者(受益)		備品購入費	6,760
						具体名	児童・生徒等	補助金	60
						人数等	3,948人	その他	50,723
事業内容	事業期間	～			新規・継続の別	新規	実施主体	宍粟市	
	【事業期間中の事業内容】								
	市内の小学校18校、中学校7校の児童・生徒に対し、給食を提供する。								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		-			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-	
	事業効果	市内の児童・生徒に食育の推進を行うとともに、地産地消に取り組んだ給食の提供を行う。							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(議会事務局)

単位:千円

所管課:	議会事務局	事業名:	議会だよりの発行	予算書頁	51		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり			
科目名等:	1-1-1		節	⑤効果的・効率的な行財政運営の推進			
	議会費		施策区分	③健全な行財政運営の確保			
予算額等	財源内訳						
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	
H25当初予算	1,267					1,267	
H24当初予算	1,271					1,271	
対前年度増減	△4	0	0	0	0	△4	
H23決算	1,198					1,198	
事業目的	議会活動への理解と信頼感を助長し、住民参加意識の高揚を図るため、地方自治法に議事公開の規定があることなどから、議会の活動内容を広く市民に周知する。				対象者(受益)		
					具体名	市民	
					人数等	42,000人	
事業内容	事業期間		H17 ~	新規・継続の別		継続	
	【事業期間中の事業内容】						
	年4回の定例会後、議案審査の経過や結果、各常任委員会からの報告、一般質問等を「議会だより」として発行し、全世帯に配布する。 ・カラー27,132円×(2P)×4回= 217,056円 ・2色 20,181円×(14P)×3回= 847,602円 ・2色 20,181円×(10P)×1回= 201,810円      合計=1,266,468円 (表紙・裏表紙2P4色カラー、その他は2色)						
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		-		継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))		-
	事業効果						
	議会の活動内容を市民に周知することにより、行政情報が伝わり市民との協働によるまちづくりを推進することができる。また、市民の意見や要望を行政に反映し、重要な事項の審査経過等、議会の活動内容をお知らせすることができ、議会への関心を高めることができる。						

単位:千円

所管課:	議会事務局	事業名:	会議録の作成	予算書頁	51		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり			
科目名等:	1-1-1		節	⑤効果的・効率的な行財政運営の推進			
	議会費		施策区分	③健全な行財政運営の確保			
予算額等	財源内訳						
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	
H25当初予算	1,449					1,449	
H24当初予算	1,450					1,450	
対前年度増減	△1	0	0	0	0	△1	
H23決算	1,359					1,359	
事業目的	地方自治法第123条及び宍粟市議会会議規則第80条から83条に規定され、議会における会議の内容の一切を正式に記録しなければならない。議事録を作成し、保存し市民に会議内容の情報を提供する。				対象者(受益)		
					具体名	市民	
					人数等	42,000人	
事業内容	事業期間		H17 ~	新規・継続の別		継続	
	【事業期間中の事業内容】						
	・本会議終了後、会議録を業務委託により作成する。 ・市民が容易に閲覧できるよう、各市民局並びに図書館、生涯学習事務所に備え付けする。 ・市のホームページに掲載し、市内外から閲覧できるようにする。 ・定例会 4回、臨時会2回、決算委員会1回、予算委員会1回						
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		-		継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))		-
	事業効果						
	・議会における会議の内容を永久に保存することで、議決証明、会議録証明の要求にこたえられる。 ・本会議の傍聴ができなくても本会議の経過を詳細かつ正確にお知らせできる。						

# 平成25年度主要施策に係る説明書(議会事務局)

単位:千円

所管課:	議会事務局	事業名:	政務活動費交付事業			予算書頁	52		
会計名:	一般会計	総合計画の施策体系:	章	⑥住民・行政の参画と協働による自主創造のまちづくり					
科目名等:	1-1-1		節	⑤効果的・効率的な行財政運営の推進					
	議会費		施策区分	③健全な行財政運営の確保					
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額	
H25当初予算	3,300					3,300	人件費		
H24当初予算	3,600					3,600	賃金		
対前年度増減	△ 300	0	0	0	0	△ 300	委託料		
H 23 決算	2,105					2,105	工事請負費		
事業目的	地方自治法第100条の14項の規定に基づき、調査研究に資するため必要な経費の一部を会派等に交付する。					対象者(受益)			
						具体名	議員	備品購入費	
						人数等	20(18)	補助金	3,300
							その他	0	
事業内容	事業期間	H23	～	新規・継続の別	継続	実施主体	宍粟市		
	【事業期間中の事業内容】								
	市民の代表である議会議員が議案審査、委員会審査、政策提案等に資するため、調査研究やその他議員活動に必要な経費を会派、及び議員に対して政務活動費として交付する。 月15,000円×20名×2月+月15,000円×18名×10月								
	【H25の事業内容】								
	同上								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	-			継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))	-			
	事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市議会議員の調査研究に資するための必要な経費の一部を交付することにより、政策立案、調査活動基盤の充実を図り、市議会の活性化や審議能力の強化をしていくことができる。</li> <li>・政務活動費の用途については、収支報告書や領収書等を公表することにより、議員活動を明確にし、透明性を高め、市民への説明責任を果たしていく。</li> </ul>							

# 平成25年度主要施策に係る説明書(総合病院)

単位:千円

所管課: 総合病院		事業名: 入院収益事業					予算書頁: 3		
会計名: 病院事業会計		章: ③健康と福祉を育てる安心のまちづくり							
科目名等: 医療収益		節: ②安心できる保健・福祉・医療体制の充実(医療の充実)							
		施策区分: ②宍粟総合病院の充実							
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	2,149,572						2,149,572	入院収益	2,149,572
H24当初予算	2,149,572						2,149,572		
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	0		
H 23 決算	1,980,291						1,980,291		
事業目的	地域医療の確保						対象者(受益)		0
							具体名	市民	
							人数等	155.8人/日	
事業内容	事業期間: ~		新規・継続の別		継続		実施主体	市	
	【事業期間中の事業内容】								
	宍粟市内及び近隣市町からの入院患者受入								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		ベッド稼働率 76.0%		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-		
	【H25の事業内容】								
	同上								
事業効果	地域の基幹病院として救急医療や高度医療に取り組み、安全・安心・信頼の良質の医療を提供する。								

単位:千円

所管課: 総合病院		事業名: 外来収益事業					予算書頁: 3		
会計名: 病院事業会計		章: ③健康と福祉を育てる安心のまちづくり							
科目名等: 医療収益		節: ②安心できる保健・福祉・医療体制の充実(医療の充実)							
		施策区分: ②宍粟総合病院の充実							
予算額等		財源内訳						25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
H25当初予算	1,194,380						1,194,380	外来収益	1,194,380
H24当初予算	1,184,465						1,184,465		
対前年度増減	9,915	0	0	0	0	0	9,915		
H 23 決算	1,145,028						1,145,028		
事業目的	地域医療の確保						対象者(受益)		0
							具体名	市民	
							人数等	445人/日	
事業内容	事業期間: ~		新規・継続の別		継続		実施主体	市	
	【事業期間中の事業内容】								
	宍粟市内及び近隣市町からの外来患者ならびに他医療機関からの紹介患者の受入								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		445人/日		継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)		-		
	【H25の事業内容】								
	同上								
事業効果	地域の基幹病院として救急医療や高度医療に取り組み、安全・安心・信頼の良質の医療を提供する。								

# 平成25年度主要施策に係る説明書(総合病院)

単位:千円

所管課: 総合病院		事業名: 医療機器整備事業					予算書頁: 4	
会計名: 病院事業会計		総合計画の施策体系: 章 ③健康と福祉を育てる安心のまちづくり 節 ②安心できる保健・福祉・医療体制の充実(医療の充実) 施策区分 ②宍粟総合病院の充実						
科目名等: 建設改良費								
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	170,000					170,000	0	資産購入費 170,000
H24当初予算	190,000					190,000	0	
対前年度増減	△ 20,000	0	0	0	0	△ 20,000	0	
H 23 決算	167,619					167,600	19	
事業目的	老朽化した医療機器の更新を行うとともに、医療の進歩に対応した新しい医療機器を導入し、安全・安心・信頼の医療を提供する。					対象者(受益)		0
						具体名	市民	
						人数等	-	
事業内容	事業期間: ~		新規・継続の別		継続	実施主体	市	
	【事業期間中の事業内容】							
	年次的に医療機器の整備うとともに、医療の進歩に対応した医療機器を導入する。  【H25の事業内容】 電子カルテハード機器の更新や年次的に更新している透析機器、超音波画像診断装置などの老朽化した医療機器の更新を行う。							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		-		継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))		-	
	事業効果		地域の基幹病院として、住民に安心、安全、信頼の医療を提供する。					

単位:千円

所管課: 総合病院		事業名: 院内託児所建設事業					予算書頁: 4	
会計名: 病院事業会計		総合計画の施策体系: 章 ③健康と福祉を育てる安心のまちづくり 節 ②安心できる保健・福祉・医療体制の充実(医療の充実) 施策区分 ②宍粟総合病院の充実						
科目名等: 建設改良費								
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	150,000					150,000	0	委託料 700
H24当初予算							0	工事請負費 149,300
対前年度増減	150,000	0	0	0	0	150,000	0	
H 23 決算							0	
事業目的	院内託児所を設置することにより、子育て世代女性の就労環境を整え医師及び看護師の確保につなげる。					対象者(受益)		0
						具体名	職員	
						人数等	-	
事業内容	事業期間: H24 ~ H25		新規・継続の別		継続	実施主体	市	
	【事業期間中の事業内容】							
	文化財調査 院内託児所棟 RC3階建 延べ600㎡  【H25の事業内容】 院内託児所棟 RC3階建 延べ600㎡ (1階 託児所、2階 事務所他 3階 講堂)							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		女性医師、看護師の確保		継続事業の場合の目標(数値の進捗率(目標))		-	
	事業効果		医師、看護師不足が深刻な状況になっているなか、子育てを理由にした離職をくい止め、魅力ある労働環境を作るなかで、女性医師・看護師の確保を図る。					

## 平成25年度主要施策に係る説明書(総合病院)

単位:千円

所管課:	総合病院	事業名:	修学資金事業			予算書頁	4	
会計名:	病院事業会計	総合計画の施策体系:	章	③健康と福祉を育てる安心のまちづくり				
科目名等:	長期貸付金		節	②安心できる保健・福祉・医療体制の充実(医療の充実)				
			施策区分	②宍粟総合病院の充実				
予算額等		財源内訳					25年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
H25当初予算	12,700			9,250		3,450	医師奨学金 5,800	
H24当初予算	8,560			7,180		1,380	看護師奨学金 6,900	
対前年度増減	4,140	0	0	2,070	0	2,070		
H23決算	3,261			2,901		360		
事業目的	医師及び看護師・助産師の確保					対象者(受益)		0
						具体名	志す者	
						人数等	6	
事業内容	事業期間	H23 ~	新規・継続の別	継続	実施主体	市		
	【事業期間中の事業内容】							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学資金奨学金 医師 月額20万円、看護師等 月額5万円(正規の就学期間に限る)</li> <li>・入学資金奨学金 入学金の1/2(ただし医師は100万円限度、看護師等は12万円限度)</li> </ul> ※医師は総合病院又は診療所に、看護師等は総合病院に貸与月数勤務することで返還免除(ただし貸与期間が4年未満の場合でも4年間の勤務で返還免除とする。)							
	【H25の事業内容】							
	同上							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	医師1名、看護師5名			継続事業の場合の目標数値の進捗率(目標)			
	事業効果	医師、看護師・助産師の増加を図る。 平成23年度実績 医師1名、看護師1名    平成24年度実績 医師0名、看護師5名						